

2026.2.13



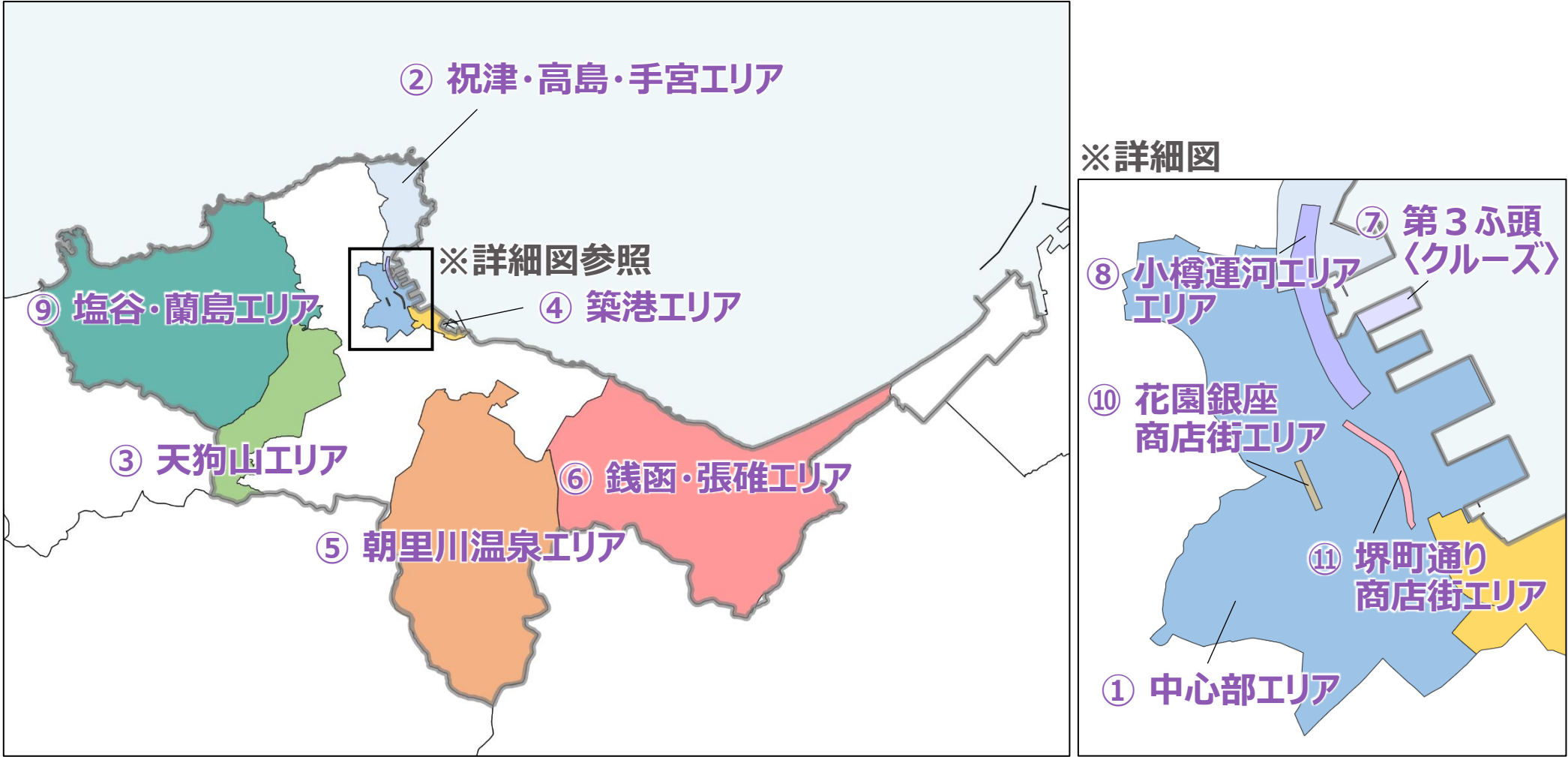
デジタル技術活用オーバーツーリズム実態調査（令和7年度）

【業務目的】

- 昨今、小樽市においては外国人観光客の増加などによりオーバーツーリズムが深刻化しており、データ分析に基づく「打ち手」を検討する必要があることから、本業務においては、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準（令和5年改訂版）」の調査要領に準じて実施する観光入込調査結果を基礎として、GPS人流データを活用し多サンプルに基づく来訪者（国内・外国人）の動態調査を網羅的かつ解像度の高い形で行い、オーバーツーリズムの実態を把握することを目的とする。
- また、小樽市がこれまで実施してきた観光入込客数調査をGPS人流データを使用した調査に切り替える場合の両者の結果の違いの傾向を把握するとともに、GPS人流データを用いる際の観光入込客の定義や、観光入込客の移動元・移動先分布に係るデータ取得のあり方、観光消費額算定上の観光入込客数（実人数）把握のあり方についての検討も併せて行うことを目的とする。

【調査対象地】 小樽市全域のほか、以下の市内11エリア

- ① 中心部エリア：稲穂、花園、色内1・2丁目、港町（第3ふ頭除く）、堺町、東雲町、山田町、相生町、入船1・2丁目、住ノ江、住吉町、若松
- ② 祝津・高島・手宮エリア：色内3丁目、手宮、高島、祝津
- ③ 天狗山エリア：天狗山、最上2丁目
- ④ 築港エリア：有幌町、信香町、築港（勝納ふ頭含む）
- ⑤ 朝里川温泉エリア：新光5丁目、朝里川温泉
- ⑥ 銭函・張碓エリア：張碓町、春香町、桂岡町、銭函1～3丁目、見晴町、星野町
- ⑦ 第3ふ頭〈クルーズ〉：港町（第3ふ頭のみ）
- ⑧ 小樽運河エリア
- ⑨ 塩谷・蘭島エリア
- ⑩ 花園銀座商店街エリア
- ⑪ 堺町通り商店街エリア

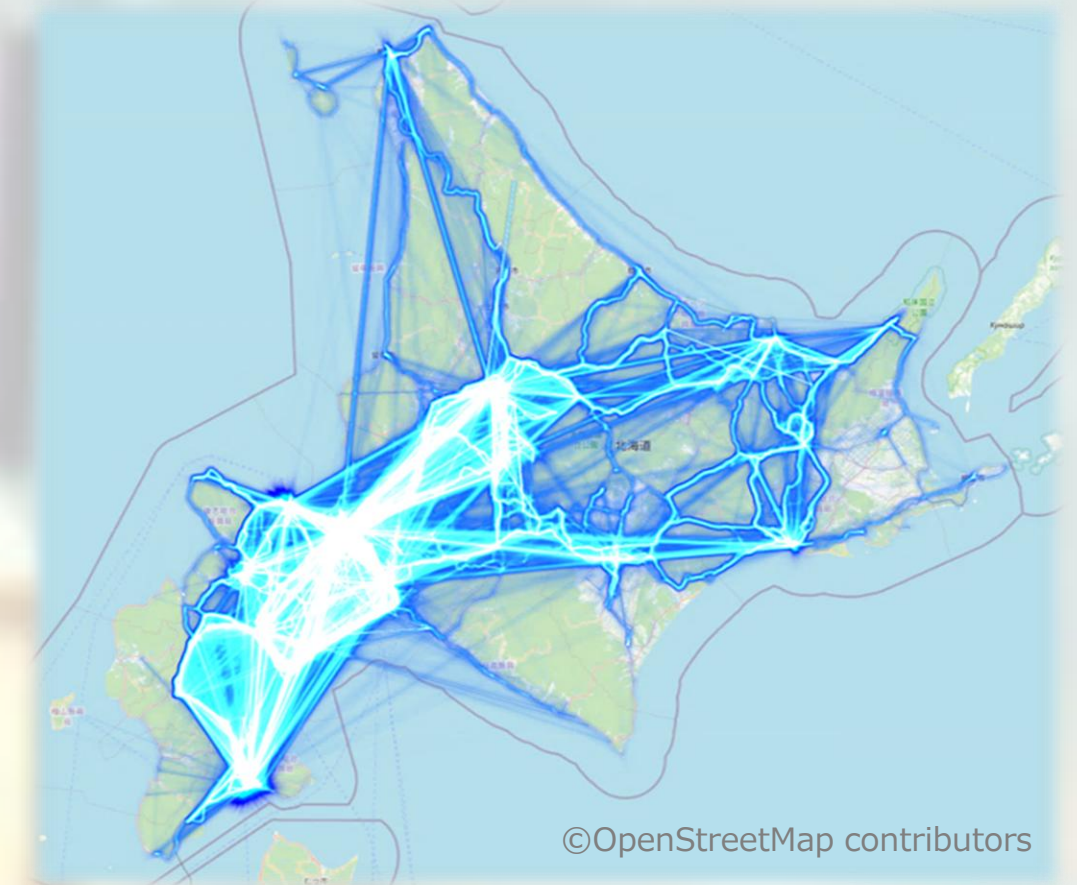


全国インバウンド統計

【網羅性】 24時間365日、全国数千万人のインバウンドの移動を高精度に把握

【機能性】 独自のロジック (特許技術) から、来訪・周遊動向を居住国別や交通手段別に分析

【有用性】 ご要望に応じ可視化・解釈や施策検討まで伴走、真に役立つアウトプットを提供



できること

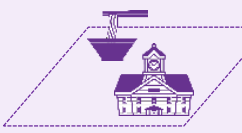
インバウンド携帯端末のGPS位置情報 Powered by  **Azira™**

メニュー

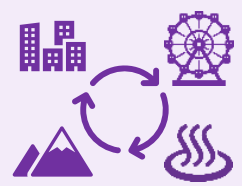
施設来訪分析



エリア来訪分析



広域周遊分析



分析項目

※選択内容によりお見積りいたします。

来訪人数 / 宿泊客数

滞在時間 / 宿泊日数

居住国・自治体

移動経路 / 交通手段

+ オプション ・性/年代 ・拡大推計(居住国別) ・広告/アンケート配信 ・集客施策案の検討

ユースケース

観光

- ・各観光地等への来訪状況の把握
- ・in-out空港や周遊ルートの把握
- ・重点ターゲット・ペルソナの検討
- ・プロモーション検討、効果検証 等



交通

- ・二次交通検討・周遊ルート造成
- ・多言語対応コンテンツによる誘客
- ・道路整備効果検討の多角化
- ・交通安全対策検討の強化

商業・不動産

- ・商品仕入・テナント誘致の最適化
- ・ライバル施設等への来客分析
- ・出店候補地への来訪客層把握
- ・開発・不動産投資の重点検討

項 目	内 容
「（日本人）観光客」の定義について	日本人全体から、小樽市民のほか、小樽市に月6回以上来訪している人※および小樽市内が通勤/通学先と判定されている人を除いたもの。 ※「観光入込客統計に関する共通基準（令和5年改訂版）」（以下「共通基準」という）の定義に基づく。
拡大推計について	主に、国別のサンプル率（日本人・インバウンド）、人口統計（日本人）、出入国管理統計（インバウンド）により、国別の拡大推計を実施している（いずれも詳細は非公開）。 なお、拡大推計も含め本頁記載の各種ロジックは、同一業務内で変更されるものではなく、安定性を確保している。
滞在判定について	エリア内に一定の時間以上滞在することにより、入込客としてカウントしている。 滞在判定の閾値は原則として「15分」としているが、エリアの面積や性質をふまえ、⑧小樽運河エリアは「0分」、⑩花園銀座商店街エリアは「5分」、⑤朝里川温泉エリア/⑥銭函・張碓エリア/⑨塩谷・蘭島エリアは「30分」に設定している。
宿泊地/居住地判定について	午前2-3時台に最も多く滞在していた地点を宿泊地、数か月間に最も多く滞在していた宿泊地を居住地と判定している。 ※共通基準では「午前4時に滞在していた地点を宿泊地とみなす」こととしているが、午前4時ちょうどに位置情報を捕捉できるとは限らないため。
インバウンドの捕捉について	国家体制上、中国人の位置情報は捕捉することができないため、以下の方法で人数の補完を行っている。 ①人流データ「モバイル空間統計」（株式会社ドコモ・インサイトマーケティング）から、「中国人」と「台湾人＋香港人＋韓国人」の比率を算出。 ②全国インバウンド統計における「台湾人＋香港人＋韓国人」の合算値に上記比率を掛け合わせ、「中国人」を補完。
交通手段判定について	位置情報の「移動ルート」と「移動速度」により判定を行っており、JR/自動車/徒歩 とクルーズの4つに分類される。 なお、自転車については走行速度に幅があることから、10km/hを閾値として自動車または徒歩に振り分けている。
個人情報保護について	位置情報から個人が特定されないよう、緯度経度がずらされて記録されることがある。 また、同様の観点から一定の閾値を下回ったデータは秘匿されるが、その可能性は分析項目により異なる。 インバウンドの一例として、「居住地」は国のみで細分化されており秘匿可能性が比較的低いが、「来訪時間帯×周遊先分布」は、国・時間帯・周遊先の掛け合わせとなるため秘匿可能性が高くなる。

※「全国インバウンド統計」は、パシフィックコンサルタンツ株式会社の登録商標です。「モバイル空間統計」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

入込客数等

小樽市の観光入込客数等（2025年）

● 居住地別の入込客数・宿泊客数・延べ宿泊客数

エリア	項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
小樽市全域	観光入込客数	760,300	742,900	638,900	472,700	554,000	714,800	828,700	848,700	667,100	636,600	493,800	797,400	8,155,800
小樽市全域	うち道内	460,600	429,200	387,600	301,500	385,500	519,600	566,800	594,400	453,800	404,400	355,800	507,800	5,367,000
小樽市全域	うち道外(外国人含む)	299,800	313,700	251,300	171,300	168,400	195,300	261,800	254,300	213,300	232,200	138,000	289,500	2,788,800
小樽市全域	うち外国人	121,400	128,700	85,200	53,900	50,700	44,500	65,400	55,200	34,500	69,100	52,500	94,400	855,600

エリア	項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
小樽市全域	宿泊客数	92,200	84,900	73,000	56,800	71,900	80,700	98,100	118,700	93,300	92,200	75,900	110,100	1,047,900
小樽市全域	うち道内	33,300	32,000	36,700	28,900	39,700	44,800	34,600	46,400	32,700	31,900	37,700	42,500	441,100
小樽市全域	うち道外	14,000	14,600	17,500	12,500	14,300	18,300	42,200	50,500	45,200	40,300	20,500	29,300	319,200
小樽市全域	うち外国人	45,000	38,300	18,800	15,400	17,900	17,600	21,300	21,900	15,400	20,100	17,700	38,200	287,600

エリア	項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
小樽市全域	延べ宿泊客数	108,300	94,900	79,400	63,200	80,800	91,100	113,100	138,600	107,500	103,200	88,900	134,500	1,203,700
小樽市全域	うち道内	37,000	34,100	38,900	31,000	42,900	48,700	37,700	51,100	35,200	34,300	42,900	47,300	481,200
小樽市全域	うち道外	16,200	15,900	19,200	13,600	16,700	21,300	49,200	59,600	53,000	47,800	24,200	34,200	371,000
小樽市全域	うち外国人	55,200	45,000	21,400	18,600	21,200	21,000	26,100	27,900	19,300	21,200	21,800	53,000	351,500

小樽市の観光入込客数等（2025年）

● エリア別の入込客数

人流データによる入込客数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
来訪判定エリア：小樽市全域	760,300	742,900	638,900	472,700	554,000	714,800	828,700	848,700	667,100	636,600	493,800	797,400	8,155,800
来訪判定エリア：中心部	277,800	266,600	228,800	170,800	196,800	217,700	275,200	295,600	248,400	236,200	169,300	297,200	2,880,300
来訪判定エリア：小樽運河	239,900	233,800	197,700	144,500	158,000	203,800	269,500	288,400	223,700	214,800	145,400	222,400	2,542,100
来訪判定エリア：祝津・高島・手宮	38,500	33,000	32,000	27,300	41,300	57,100	77,600	81,100	50,200	38,900	32,600	42,600	552,200
来訪判定エリア：天狗山	40,000	33,100	12,000	11,700	13,800	14,600	31,400	26,700	17,400	12,500	7,800	23,300	244,400
来訪判定エリア：築港	60,800	54,200	55,200	44,000	69,100	93,800	110,500	116,300	86,200	83,700	70,500	83,700	928,100
来訪判定エリア：朝里川温泉	22,800	22,200	19,500	13,600	15,500	20,600	23,700	30,000	21,000	19,600	16,100	26,100	250,700
来訪判定エリア：銭函・張碓	79,400	72,400	71,600	58,700	58,200	69,800	78,900	71,200	49,000	47,500	65,400	98,100	820,100
来訪判定エリア：塩谷・蘭島	11,100	9,600	10,400	9,100	10,900	21,000	28,200	19,500	10,700	7,300	8,300	11,900	157,900
来訪判定エリア：花園銀座商店街	1,400	1,300	1,100	800	1,500	2,400	3,300	3,700	3,800	2,900	1,900	1,500	25,600
来訪判定エリア：堺町通り商店街	63,200	61,200	45,800	29,200	51,600	68,400	87,400	100,500	76,600	76,800	42,100	58,000	760,800

小樽市の観光入込客数等（2025年）

● 入込客数 道内客上位

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
道内(小樽市除く)	460,600	429,200	387,600	301,500	385,500	519,600	566,800	594,400	453,800	404,400	355,800	507,800	5,367,000
札幌市	328,450	302,750	271,580	213,180	261,060	363,660	383,710	392,630	294,290	256,140	238,610	352,530	3,658,590
江別市	11,340	10,360	9,200	6,970	10,350	15,520	18,560	17,190	12,850	11,520	8,710	11,890	144,450
石狩市	13,170	11,160	9,890	8,030	10,160	11,530	13,920	15,830	12,010	9,580	12,000	16,060	143,350
旭川市	9,140	8,790	7,570	5,580	7,260	10,450	11,550	15,090	10,000	8,070	5,540	9,440	108,470
苫小牧市	8,060	8,200	8,250	5,430	7,240	9,750	9,370	10,840	8,160	7,690	6,170	9,220	98,390
余市町	7,380	6,140	4,980	4,860	9,040	5,510	7,070	9,230	10,710	8,990	13,210	11,090	98,200
倶知安町	6,160	5,440	5,060	4,340	7,370	9,090	10,460	11,060	10,270	12,060	8,010	8,530	97,850
千歳市	7,000	6,900	5,730	4,300	6,310	8,680	11,610	11,180	6,990	5,970	4,940	7,860	87,470
函館市	7,550	7,040	6,940	5,050	6,080	6,490	7,430	9,260	8,430	6,390	4,090	7,540	82,290
北広島市	6,170	5,860	5,030	3,900	5,270	6,590	8,250	7,400	6,060	4,790	4,220	6,620	70,180
恵庭市	4,840	4,540	4,150	2,920	4,580	6,490	6,880	7,130	5,290	5,630	3,550	5,290	61,280
岩見沢市	3,970	3,690	3,710	3,130	3,140	5,800	7,130	6,910	4,280	5,170	2,860	4,430	54,210
帯広市	3,960	4,280	3,640	2,580	2,690	4,470	5,760	5,200	3,850	2,940	1,930	3,670	44,980
岩内町	2,950	2,330	2,480	1,790	3,120	3,900	5,370	5,240	4,650	4,540	4,060	4,170	44,590
釧路市	2,460	2,570	2,470	1,930	2,020	1,770	3,370	3,690	2,540	1,560	1,480	2,390	28,240
共和町	1,490	1,920	1,500	1,410	2,260	2,090	3,610	2,970	2,710	2,350	2,470	2,650	27,440
室蘭市	2,220	2,200	2,060	1,390	2,150	2,500	2,670	2,570	2,240	2,770	1,290	2,260	26,310
北見市	1,750	1,870	1,880	1,140	1,640	2,030	2,400	2,790	1,870	1,930	1,040	2,520	22,840
当別町	1,730	1,380	1,270	1,030	1,170	2,060	2,120	2,140	1,740	2,060	1,500	1,840	20,060
登別市	1,570	1,480	1,590	980	1,690	1,810	1,120	2,010	1,270	2,520	1,380	2,160	19,590

小樽市の観光入込客数等（2025年）

● 入込客数 道外客上位

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
道外(外国人除く)	178,300	184,900	166,100	117,400	117,700	150,700	196,500	199,100	178,800	163,100	85,500	195,100	1,933,300
東京都	41,110	43,780	38,400	27,810	26,340	29,670	40,940	43,710	35,630	29,130	18,520	44,770	419,820
神奈川県	20,690	21,660	18,960	12,760	13,190	16,090	23,530	23,790	20,780	16,770	9,040	20,900	218,160
大阪府	18,440	16,560	15,860	10,650	9,500	13,210	19,770	17,910	15,090	16,730	7,600	16,880	178,200
埼玉県	13,820	14,710	12,500	9,110	9,140	9,440	13,710	15,830	12,850	10,300	5,930	15,290	142,620
千葉県	13,700	13,890	12,970	8,830	8,070	10,610	13,560	13,290	12,010	11,890	6,330	13,640	138,780
愛知県	10,750	10,180	9,020	6,750	6,530	8,680	13,070	13,690	12,150	11,140	4,960	10,490	117,410
兵庫県	9,460	9,400	8,700	5,890	4,580	7,510	8,370	10,660	9,500	8,740	3,500	9,140	95,450
福岡県	3,640	3,910	3,250	2,510	2,740	3,070	5,220	5,550	4,750	6,300	2,460	4,510	47,910
宮城県	3,970	4,180	3,890	2,610	3,120	3,450	4,310	3,840	3,250	3,360	2,280	4,450	42,720
茨城県	3,050	3,190	2,720	2,200	2,510	3,390	3,280	3,470	4,680	2,400	2,310	4,550	37,740
京都府	3,000	3,060	2,990	1,890	2,170	3,330	5,190	3,930	3,380	4,030	1,190	2,830	36,990
静岡県	2,780	3,040	2,500	1,940	1,870	3,040	4,280	4,180	3,850	3,910	1,450	3,030	35,870
新潟県	2,400	2,450	2,530	1,700	1,900	3,170	2,670	1,860	3,150	2,100	1,240	2,310	27,470
栃木県	2,200	2,020	1,980	1,180	1,600	3,170	2,340	2,290	2,170	2,310	940	3,000	25,200
青森県	2,100	2,540	1,830	1,560	1,470	1,550	1,760	2,570	2,610	1,680	1,530	2,880	24,080
長野県	1,890	1,900	1,680	1,140	1,500	2,380	2,670	2,390	2,710	2,690	740	2,030	23,710
福島県	2,280	2,390	1,950	1,370	1,920	2,340	2,270	1,270	1,140	1,810	1,440	2,950	23,130
広島県	1,980	1,980	1,880	1,550	1,670	1,930	1,300	2,230	2,140	2,770	940	2,090	22,470
岐阜県	1,230	1,530	1,640	1,000	1,110	1,680	1,880	3,160	2,680	2,440	770	1,480	20,580
群馬県	1,350	1,460	1,430	1,280	1,320	2,850	2,790	1,490	1,840	1,430	810	2,120	20,170

小樽市の観光入込客数等（2025年）

● 入込客数 外国人上位

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
外国人	121,400	128,700	85,200	53,900	50,700	44,500	65,400	55,200	34,500	69,100	52,500	94,400	855,600
台湾	18,980	24,180	25,330	21,060	8,400	8,230	11,500	15,010	10,010	15,920	17,440	14,050	190,100
韓国	18,170	19,050	11,880	8,800	11,600	12,760	12,830	16,690	10,160	19,220	9,150	15,820	166,120
中国	43,980	36,820	13,320	4,330	4,210	3,220	6,580	8,290	3,090	3,330	3,140	9,410	139,710
アメリカ	4,930	5,450	3,400	2,110	3,390	8,290	3,190	1,270	760	14,500	5,780	6,640	59,720
タイ	8,090	10,520	7,280	2,320	3,230	2,330	2,120	660	820	3,380	4,340	12,330	57,410
香港	3,400	3,380	1,950	1,620	8,220	2,820	3,820	3,630	880	3,510	5,140	14,380	52,750
シンガポール	5,210	6,480	6,100	5,570	810	1,560	2,430	2,280	3,070	2,110	1,480	5,720	42,820
マレーシア	8,050	5,500	3,320	2,270	650	290	490	880	740	1,290	1,520	2,390	27,390
オーストラリア	3,210	9,040	5,150	850	290	450	140	520	250	1,240	930	4,060	26,150
インドネシア	1,870	1,890	3,250	1,240	2,420	1,030	850	1,160	320	560	430	1,450	16,470
ベトナム	550	1,040	1,290	1,300	840	640	3,790	*	450	320	390	2,080	12,680
フィリピン	1,030	1,710	850	740	940	280	980	1,100	1,200	880	830	910	11,450
インド	660	590	*	570	620	640	*	260	220	320	790	590	5,250
カナダ	100	80	350	340	230	30	150	60	70	20	40	320	1,780
ブラジル	*	50	150	260	120	210	280	*	*	100	220	180	1,570

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

小樽市の観光入込客数等（2025年）

● 宿泊客数・延べ宿泊客数 外国人上位

	1月		2月		3月		4月		5月		6月	
	宿泊客数	延べ 宿泊客数	宿泊客数	延べ 宿泊客数	宿泊客数	延べ 宿泊客数	宿泊客数	延べ 宿泊客数	宿泊客数	延べ 宿泊客数	宿泊客数	延べ 宿泊客数
外国人	45,000	55,200	38,300	45,000	18,800	21,400	15,400	18,600	17,900	21,200	17,600	21,000
台湾	5,680	6,430	6,720	7,980	4,570	5,230	4,930	5,440	2,000	2,060	4,260	4,900
中国	14,680	7,360	13,410	6,190	3,270	2,530	1,290	1,460	1,900	2,270	2,160	2,390
韓国	6,470	16,650	5,680	15,460	2,410	3,710	850	1,020	3,790	4,320	5,250	5,590
香港	2,570	2,900	1,560	1,830	540	760	510	680	4,950	6,780	2,260	2,670
シンガポール	1,350	4,230	1,370	3,150	1,530	2,710	4,730	6,450	240	240	320	320
アメリカ	2,280	6,440	1,250	1,710	640	1,230	810	1,050	1,430	1,770	1,920	2,730
タイ	3,080	1,620	2,800	2,400	2,210	1,730	620	710	1,720	1,720	750	1,750
マレーシア	4,100	1,260	1,710	2,430	1,230	740	690	690	150	150	80	80
オーストラリア	1,260	920	1,950	550	740	480	200	200	150	230	280	280
フィリピン	370	370	360	360	380	380	*	*	430	430	*	*

	7月		8月		9月		10月		11月		12月		合計	
	宿泊客数	延べ 宿泊客数	宿泊客数	延べ 宿泊客数	宿泊客数	延べ 宿泊客数	宿泊客数	延べ 宿泊客数	宿泊客数	延べ 宿泊客数	宿泊客数	延べ 宿泊客数	宿泊客数	延べ 宿泊客数
外国人	21,300	26,100	21,900	27,900	15,400	19,300	20,100	21,200	17,700	21,800	38,200	53,000	287,600	351,500
台湾	5,780	7,590	4,850	6,620	4,260	5,580	5,070	5,510	6,270	7,720	4,090	5,570	58,490	70,630
中国	3,320	4,260	3,700	4,830	1,990	2,570	1,170	1,290	1,120	1,350	4,280	5,940	52,300	42,460
韓国	4,450	5,820	5,600	7,060	3,680	4,310	4,240	4,790	2,820	2,930	5,390	5,650	50,640	77,320
香港	2,810	3,120	3,440	4,500	250	980	430	430	1,860	3,250	11,200	20,900	32,360	48,800
シンガポール	570	570	1,260	1,260	560	560	1,680	1,680	1,880	2,350	2,100	3,780	17,600	27,320
アメリカ	1,020	1,400	*	*	340	340	2,490	2,490	1,610	1,610	3,060	3,060	16,840	23,820
タイ	420	420	*	*	690	910	940	940	530	530	3,000	3,000	16,760	15,730
マレーシア	390	390	510	510	390	390	980	980	570	570	530	530	11,310	8,710
オーストラリア	*	*	460	460	400	800	2,070	2,070	460	910	2,530	2,530	10,490	9,420
フィリピン	*	*	960	960	710	710	370	370	*	*	590	590	4,160	4,160

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

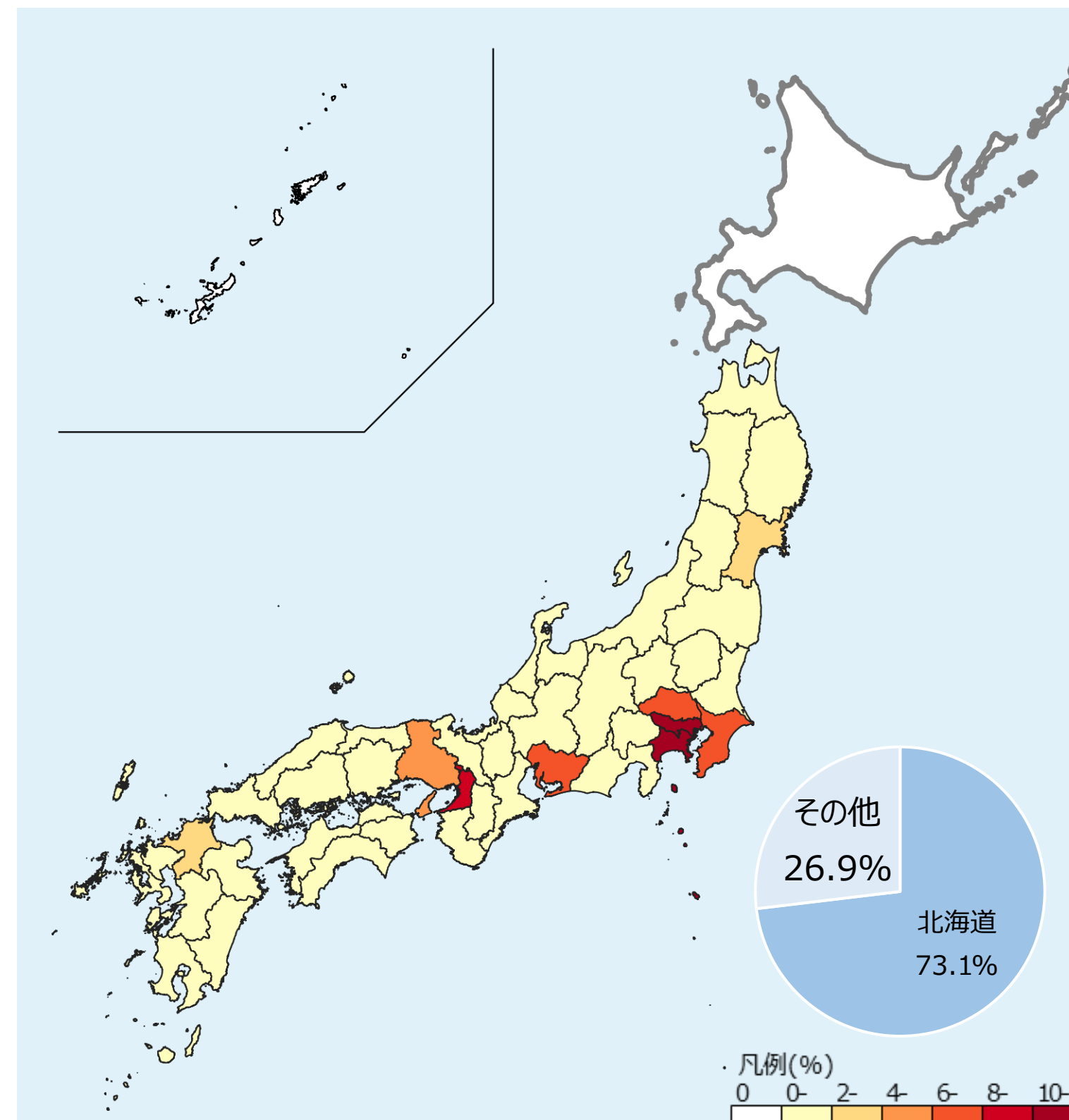
居住地

小樽市全域来訪者の居住地（2025年1-12月）

- 道外客は東京・神奈川・大阪からの来訪が特に多い。道内客は札幌のほか旭川・苫小牧・江別・千歳・石狩・倶知安・余市が多い。
- インバウンドは台湾が最も多くおよそ2割を占め、次いで韓国・中国が多い。

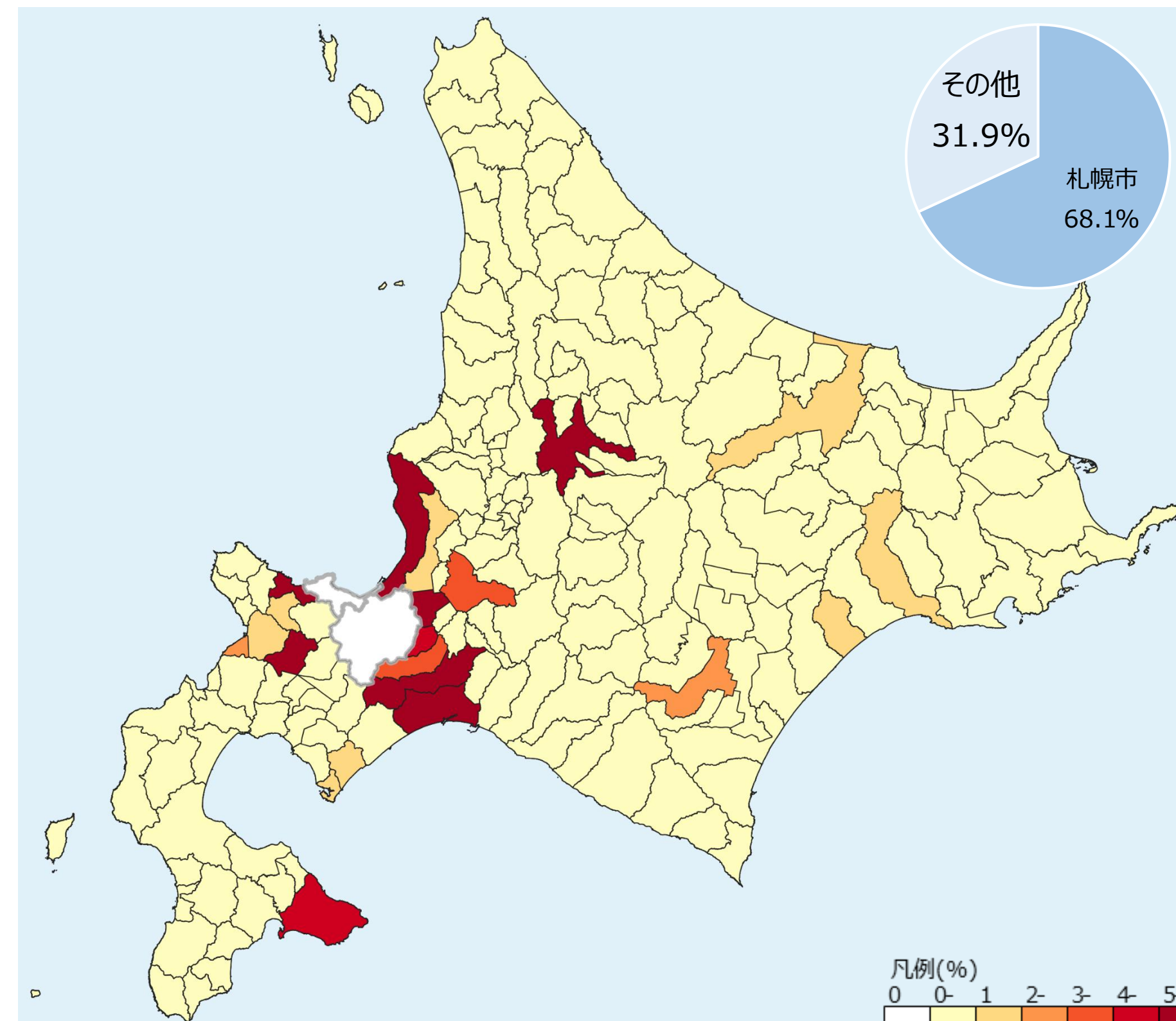
● 居住地（日本人観光客-全国）

道外客5,300人、道内客14,700人（一日当たり）



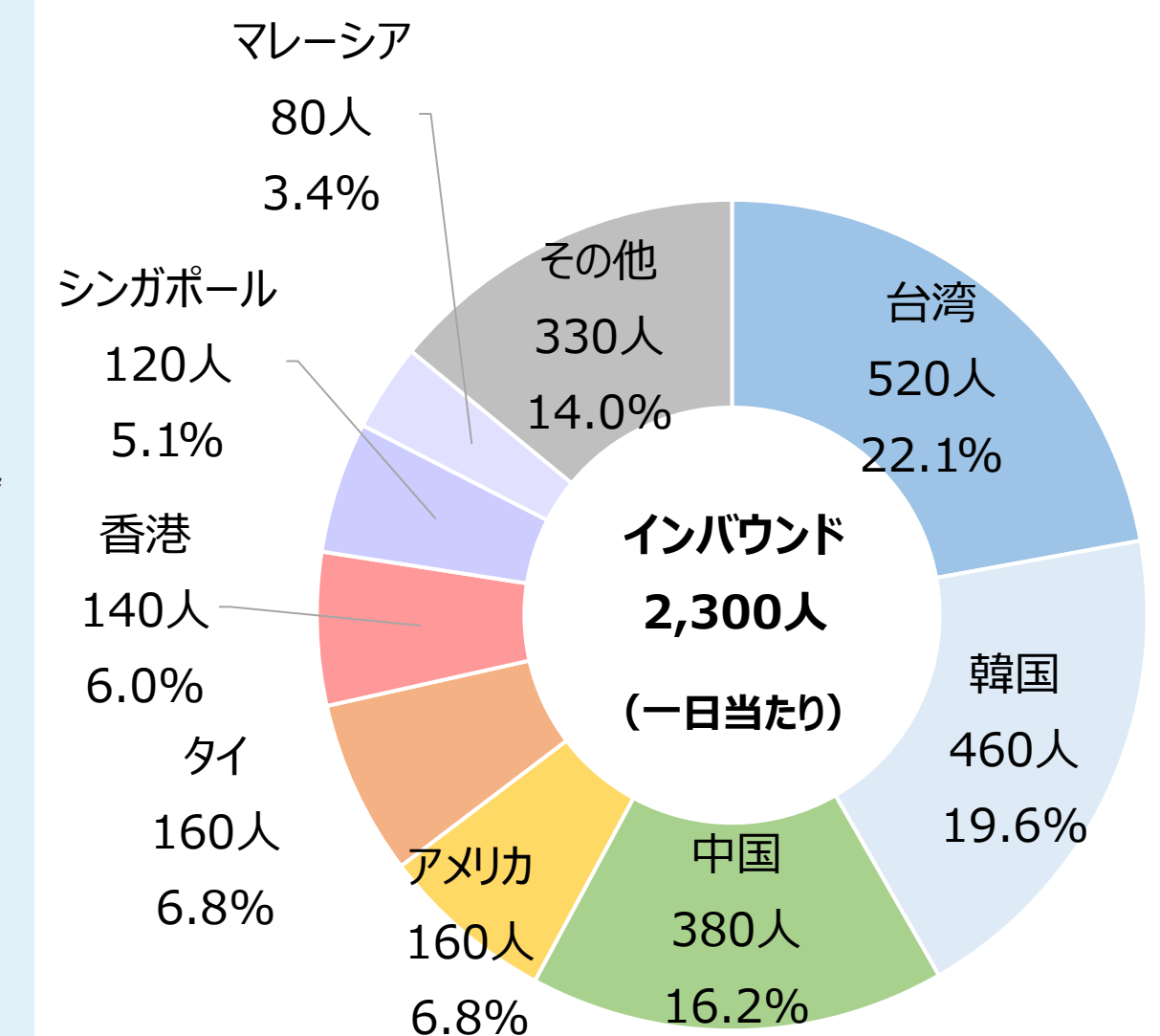
※ヒートマップは、北海道民を除いた全国の合計値を100%としている。

● 居住地（日本人観光客-全道）



※ヒートマップは、小樽市民と札幌市民を除いた全道の合計値を100%としている。

● 居住地（インバウンド）



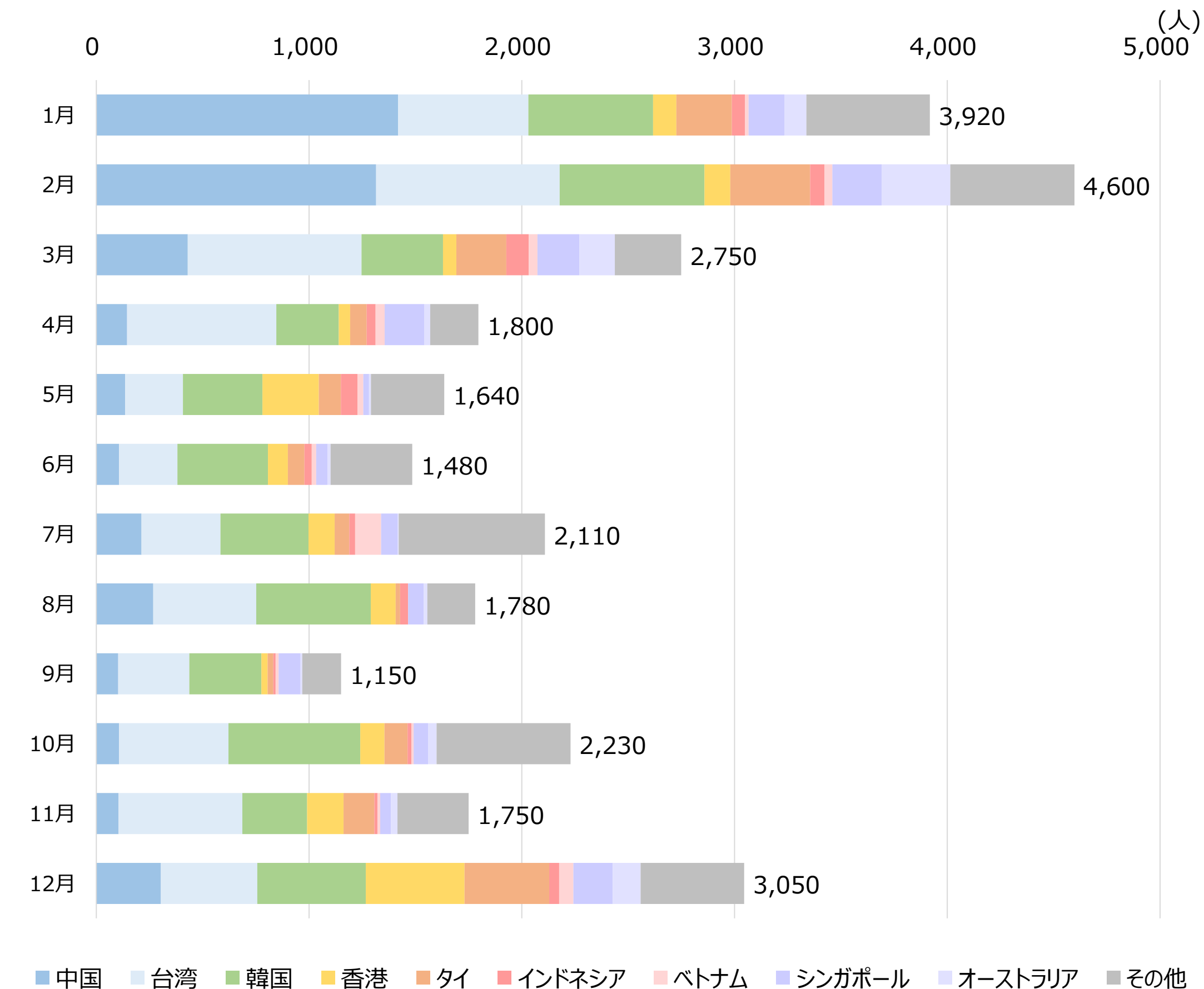
※インバウンドの合計値を100%としている。
なお、中国については位置情報を取得できないため、別途推計を行っている（詳細はp.4を参照）。

小樽市全域来訪者の居住国（インバウンド）

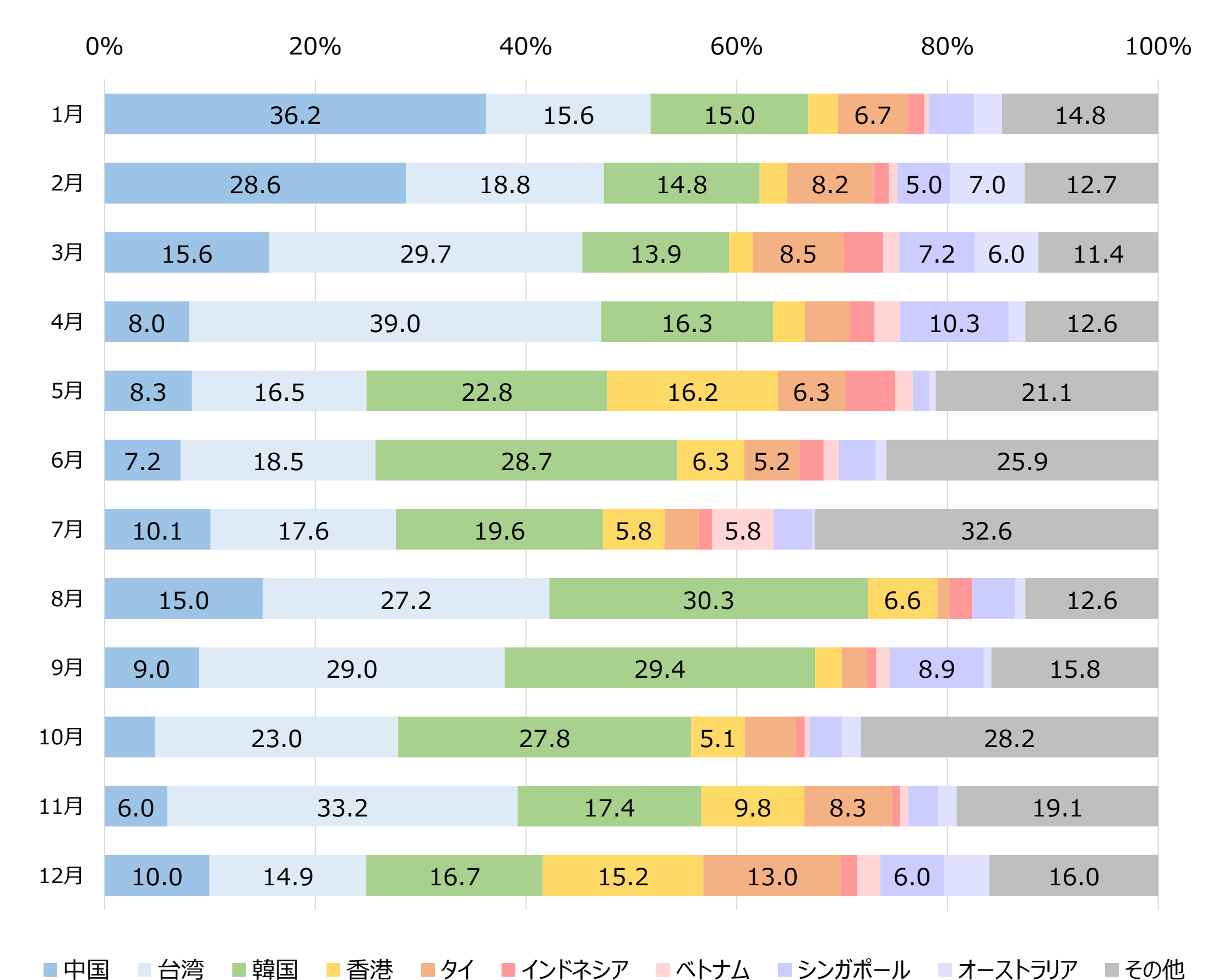
- 実数では、2月・1月の来訪が多く、9月・6月は来訪が落ち込む。
- 割合では、台湾からの来訪が最も多く4月がピークとなる。次いで中国が多く1月がピークとなる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉 ※一日あたり（次頁以降も同じ）



〈割合〉



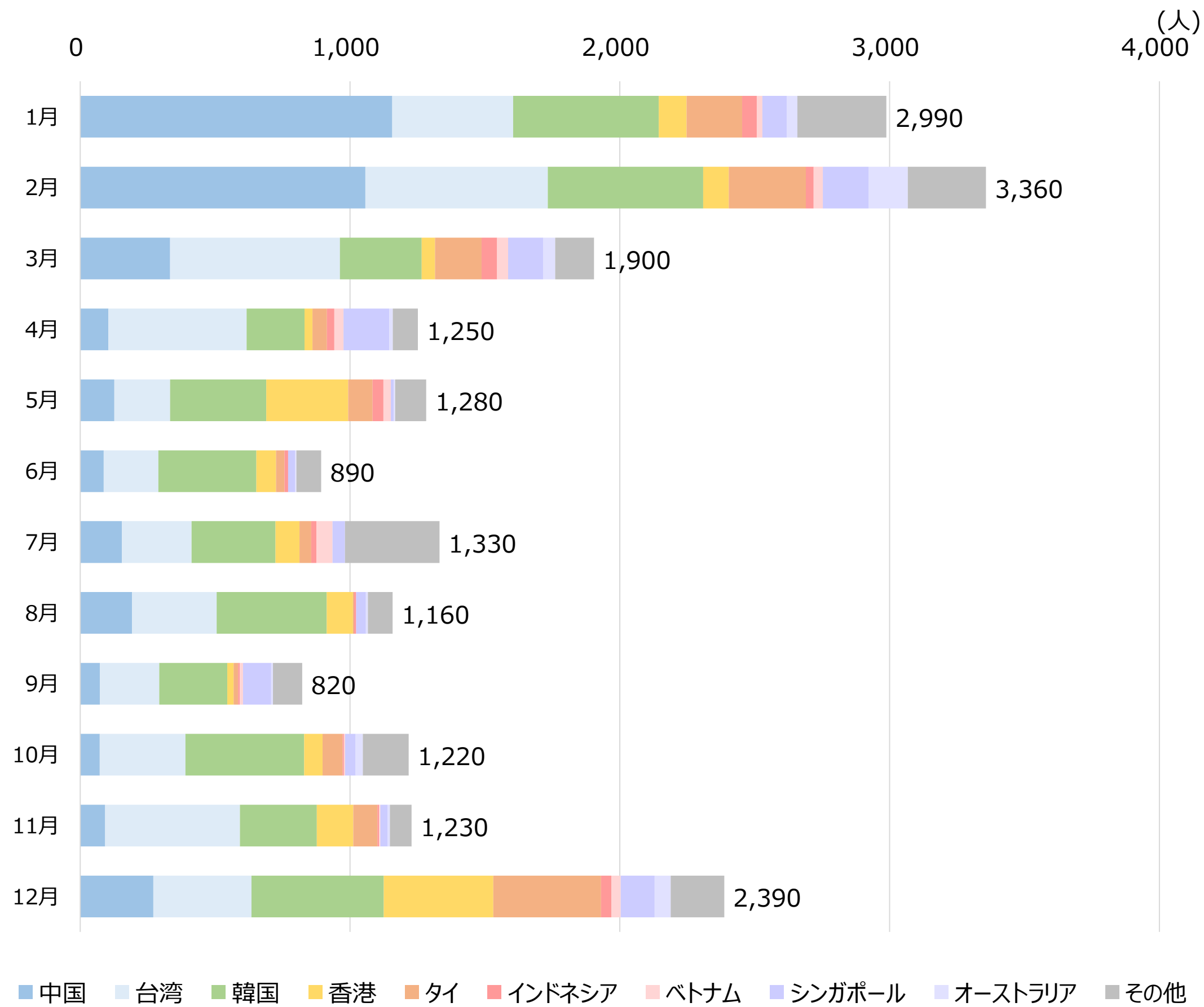
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

中心部エリア来訪者の居住国（インバウンド）

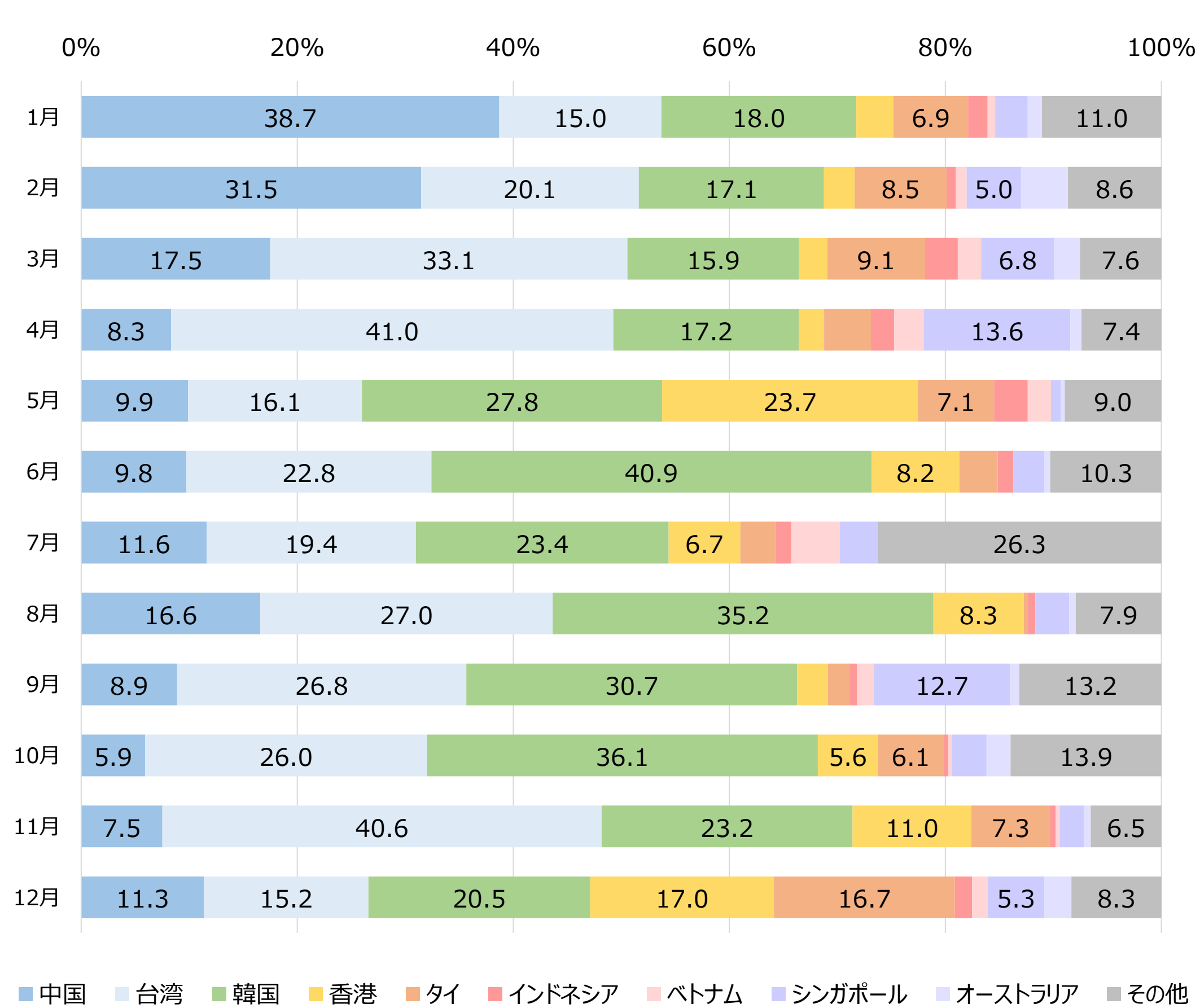
- 実数では、2月・1月の来訪が多く、9月・6月は来訪が落ち込む。
- 割合では、台湾からの来訪が最も多く4月がピークとなる。次いで韓国が多く6月がピークとなる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉



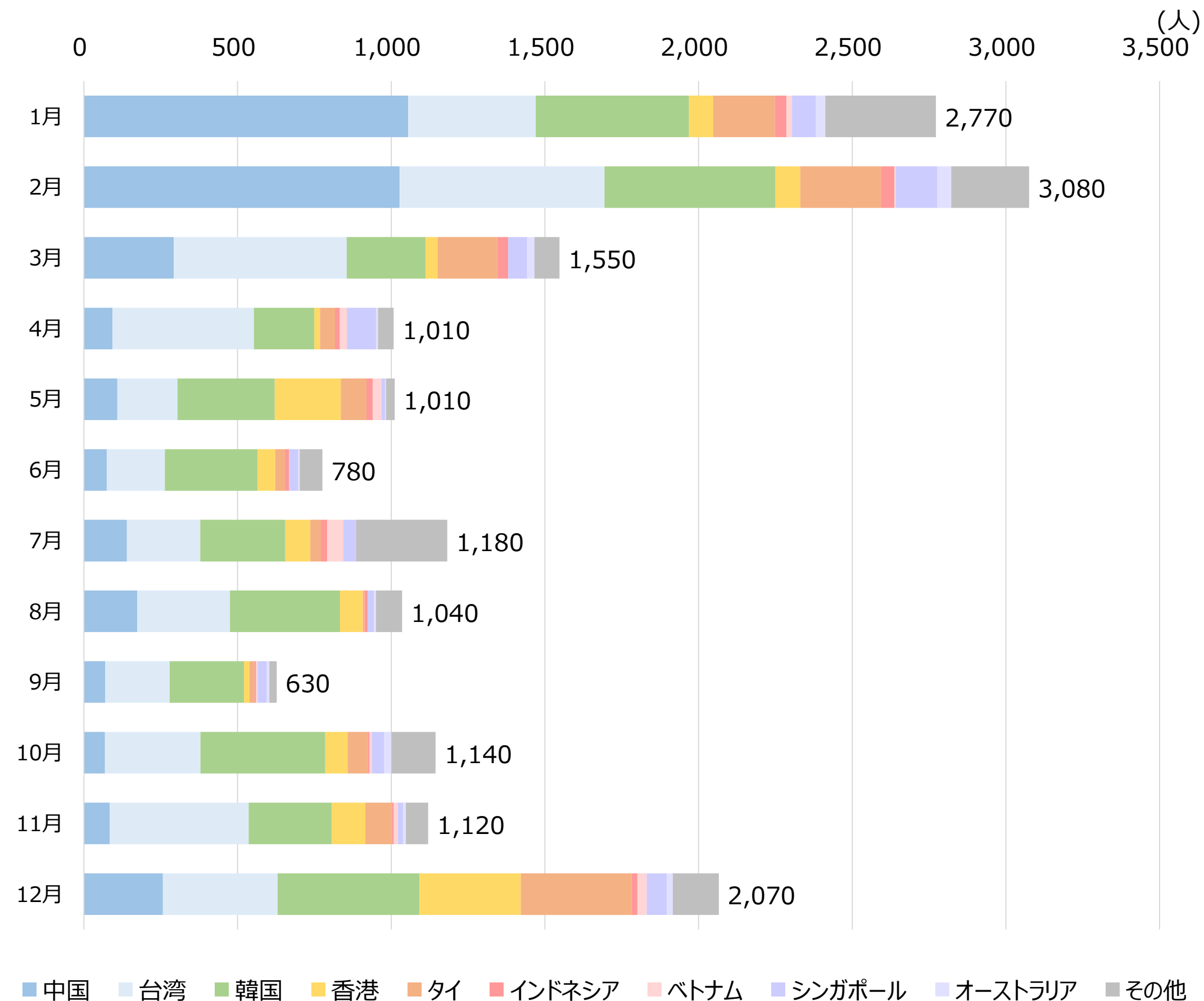
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

小樽運河エリア来訪者の居住国（インバウンド）

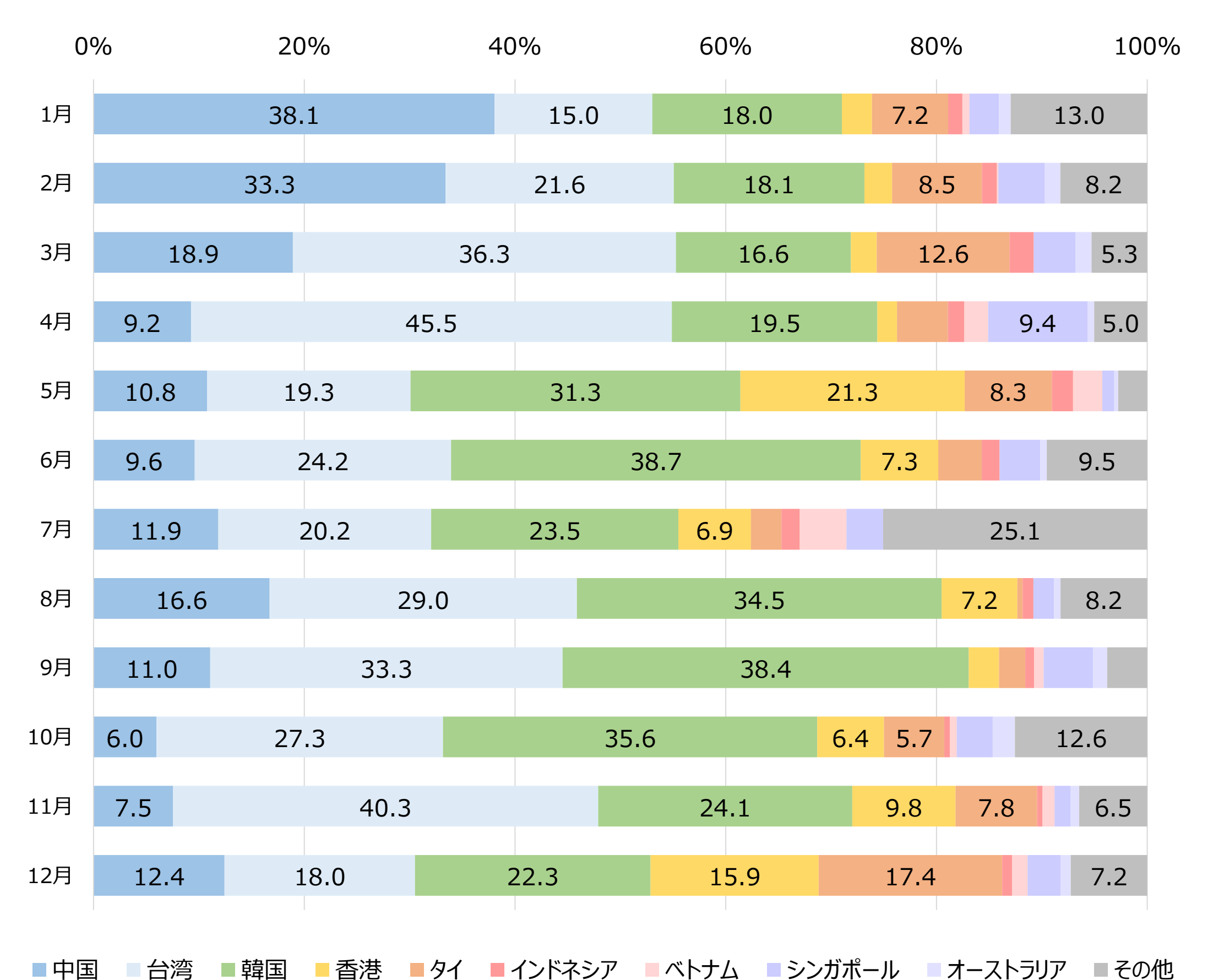
- 実数では、2月・1月の来訪が多く、9月・6月は来訪が落ち込む。
- 割合では、台湾からの来訪が最も多く4月がピークとなる。次いで韓国が多く6月がピークとなる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉

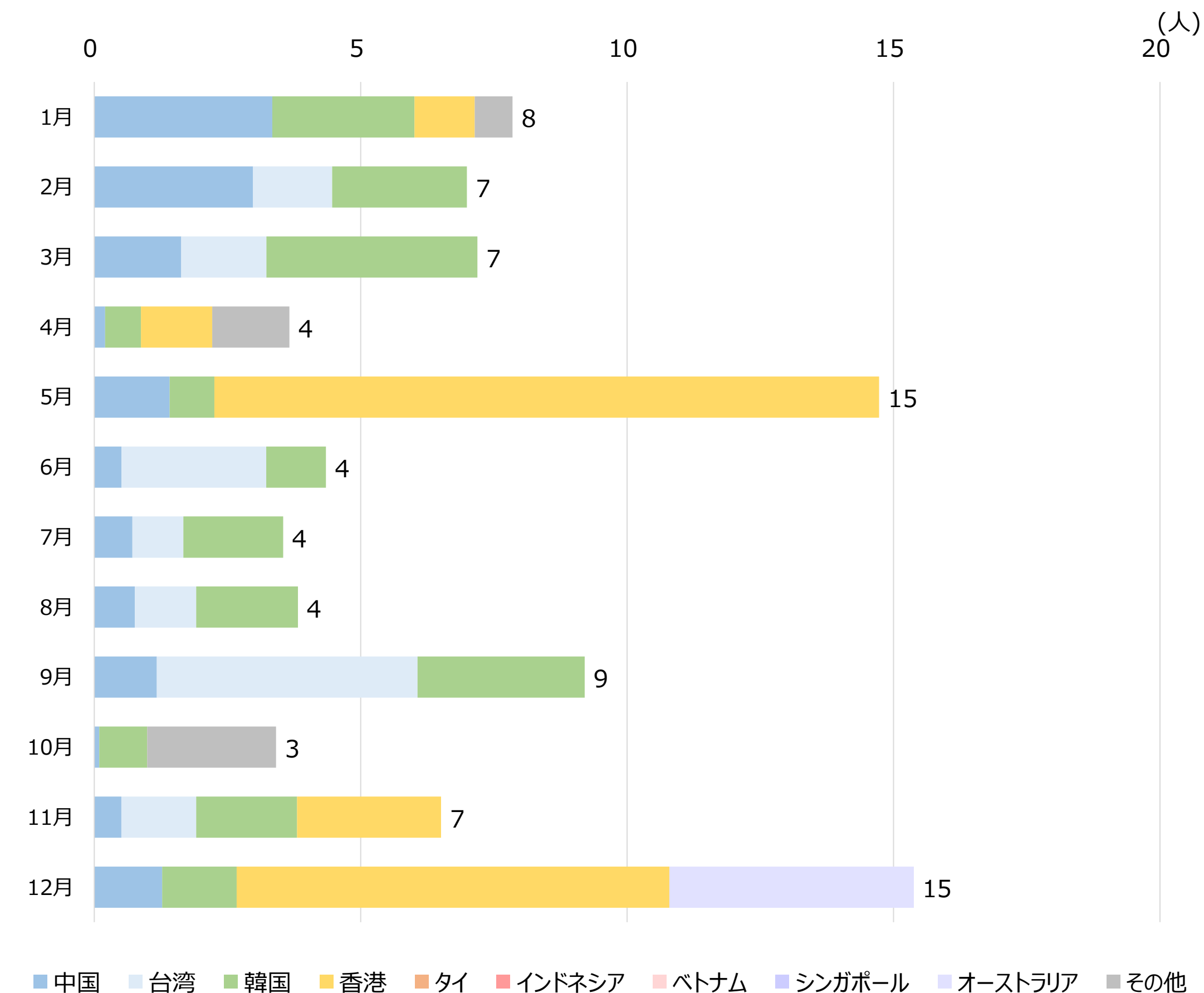


花園銀座商店街エリア来訪者の居住国（インバウンド）

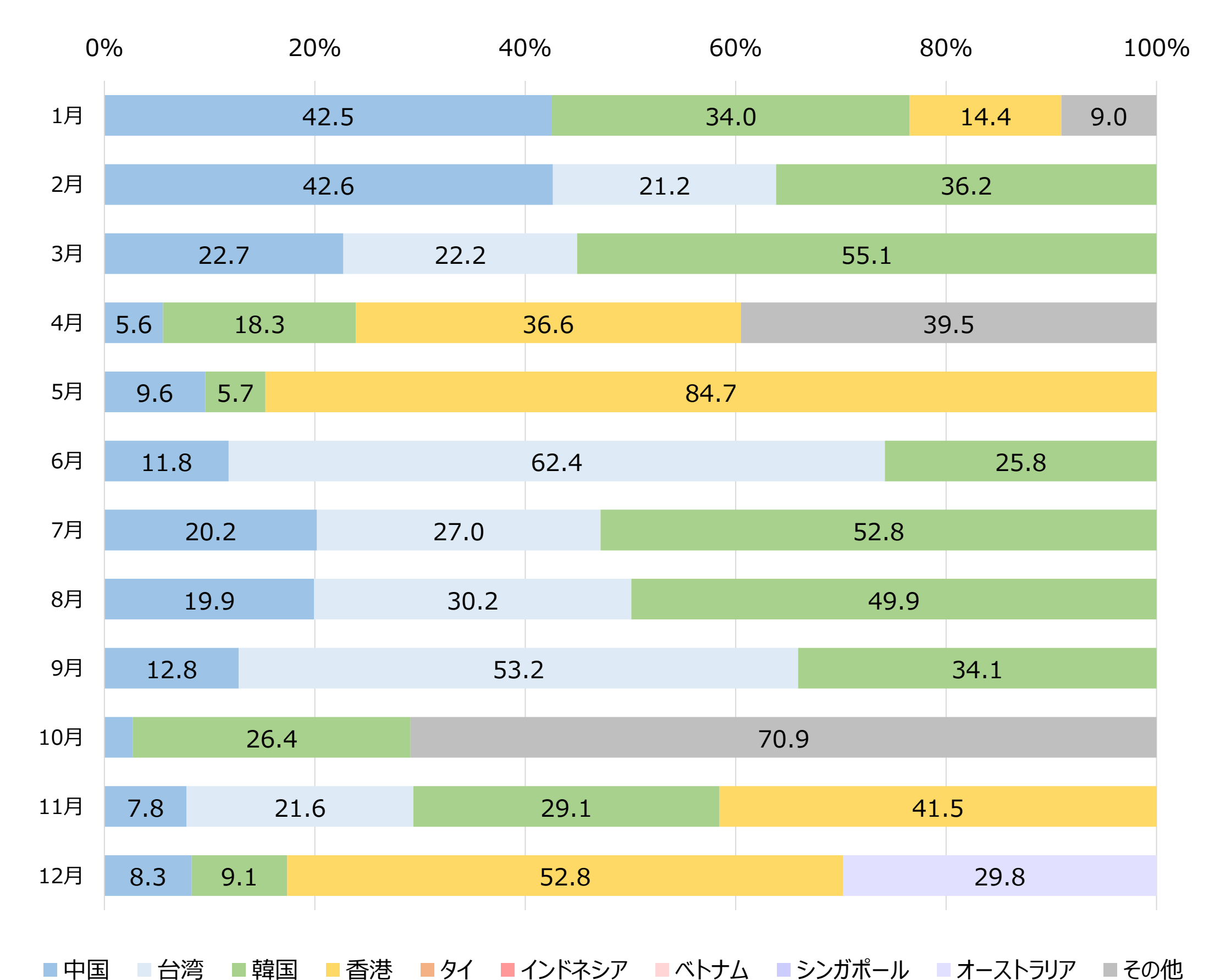
- 実数では、12月・5月の来訪が多く、10月は来訪が落ち込む。
- 割合では、香港からの来訪が最も多く5月がピークとなる。次いで台湾が多く6月がピークとなる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉

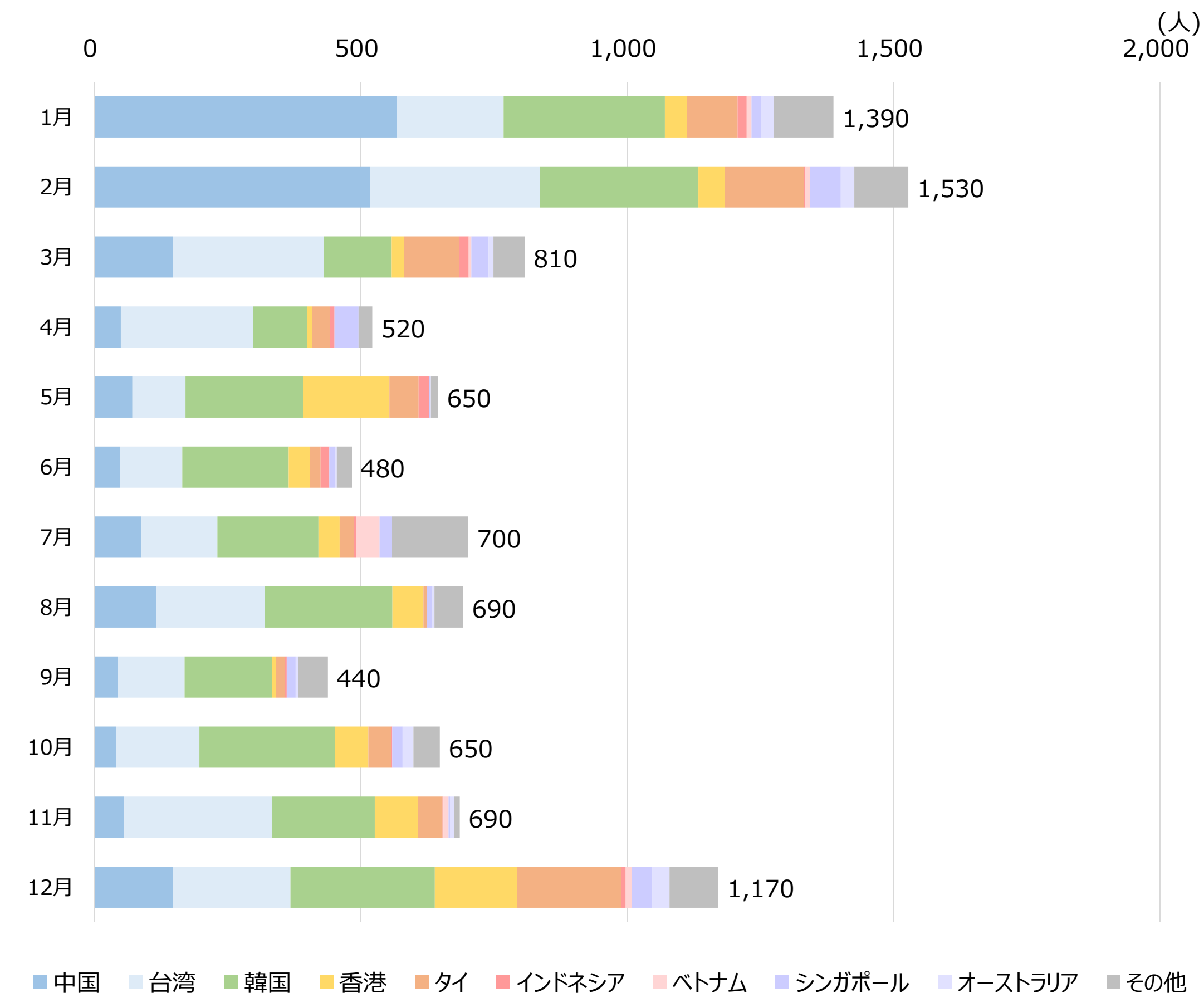


堺町通り商店街エリア来訪者の居住国（インバウンド）

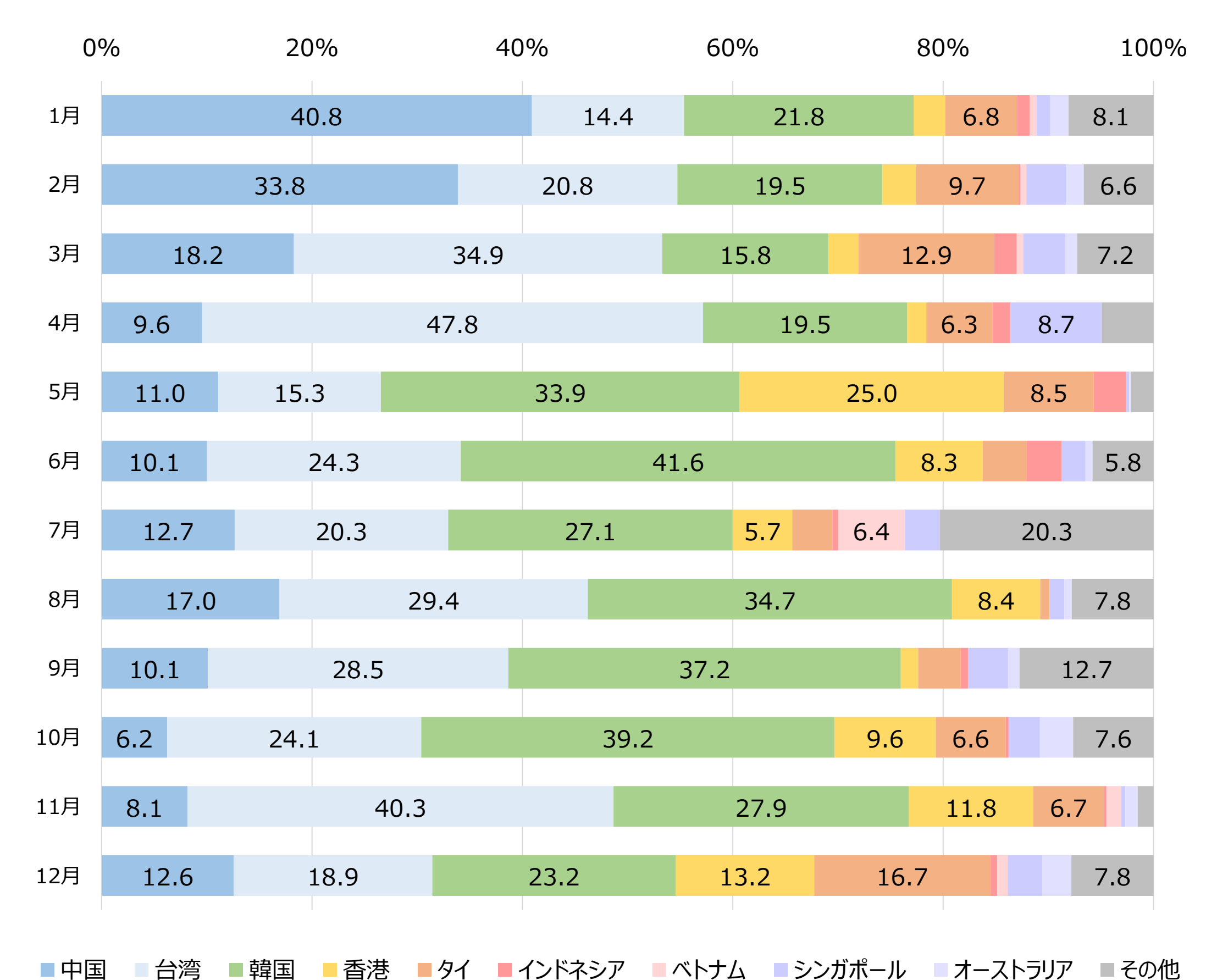
- 実数では、2月・1月の来訪が多く、9月・6月は来訪が落ち込む。
- 割合では、台湾からの来訪が最も多く4月がピークとなる。次いで韓国が多く6月がピークとなる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉

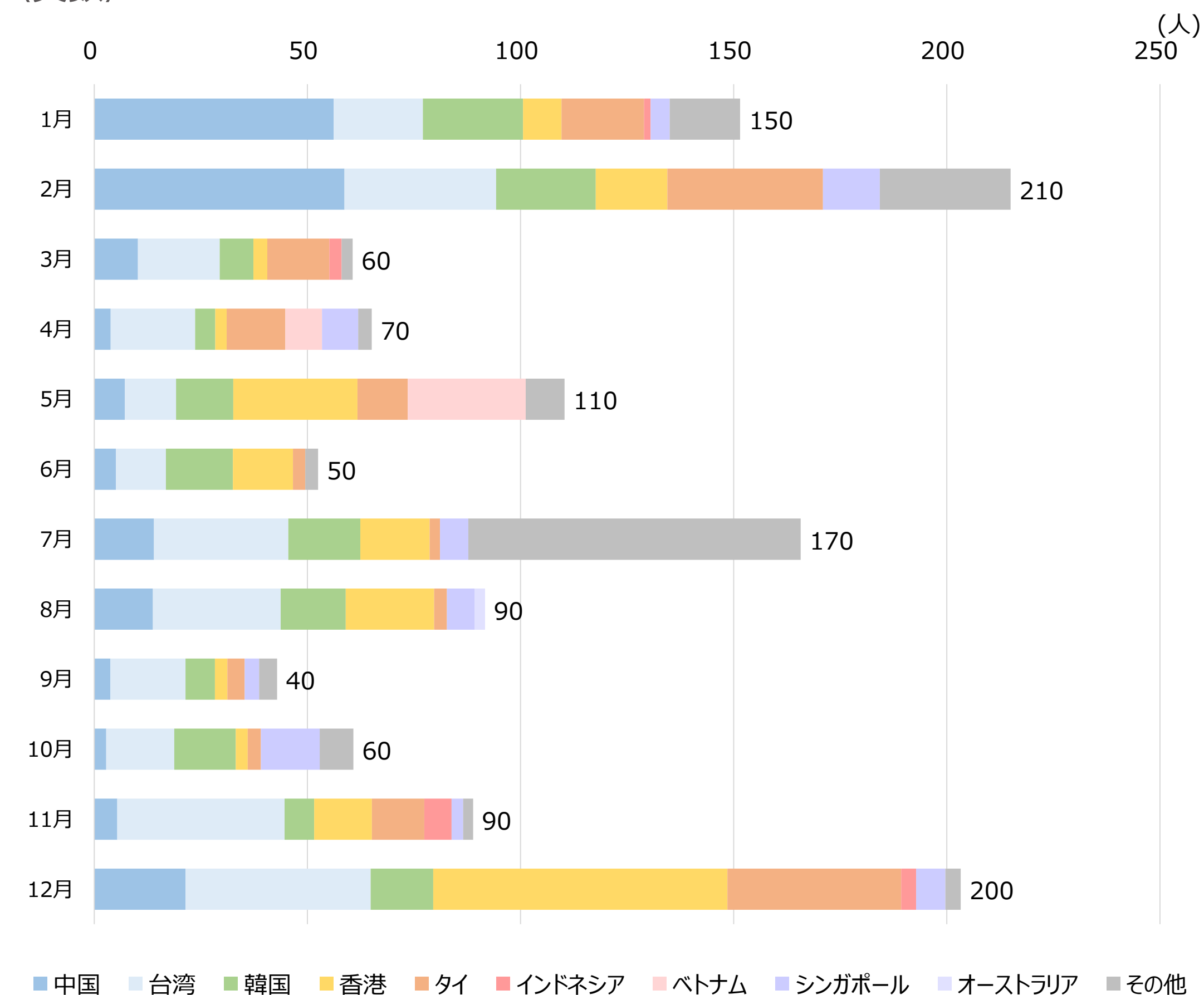


祝津・高島・手宮エリア来訪者の居住国（インバウンド）

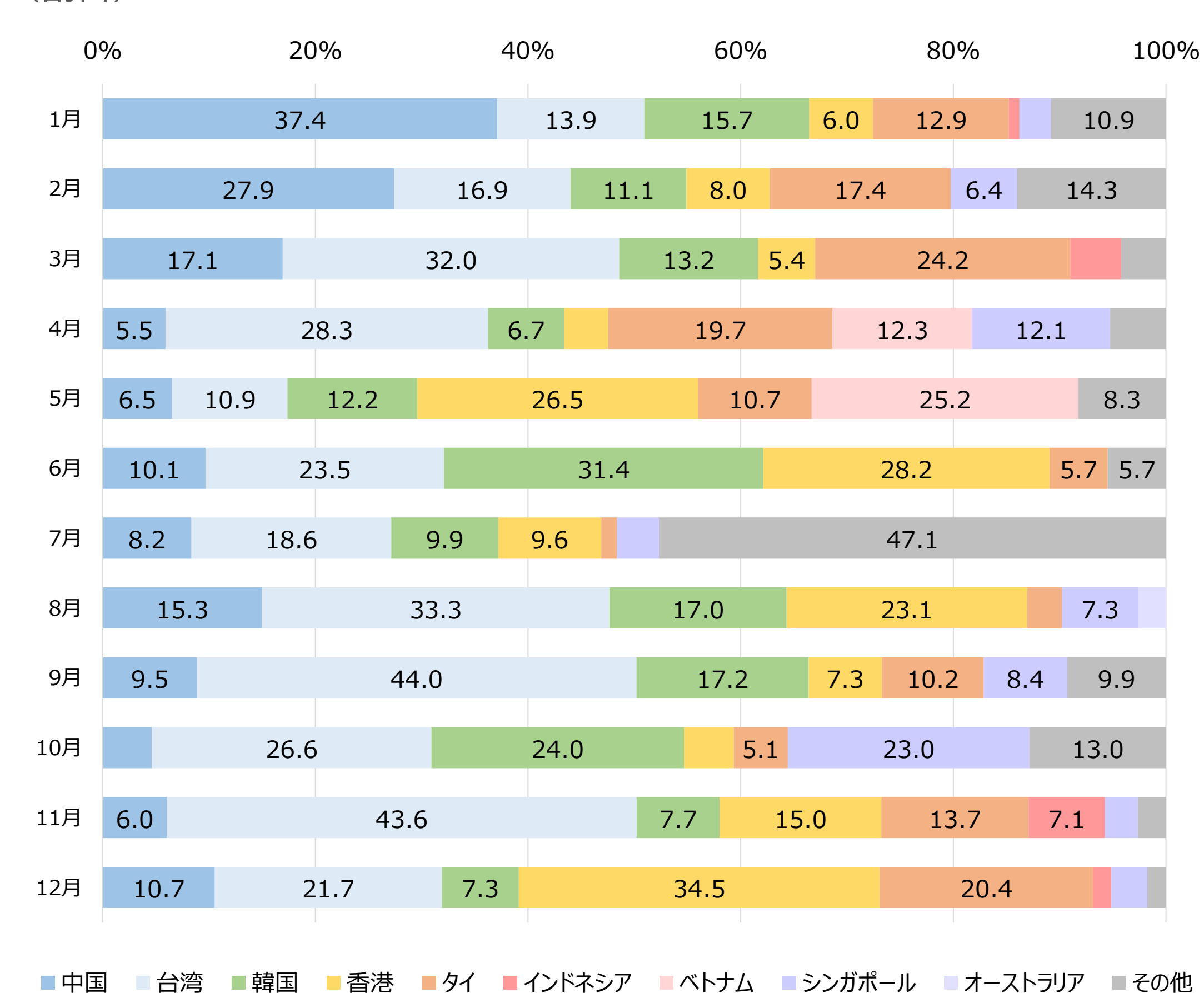
- 実数では、2月・12月の来訪が多く、9月・6月は来訪が落ち込む。
- 割合では、台湾からの来訪が最も多く9月がピークとなる。次いで中国が多く1月がピークとなる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉

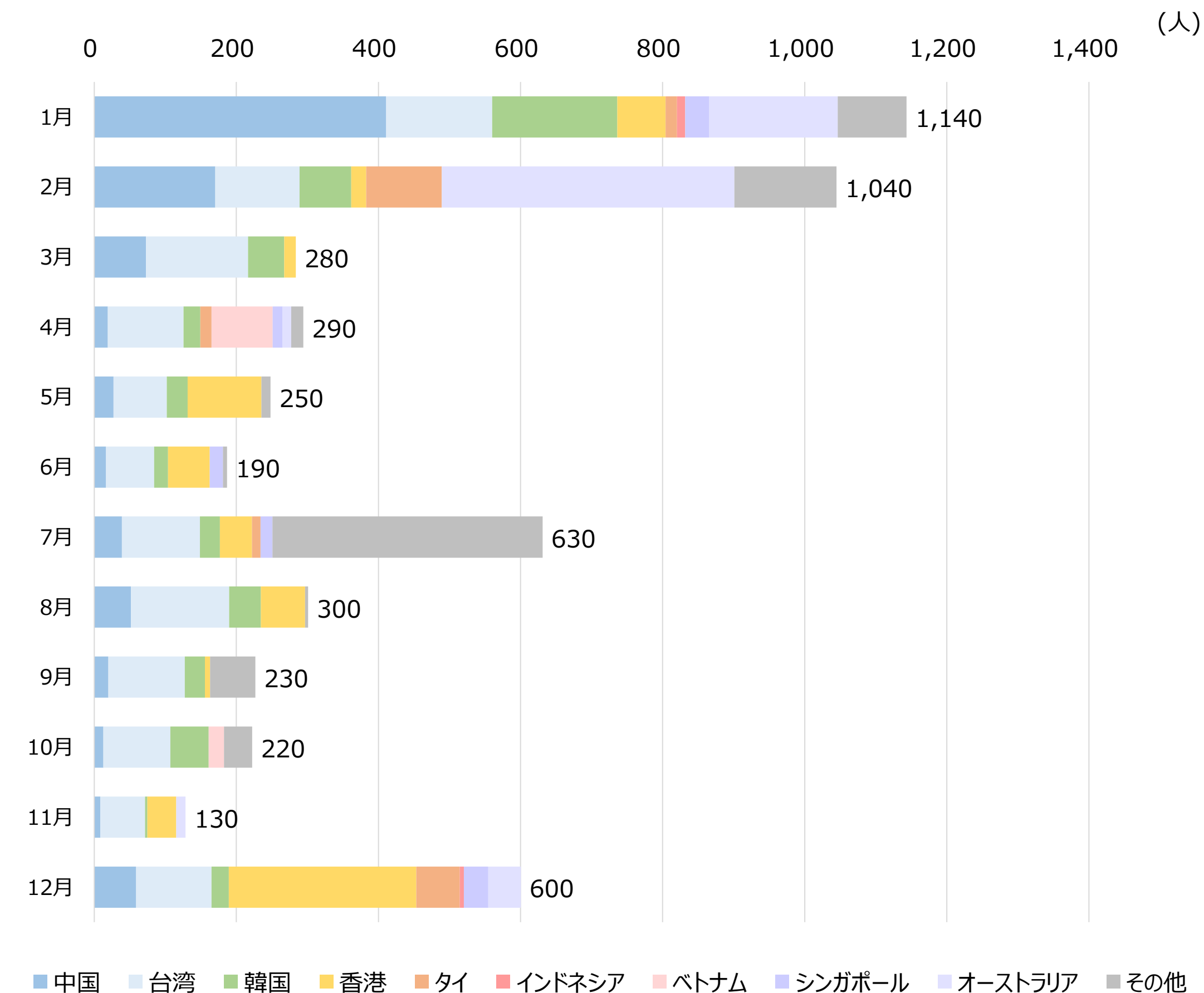


天狗山エリア来訪者の居住国（インバウンド）

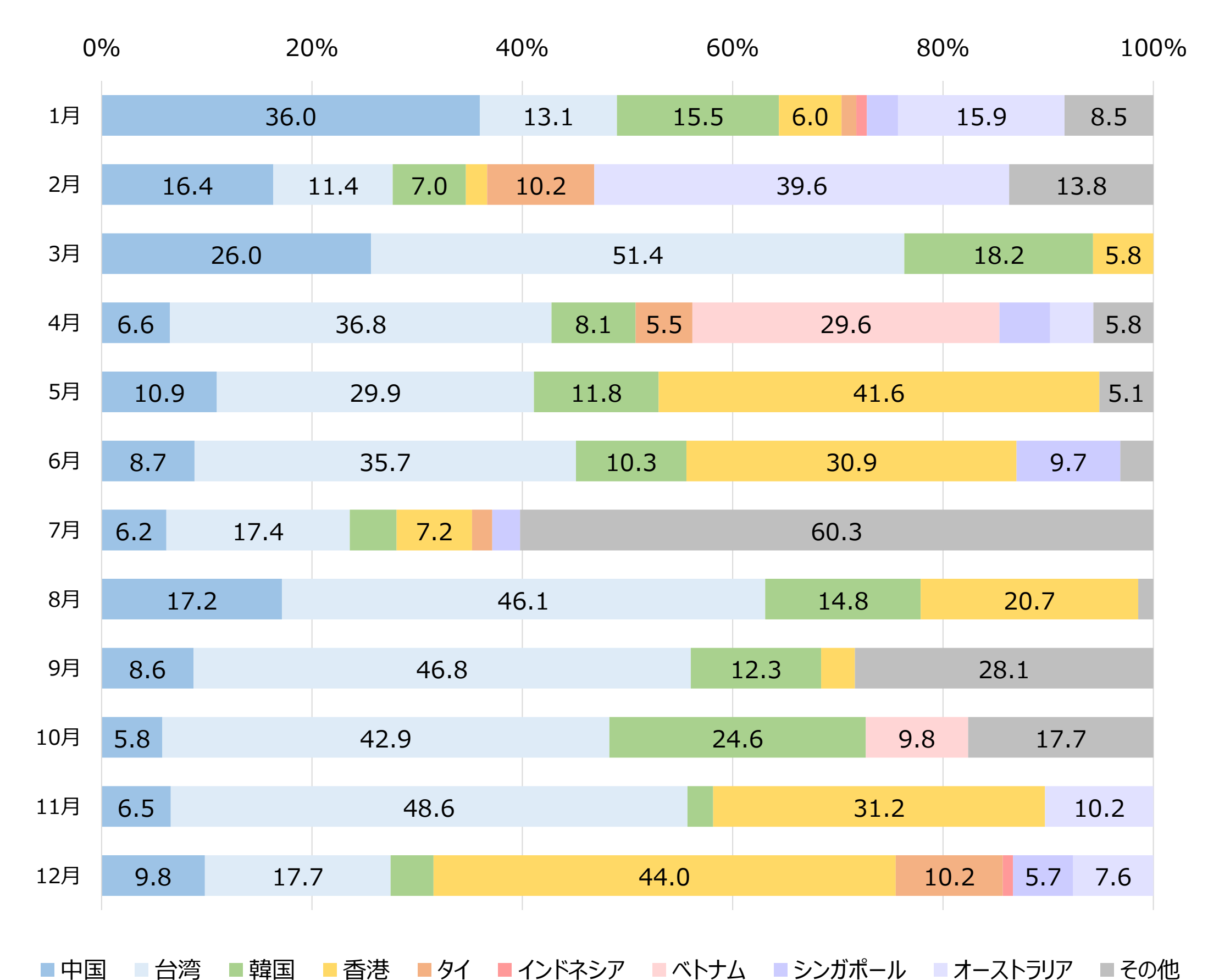
- 実数では、1月・2月の来訪が多く、11月・6月は来訪が落ち込む。
- 割合では、台湾からの来訪が最も多く3月がピークとなる。次いで香港が多く12月がピークとなる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉

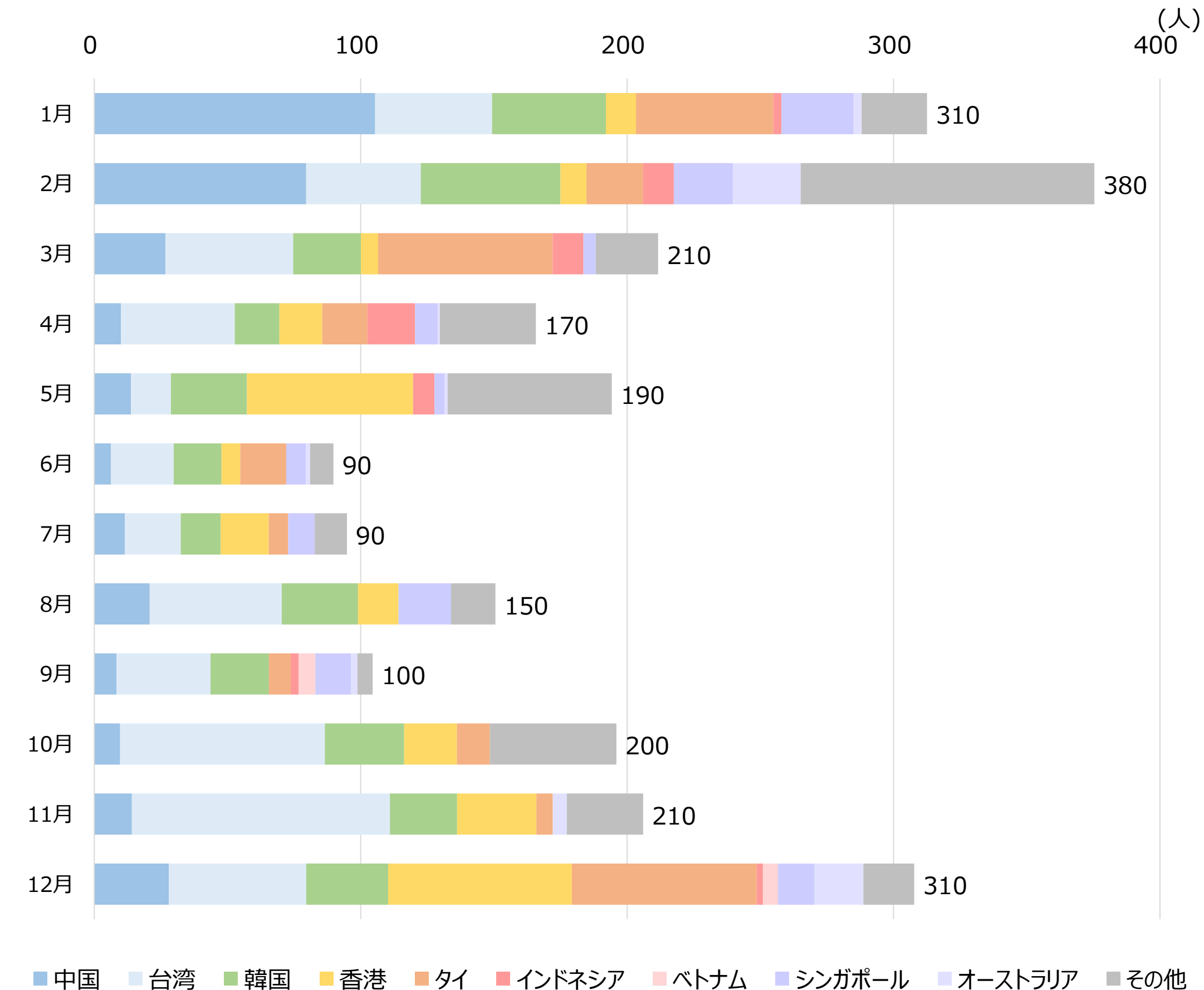


築港エリア来訪者の居住国（インバウンド）

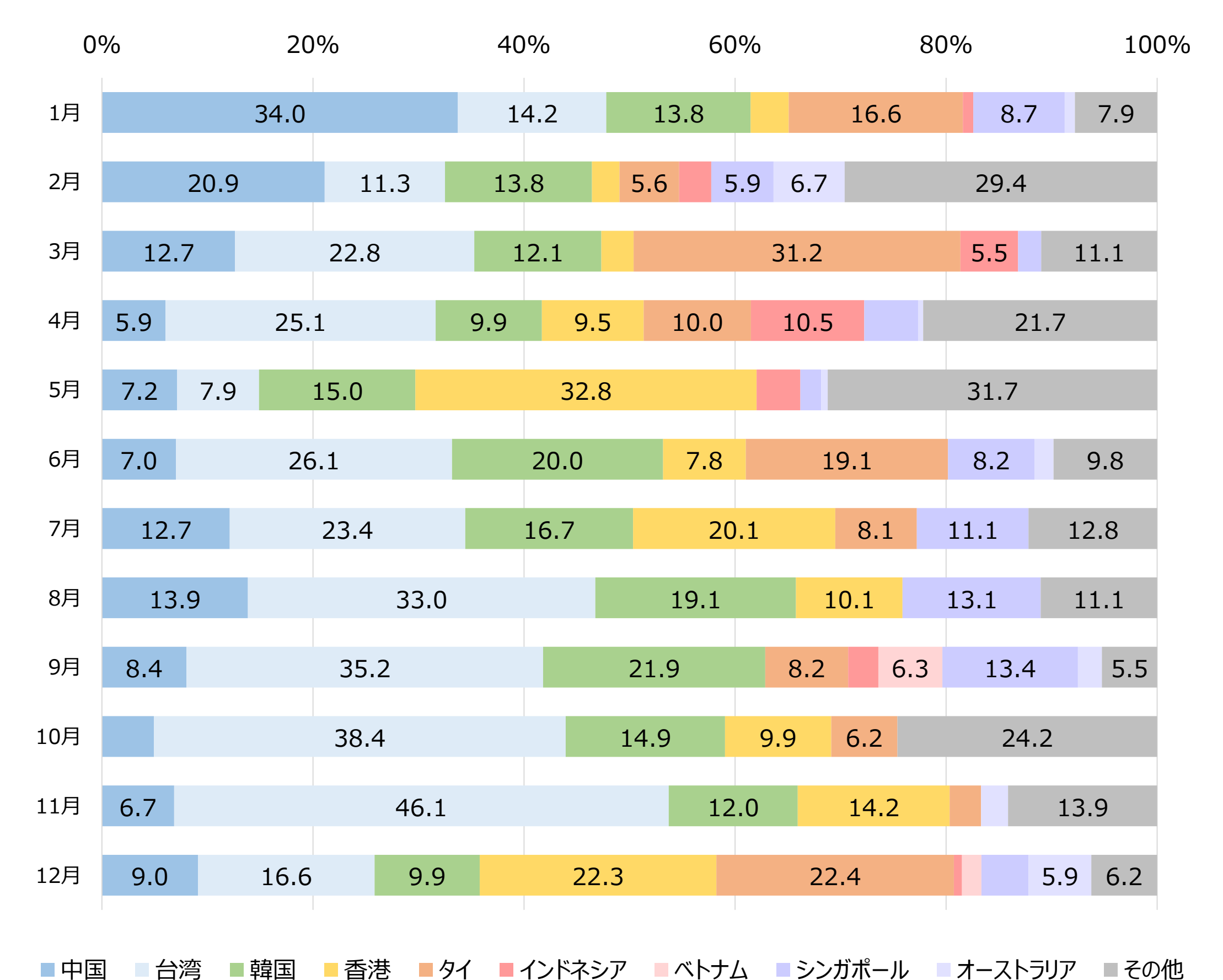
- 実数では、2月・1月・12月の来訪が多く、6月・7月は来訪が落ち込む。
- 割合では、台湾からの来訪が最も多く11月がピークとなる。次いで中国が多く1月がピークとなる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉



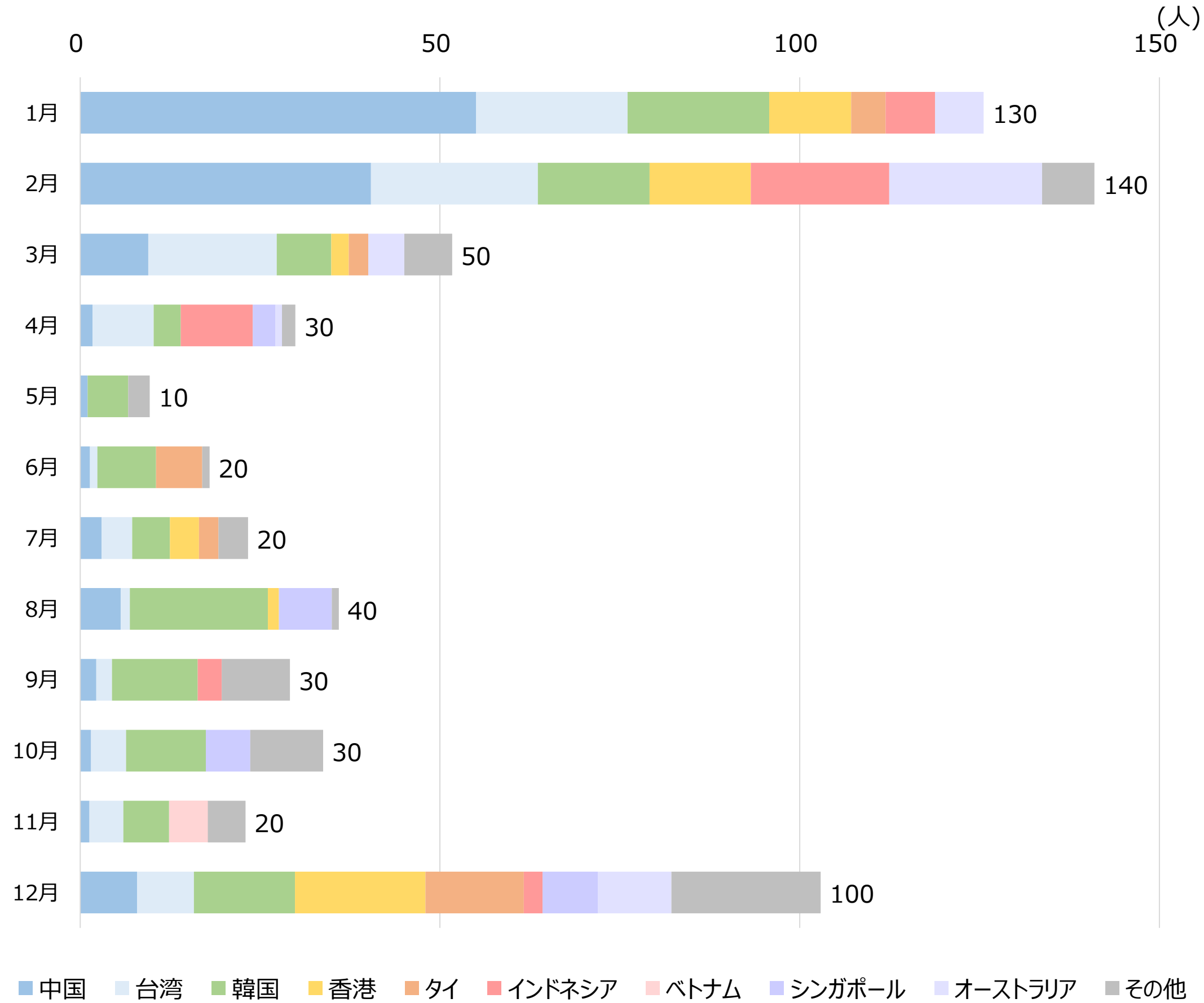
朝里川温泉エリア来訪者の居住国（インバウンド）

- 実数では、2月・1月の来訪が多く、5月は来訪が落ち込む。

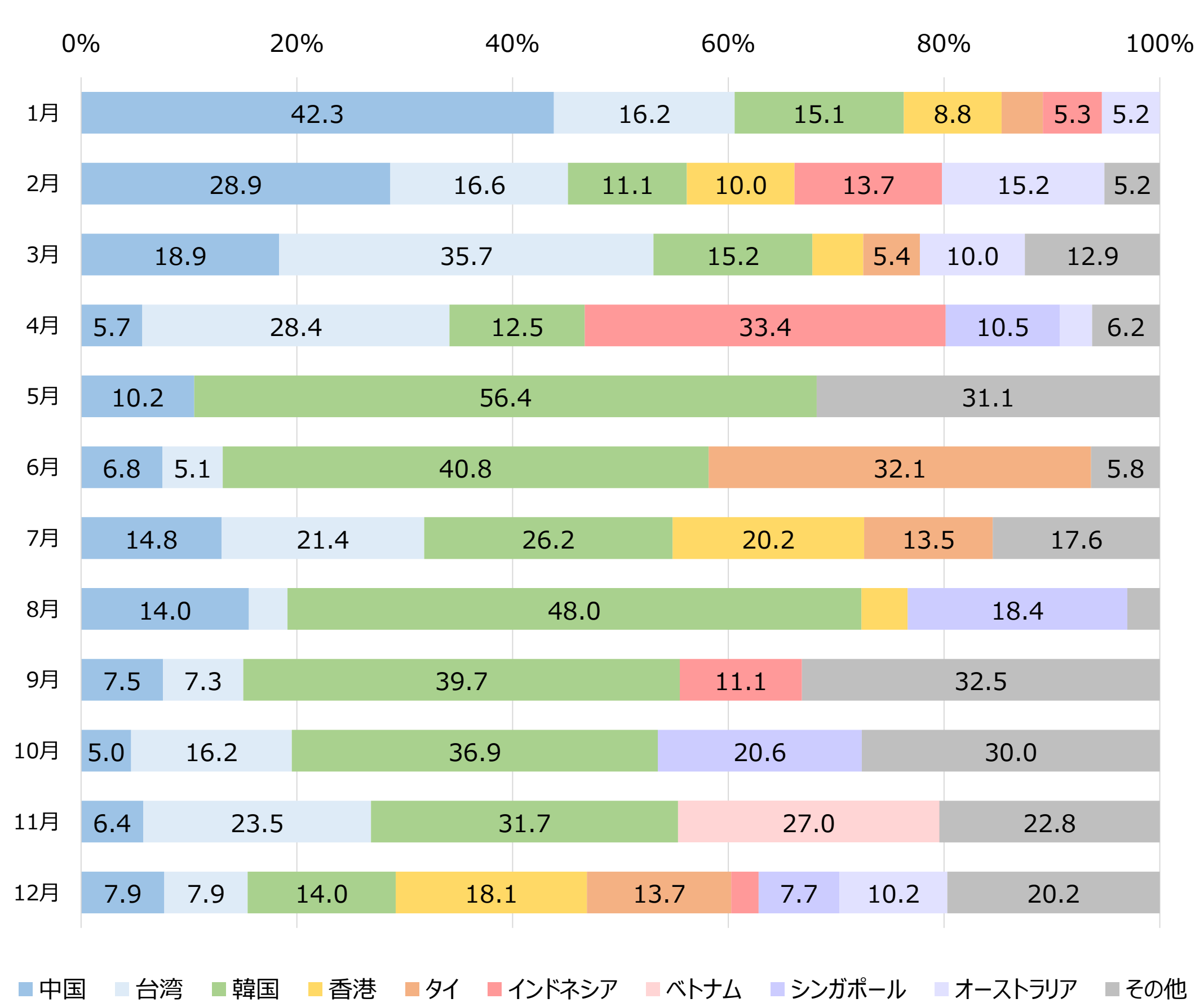
➤ 割合では、韓国からの来訪が最も多く5月がピークとなる。次いで中国が多く1月がピークとなる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉



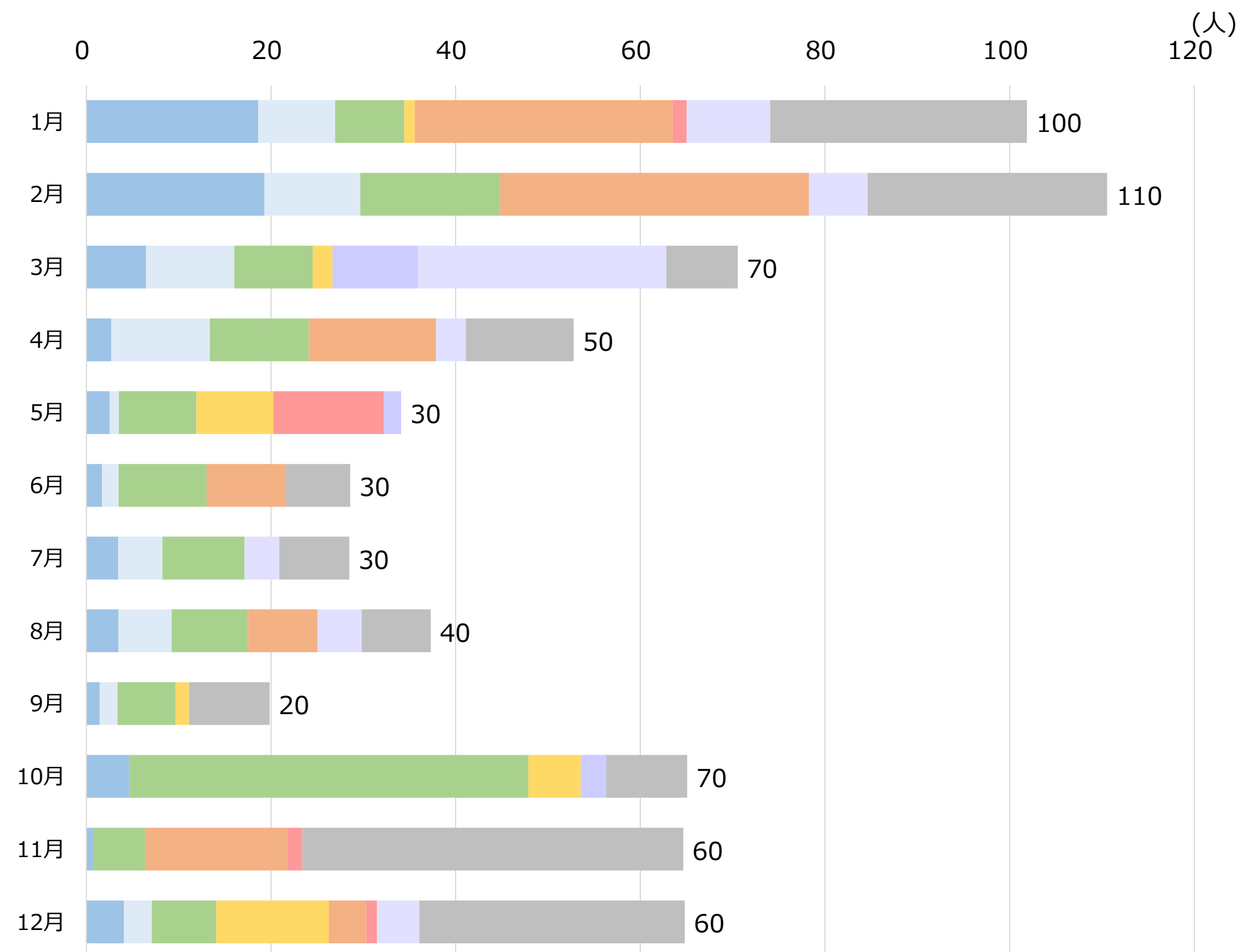
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

銭函・張碓エリア来訪者の居住国（インバウンド）

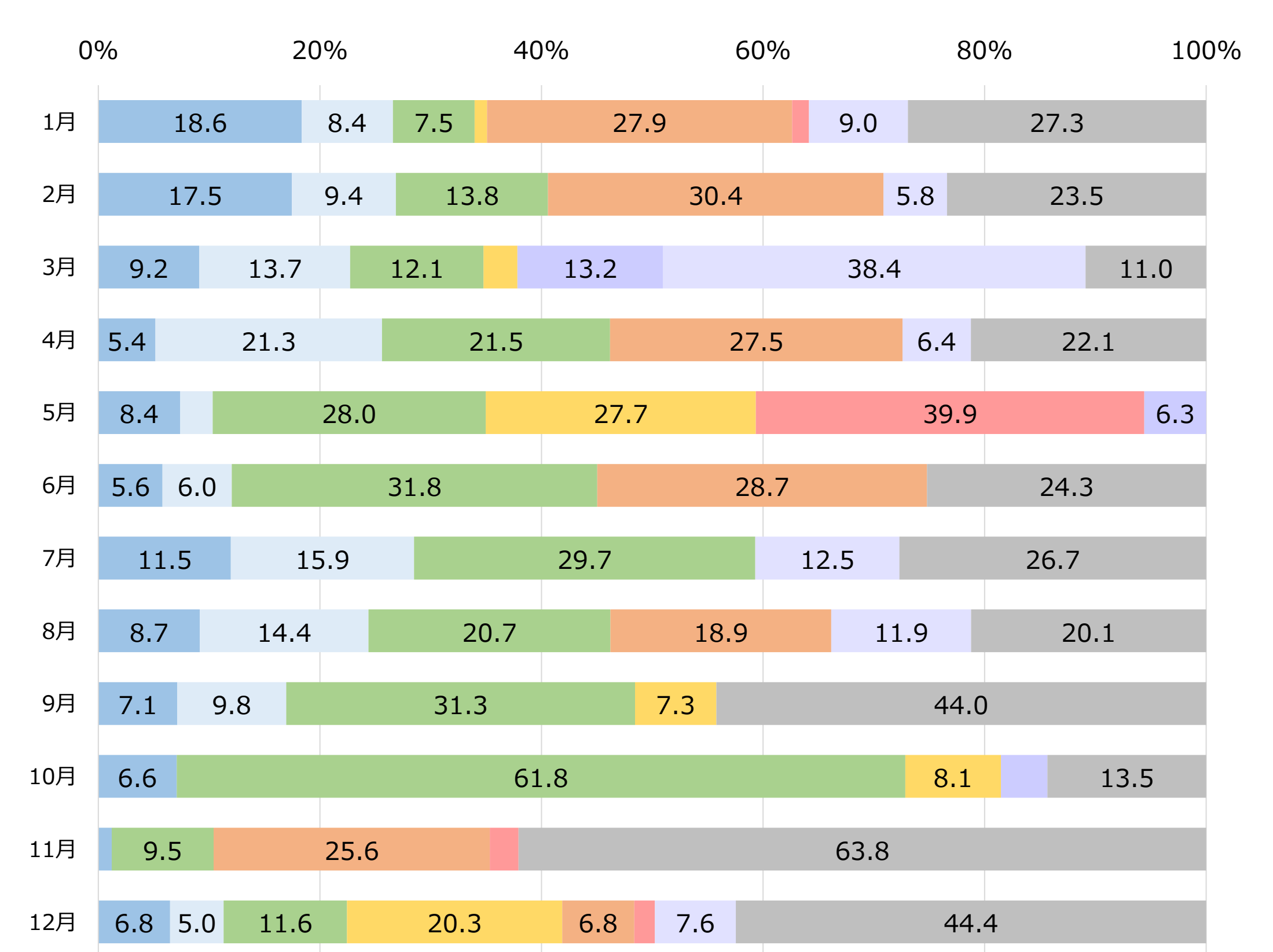
- 実数では、2月・1月の来訪が多く、9月は来訪が落ち込む。
- 割合では、韓国からの来訪が最も多く10月がピークとなる。次いでインドネシアが多く5月がピークとなる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉



中国 台湾 韓国 香港 タイ インドネシア ベトナム シンガポール オーストラリア その他

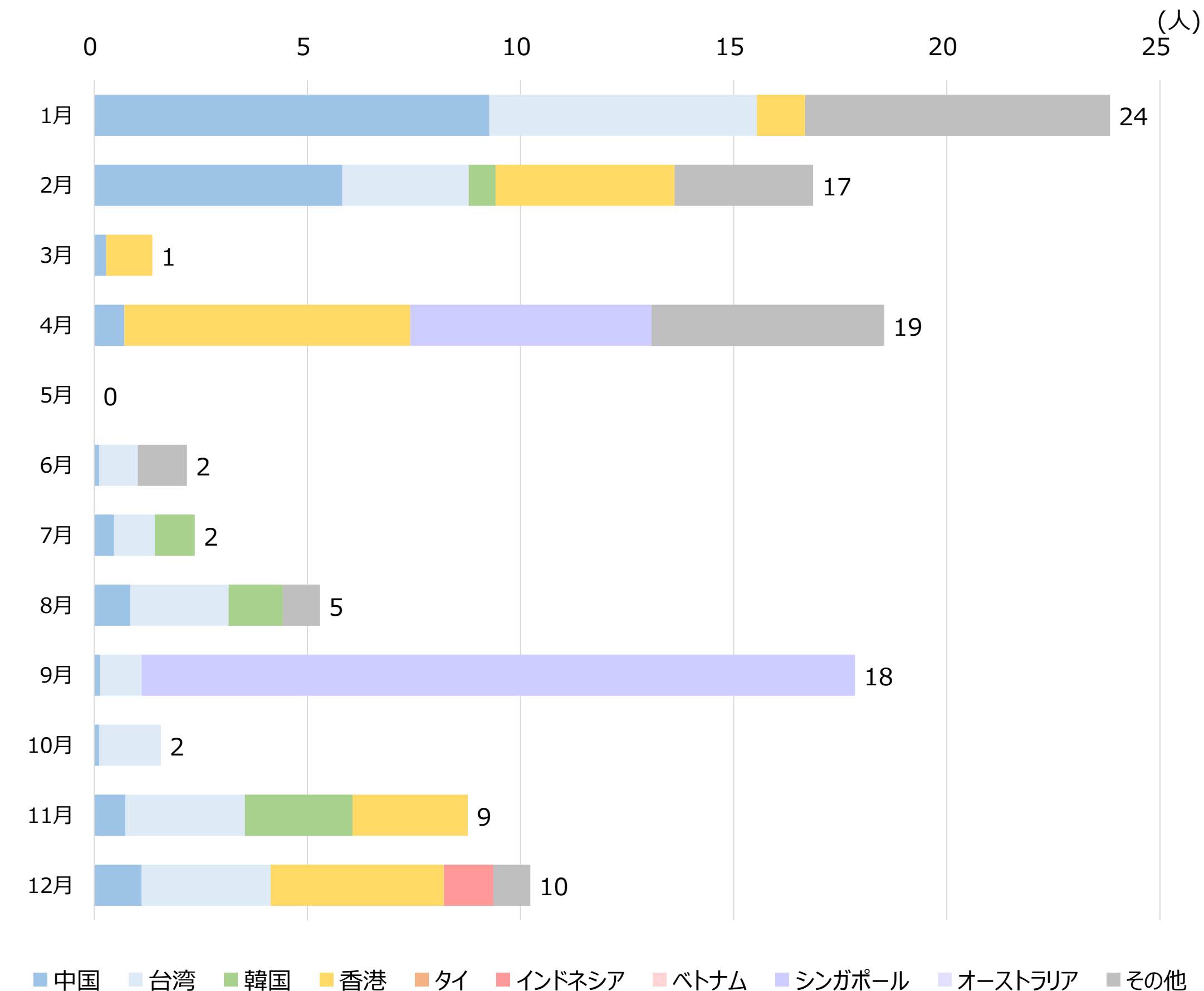
中国 台湾 韓国 香港 タイ インドネシア ベトナム シンガポール オーストラリア その他

塩谷・蘭島エリア来訪者の居住国（インバウンド）

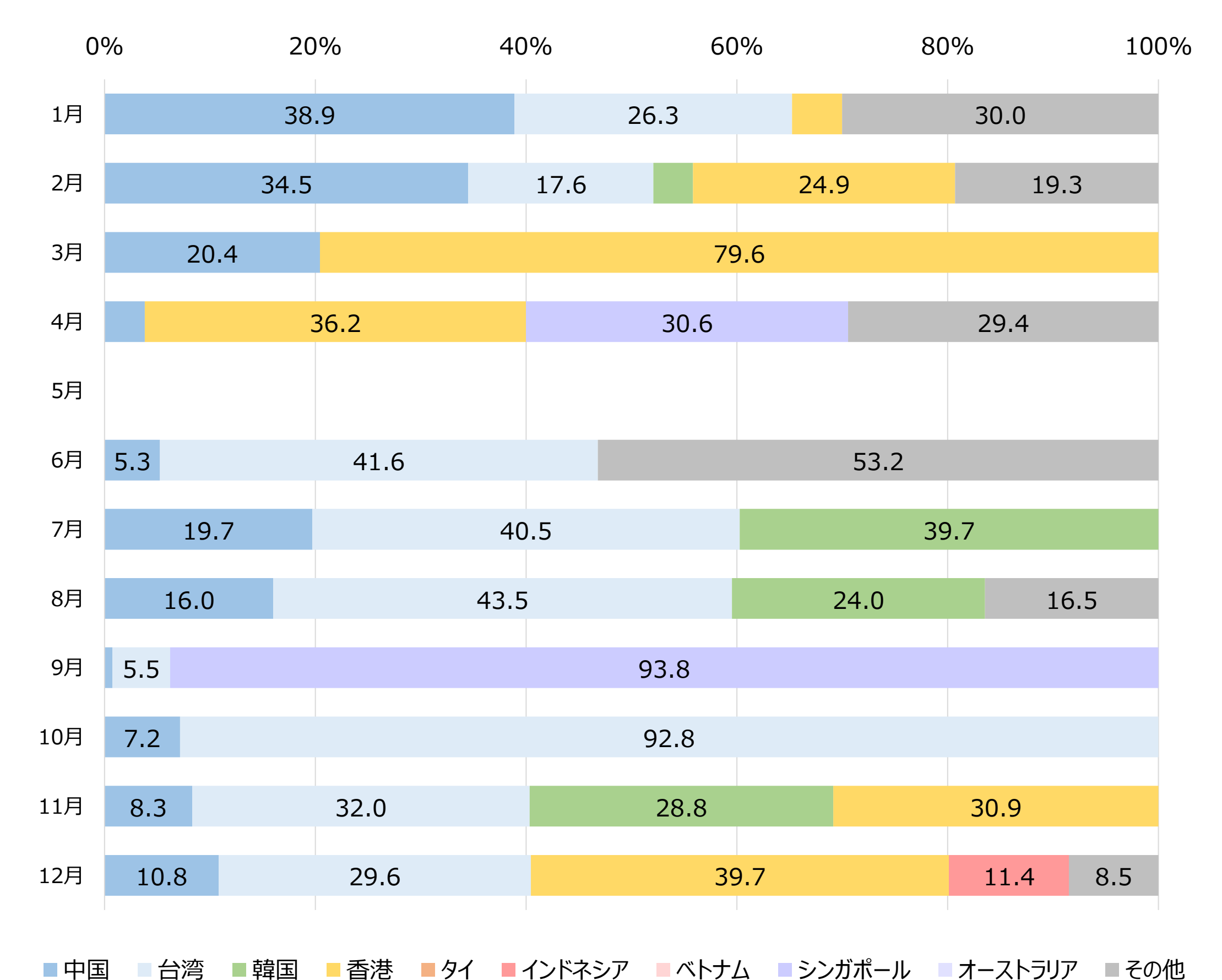
- 実数では、1月・4月の来訪が多く、5月・3月は来訪が落ち込む。
- 割合では、シンガポールからの来訪が最も多く9月がピークとなる。次いで台湾が多く10月がピークとなる。

● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉

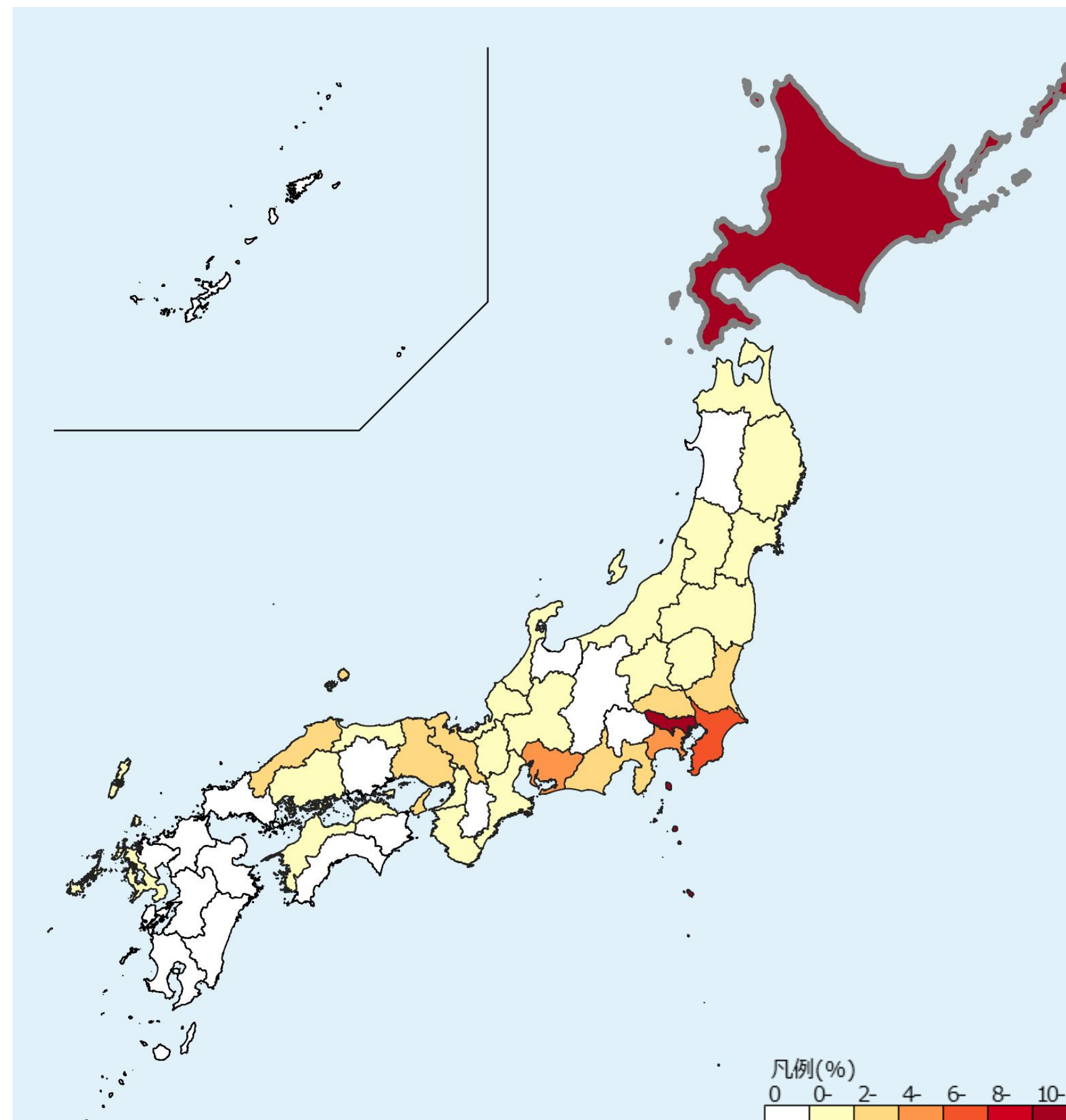


※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

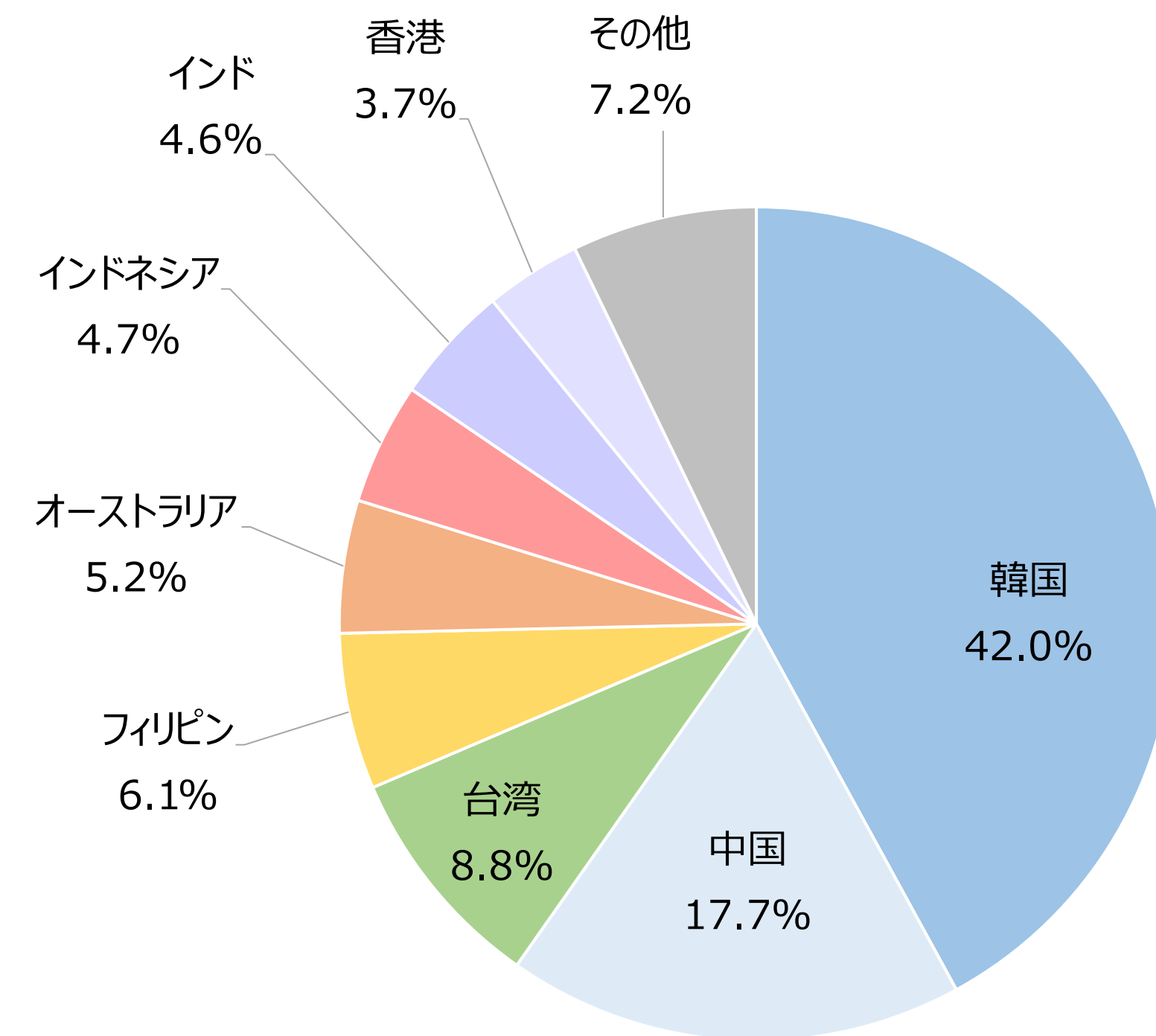
第3 ふ頭〈クルーズ〉来訪者の居住地（2025年）

- 日本人観光客は、北海道・東京からの来訪が特に多く、次いで千葉が多い。
- インバウンドは、韓国からの来訪が最も多く4割程度を占め、次いで中国・台湾が多い。

● 居住地（日本人観光客、2025年2～10月）



● 居住地（インバウンド、2025年2～10月）

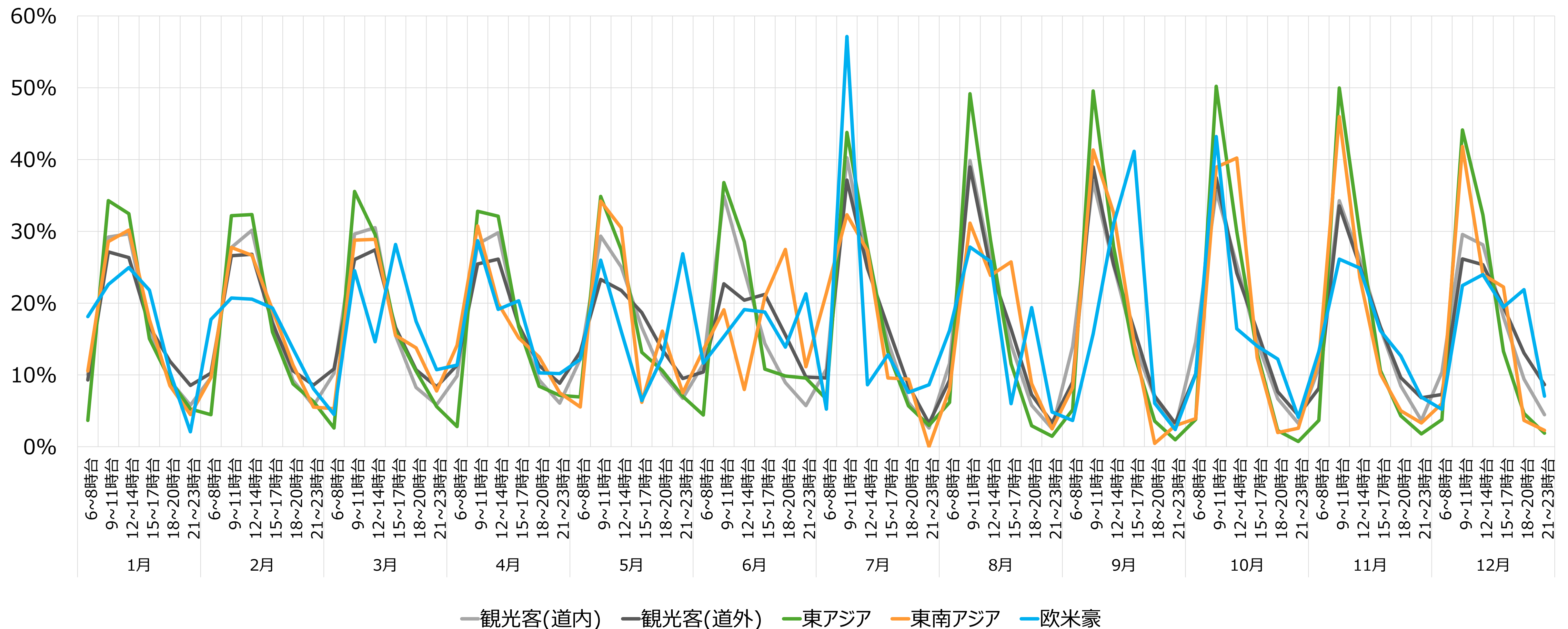


※インバウンドの合計値を100%としている。
なお、中国人・ロシア人については位置情報を取得できないため、別途推計を行っている（詳細はp.4を参照）。

來訪時間帶

小樽市全域の来訪時間帯分布

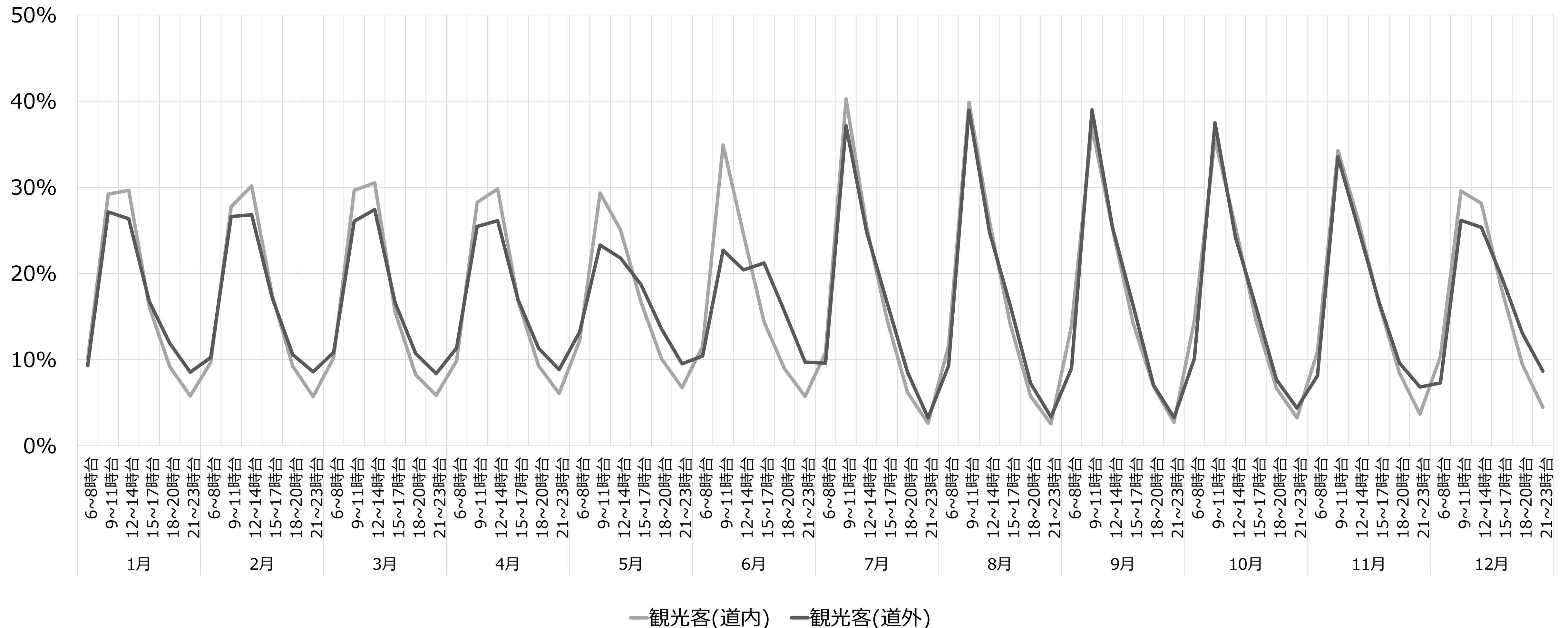
➤ 日本人に比べて、インバウンドでは9～14時台に来訪が集中する傾向にある。



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

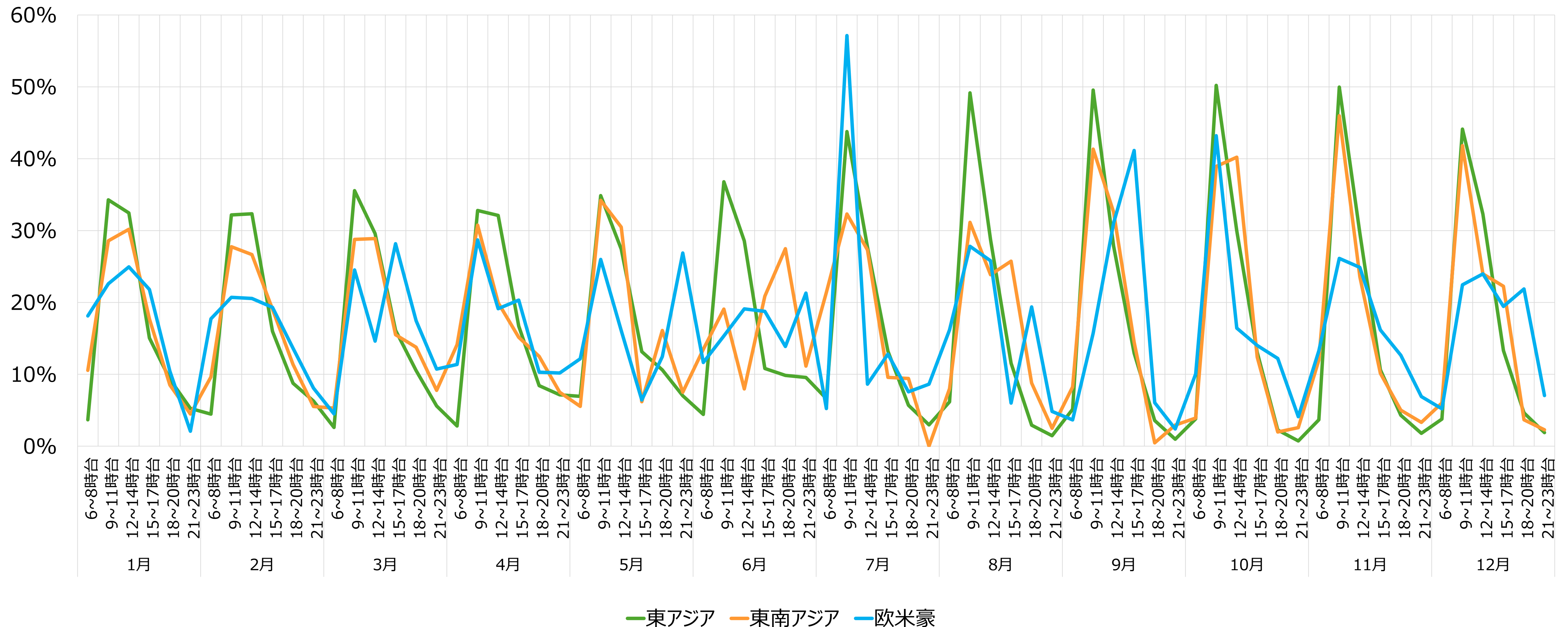
小樽市全域の来訪時間帯分布

- 道内客は1～4月が12～14時台、5月以降は9～11時台が来訪ピークである。
- 道外客は2～4月が12～14時台、それ以外の月は9～11時台が来訪ピークである。



小樽市全域の来訪時間帯分布

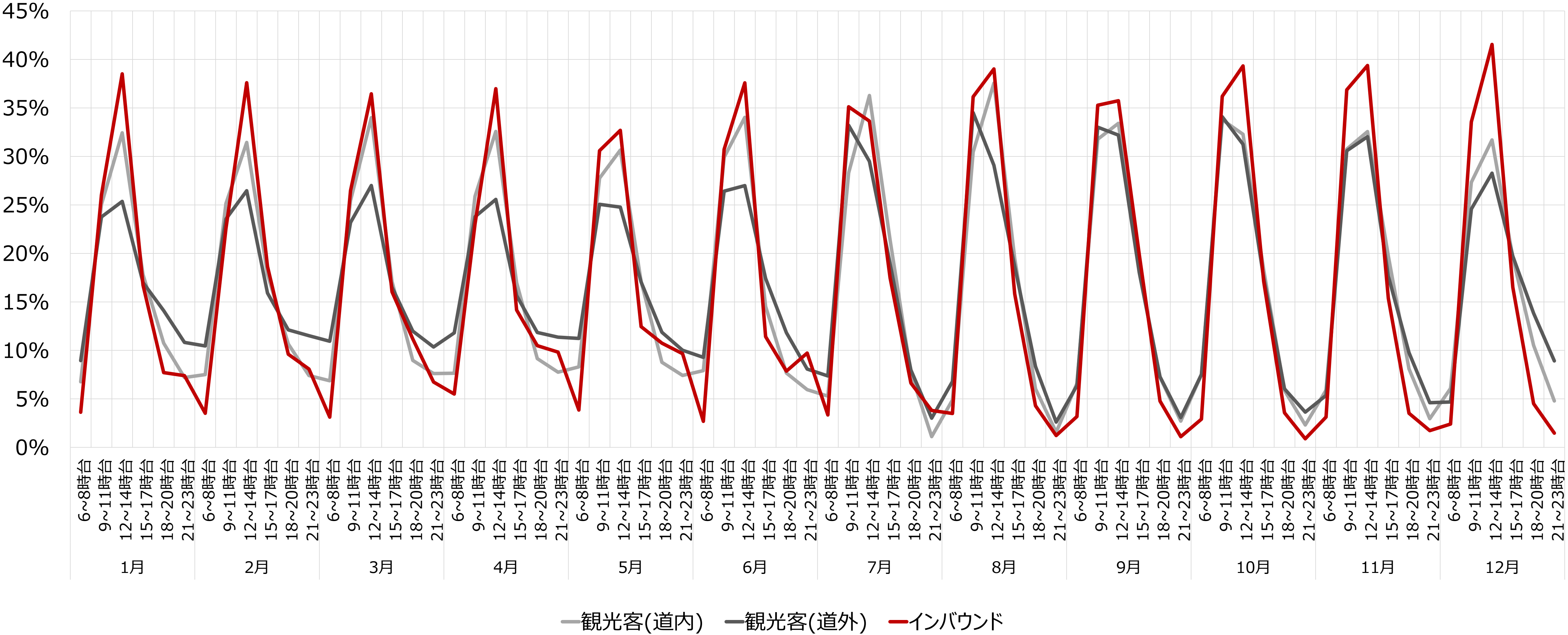
- 東アジア居住者は、2月が12～14時台、それ以外の月は9～11時台が来訪ピークである。
- 東南アジア居住者は1・3・6・10月以外で9～11時台が来訪ピークである。欧米豪居住者の来訪ピークは月により異なる。



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

中心部エリアの来訪時間帯分布

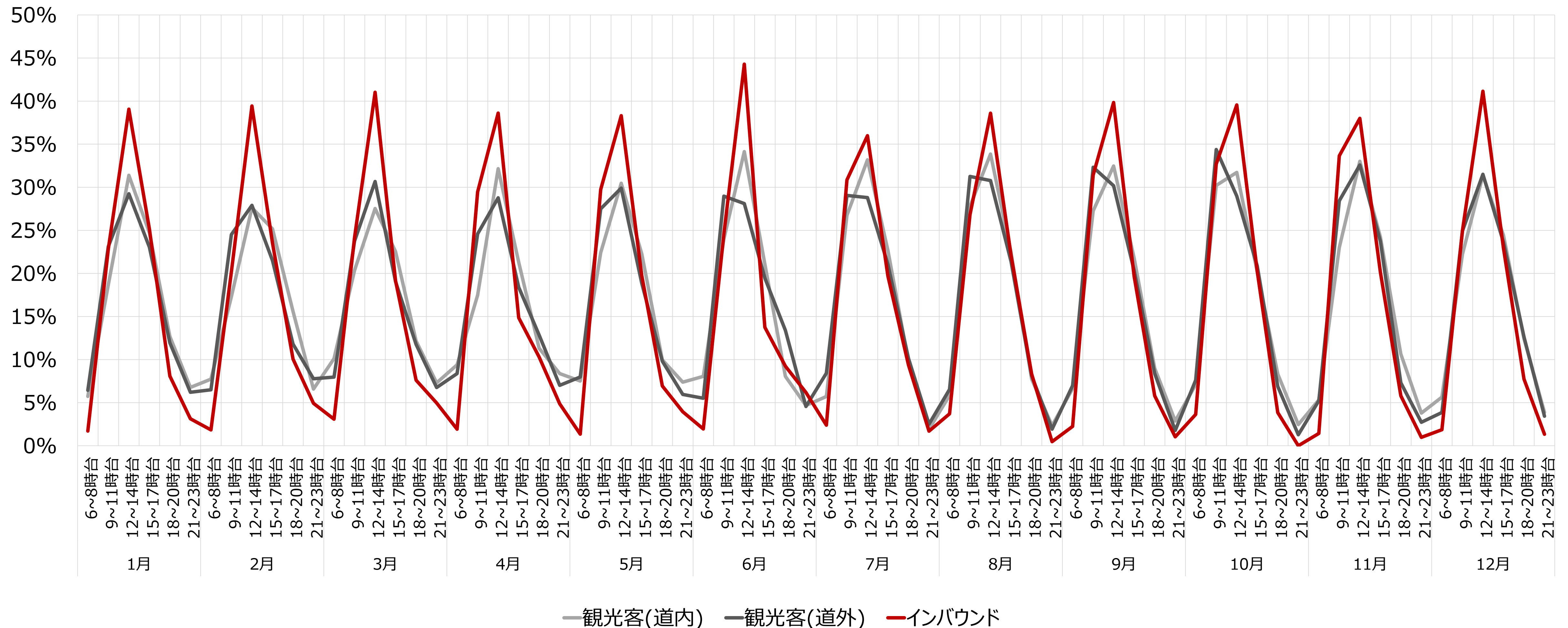
- 道内客は10月を除き12～14時台が来訪ピーク、道外客は月により9～11時台または12～14時台が来訪ピークである。
- インバウンドは7月以外で12～14時台が来訪ピークであり、特に冬季におけるピーク時間帯への集中が道外客に比べ顕著である。



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

小樽運河エリアの来訪時間帯分布

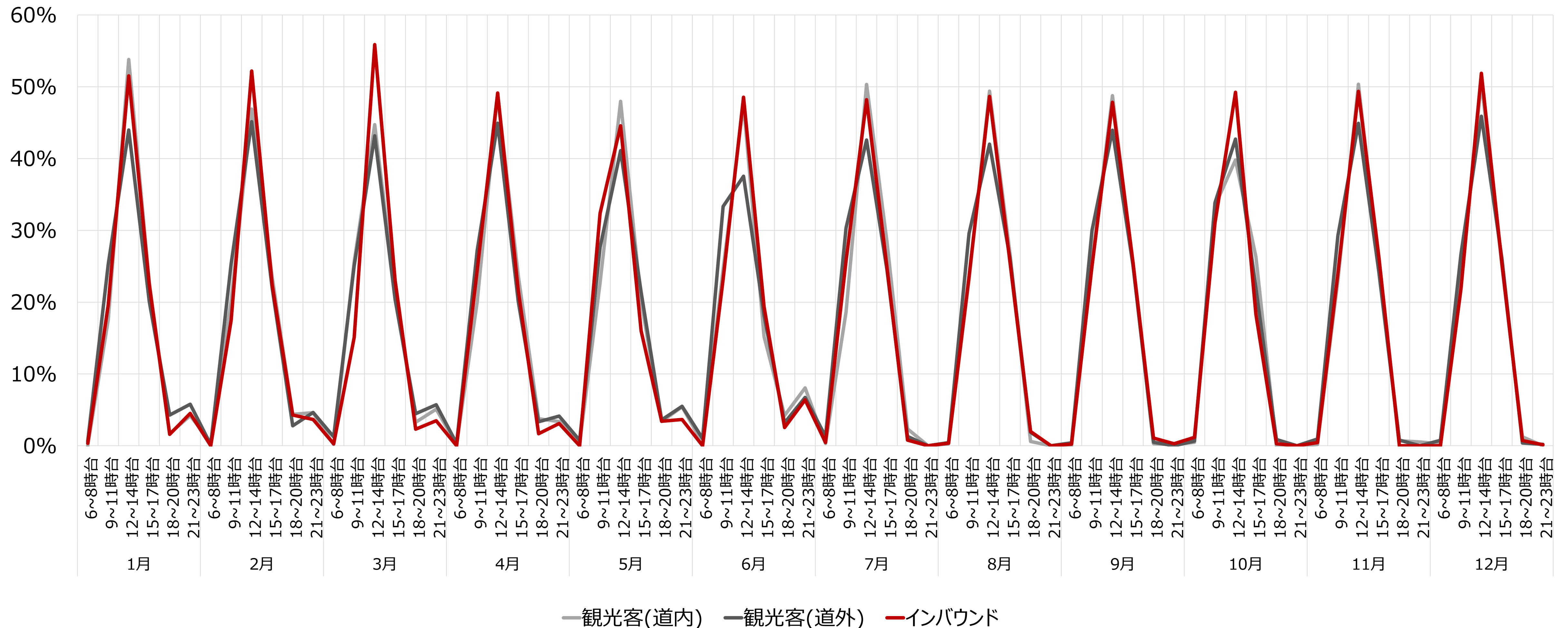
- 道内客は一年を通じて12～14時台が来訪ピークであり、道外客は月により9～11時台または12～14時台が来訪ピークである。
- インバウンドは一年を通じて12～14時台が来訪ピークであり、ピーク時間帯への集中が日本人に比べ顕著である。



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

堺町通り商店街エリアの来訪時間帯分布

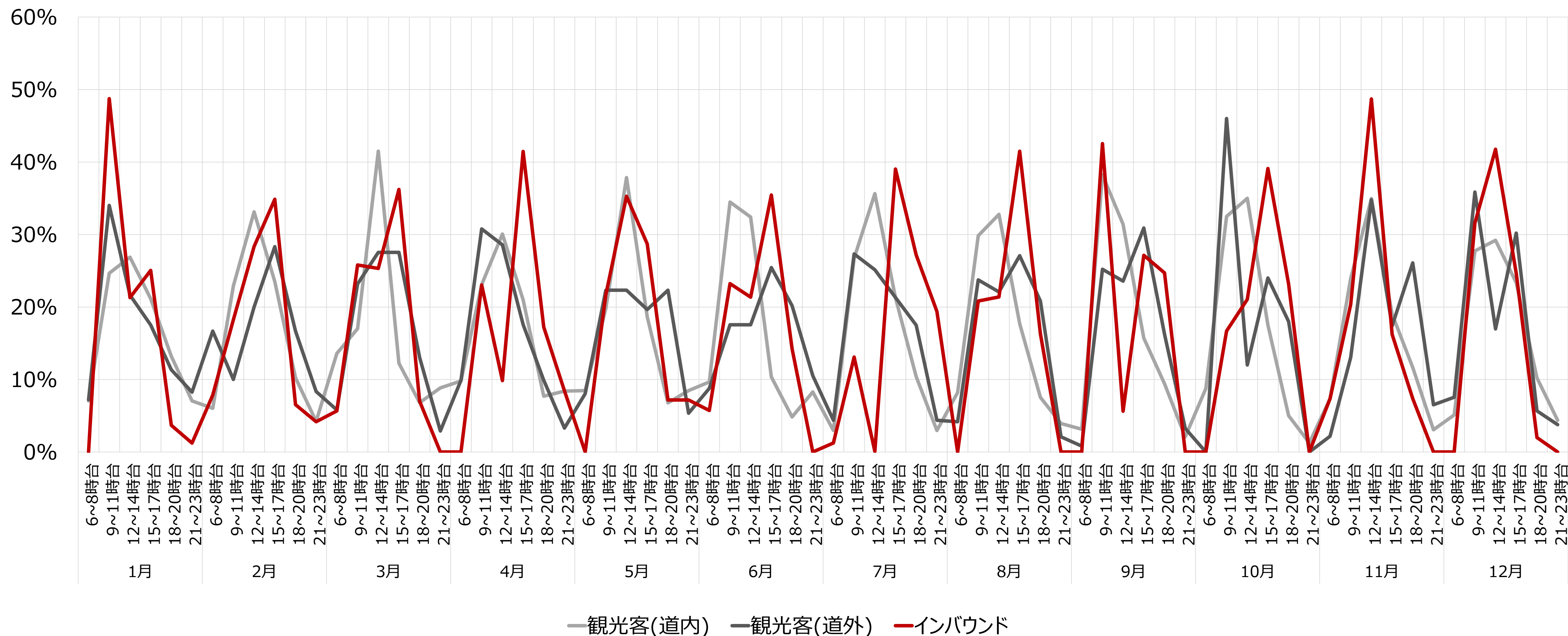
➤ 道内客・道外客・インバウンドともに、一年を通じて12～14時台が来訪ピークである。



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

天狗山エリアの来訪時間帯分布

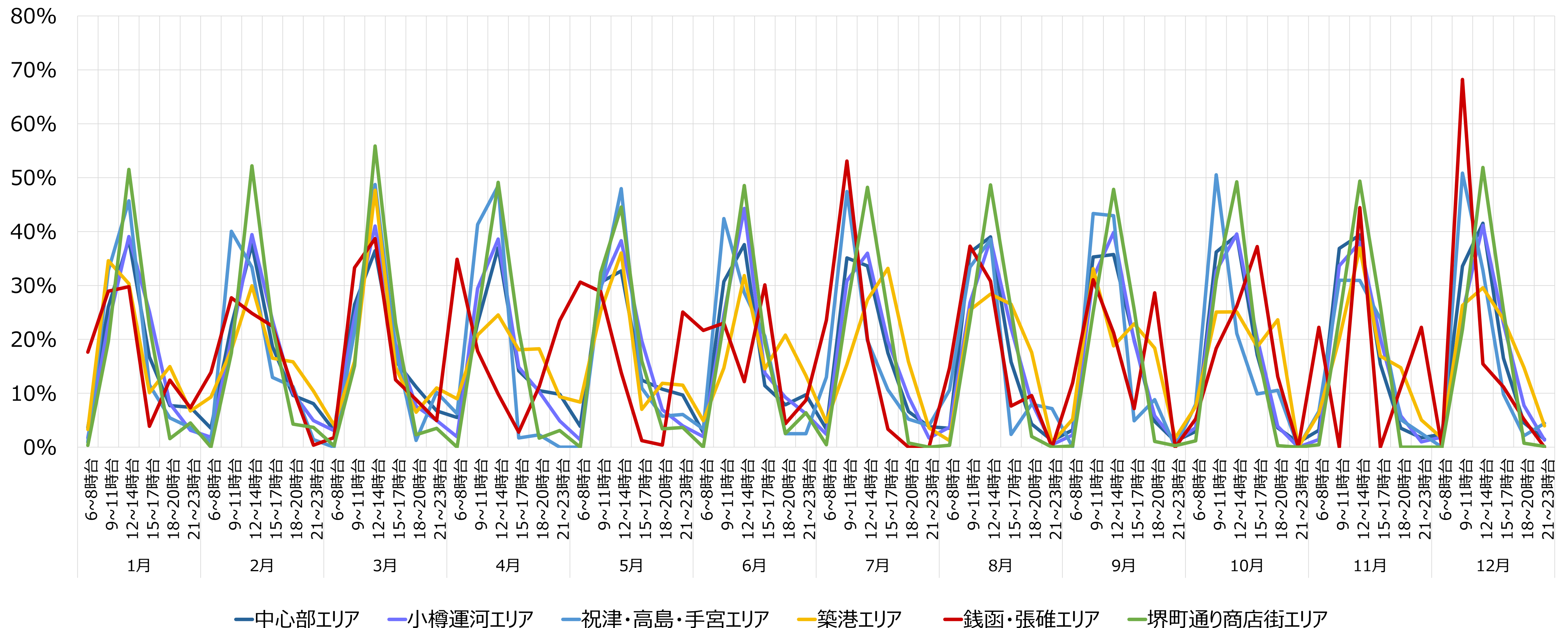
➤ 多くの月で、日本人とインバウンドで来訪ピークが異なる。インバウンドは、2～4月・6～8月・10月において15～17時台が来訪ピークである。



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

各エリアの来訪時間帯分布（インバウンド）

- 総じて、祝津・高島・手宮エリアや堺町通り商店街エリアにおける特定時間帯への集中が目立つ。
- 他方、築港エリアへの来訪時間帯は比較的分散している。



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

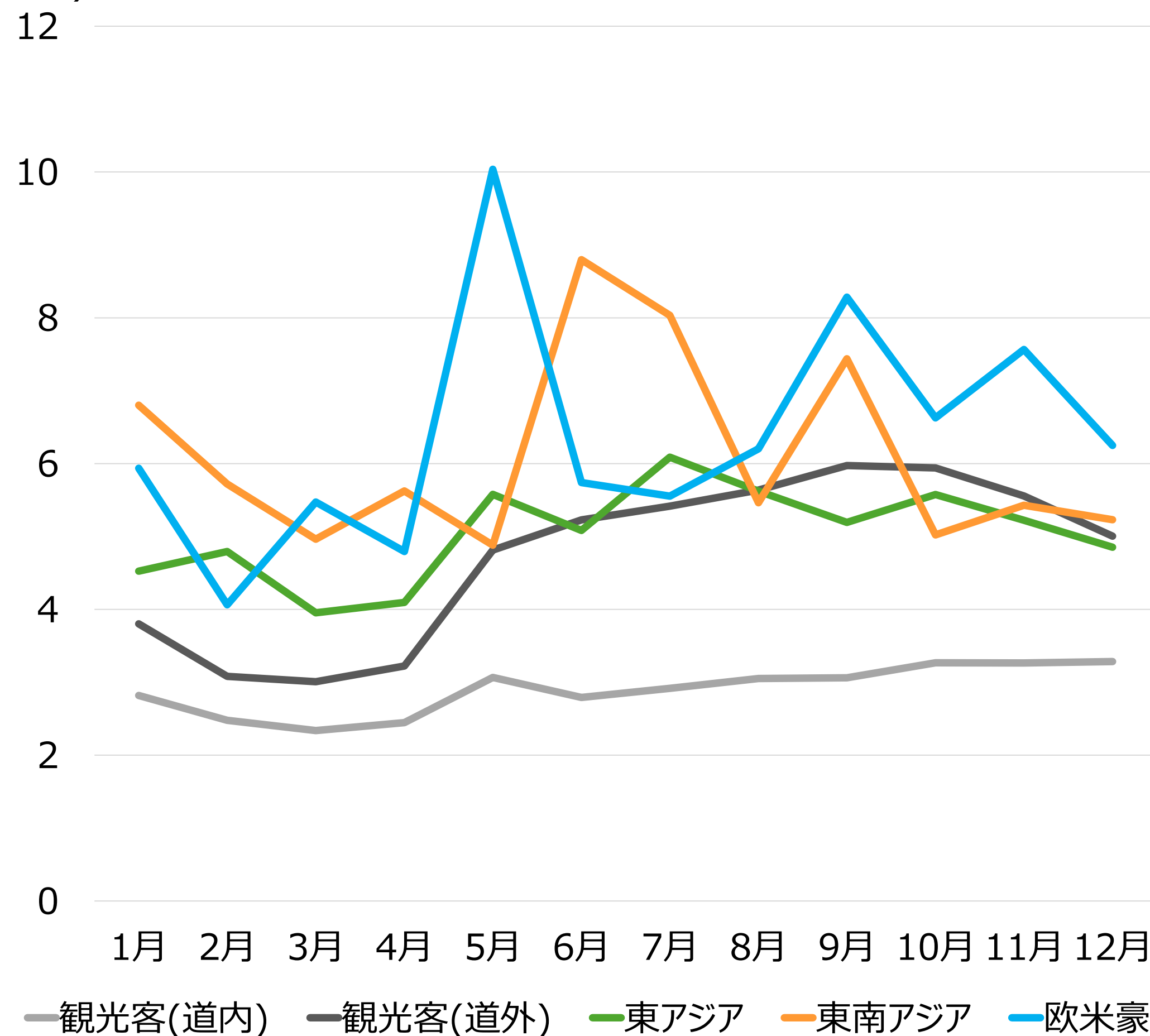
滞在時間・市内宿泊数

小樽市全域来訪者の平均滞在時間・平均市内宿泊数

- 平均滞在時間は、総じて日本人よりもインバウンドが長いが、8～12月においては道外客を下回る市場もみられる。
- 平均市内宿泊数も、総じて日本人よりもインバウンドが長いが、6～8月・10～12月においては道外客を下回る市場もみられる。

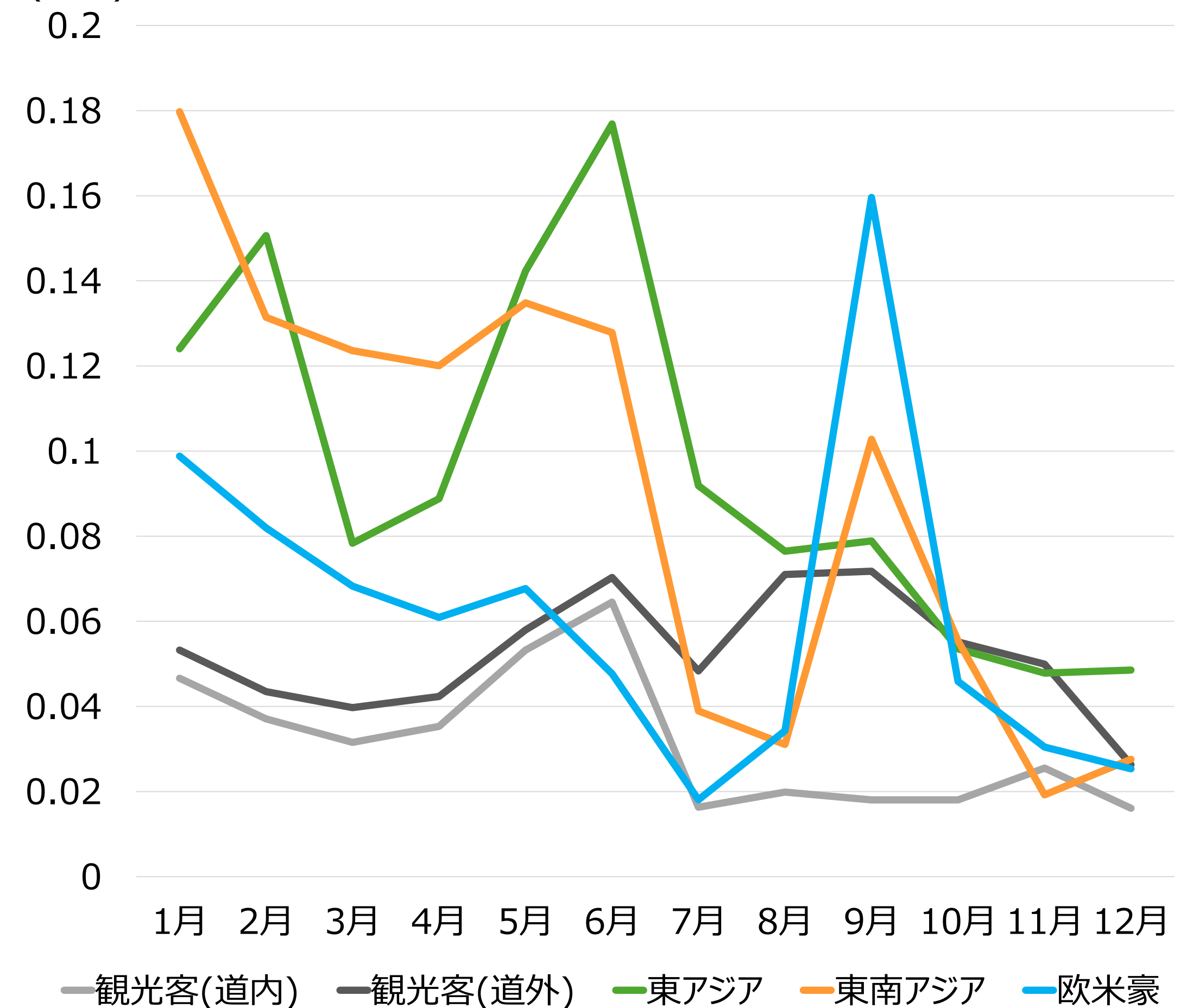
● 平均滞在時間

(時間)



● 平均市内宿泊数

(泊数)

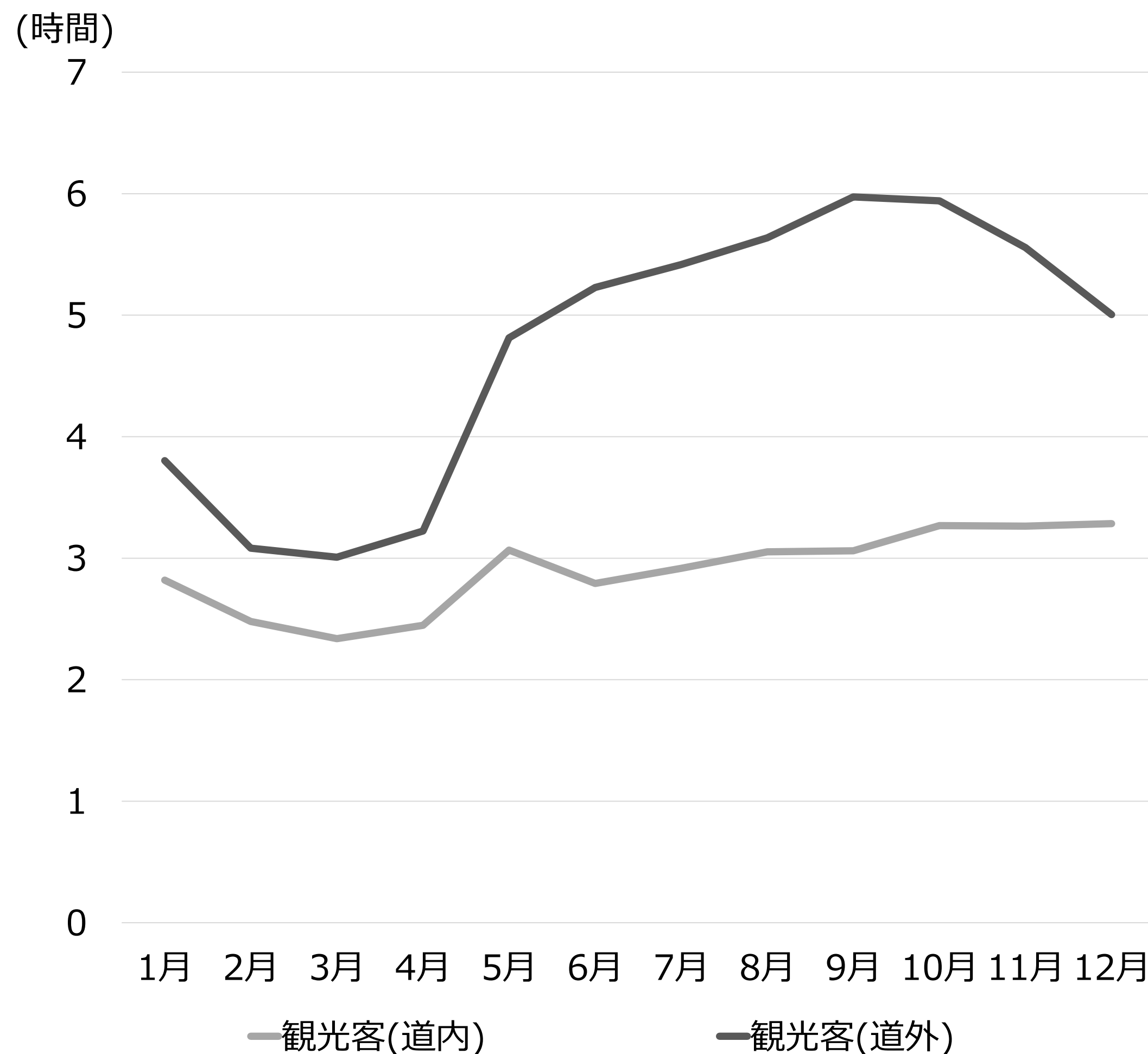


※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

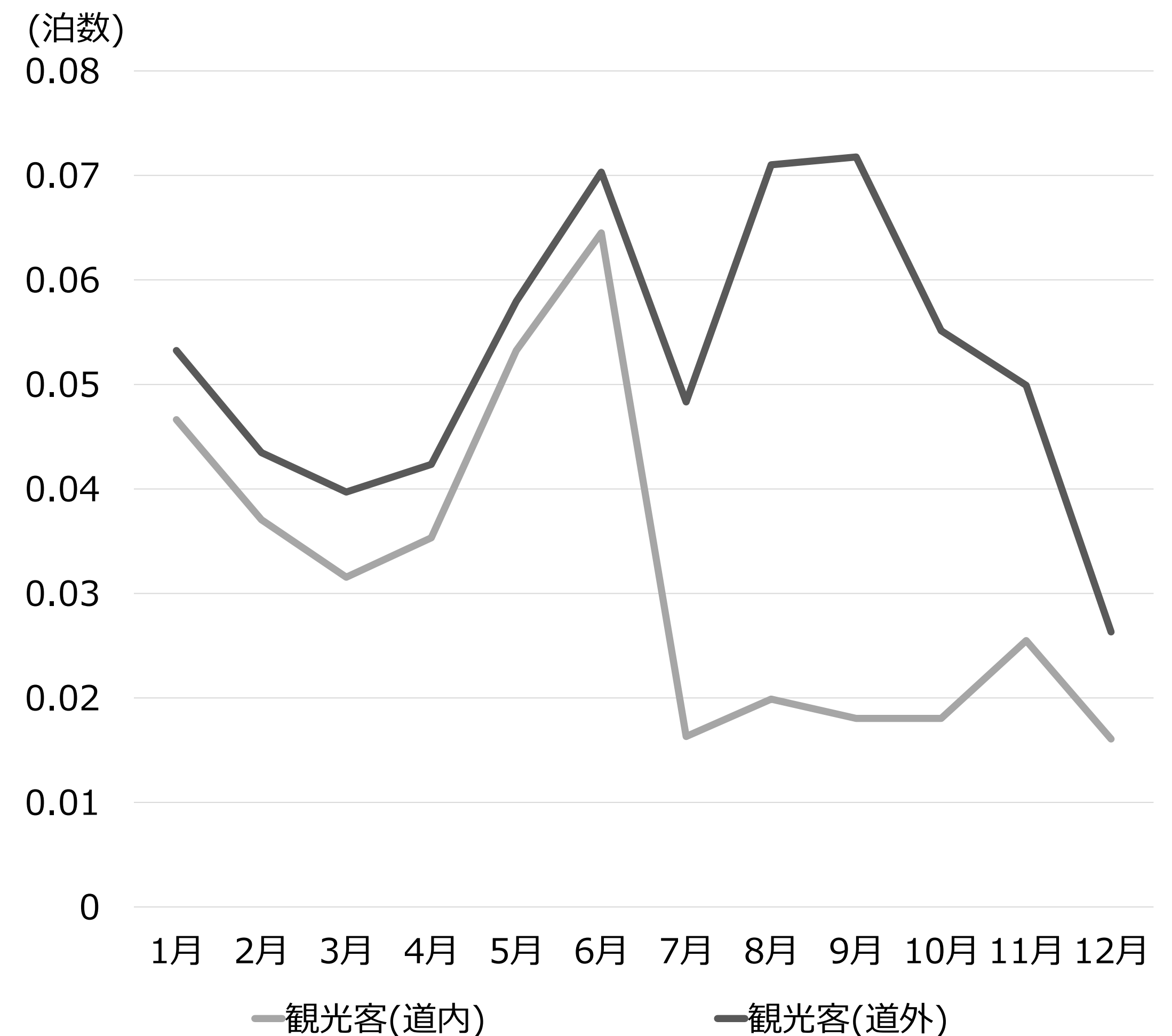
小樽市全域来訪者の平均滞在時間・平均市内宿泊数

- 日本人の平均滞在時間は、一年を通じて道内客よりも道外客が長く、特に5～12月にその傾向が顕著である。
- 日本人の平均市内宿泊数は、一年を通じて道内客よりも道外客が長く、特に7～11月にその傾向が顕著である。

● 平均滞在時間



● 平均市内宿泊数

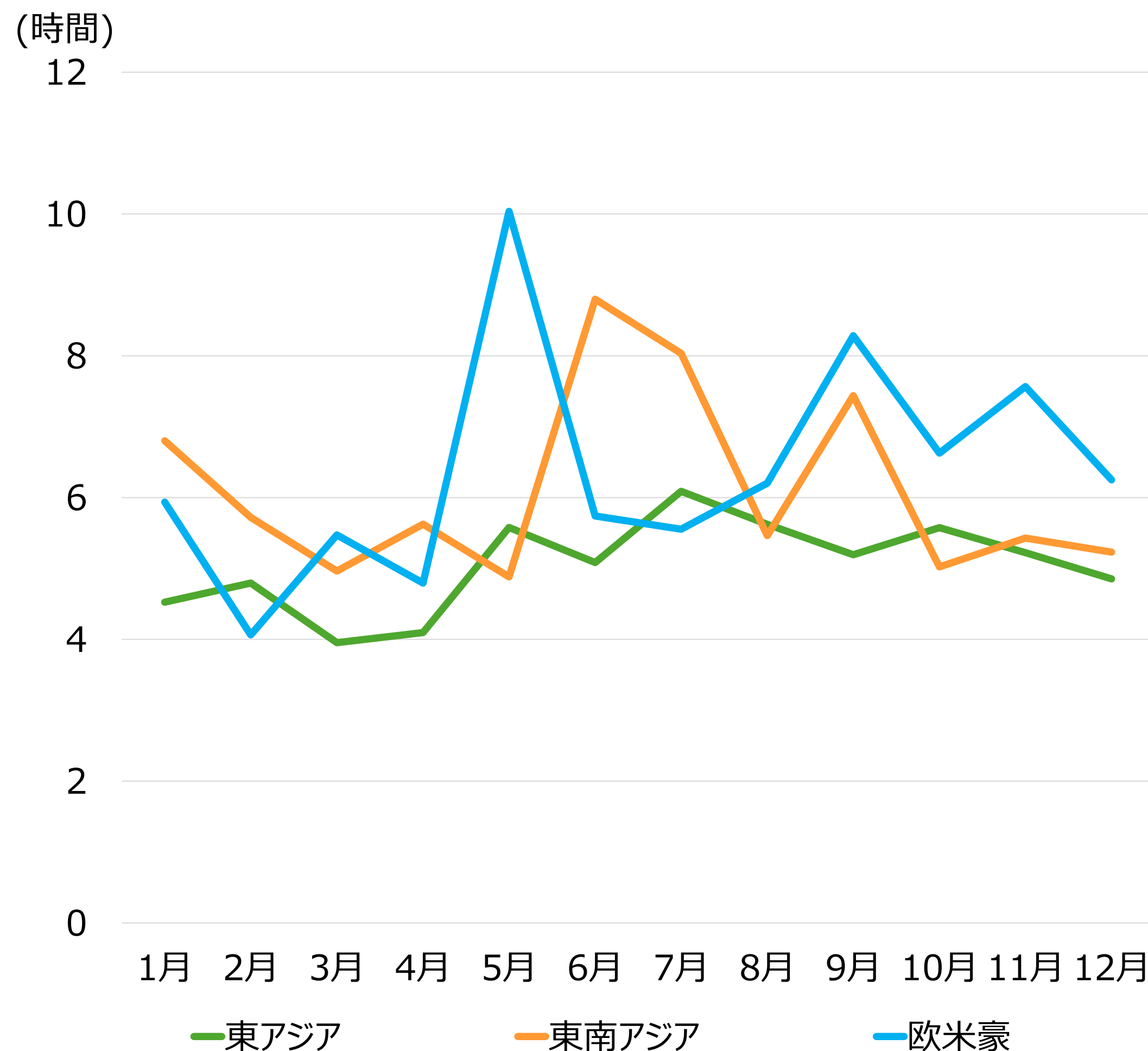


※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

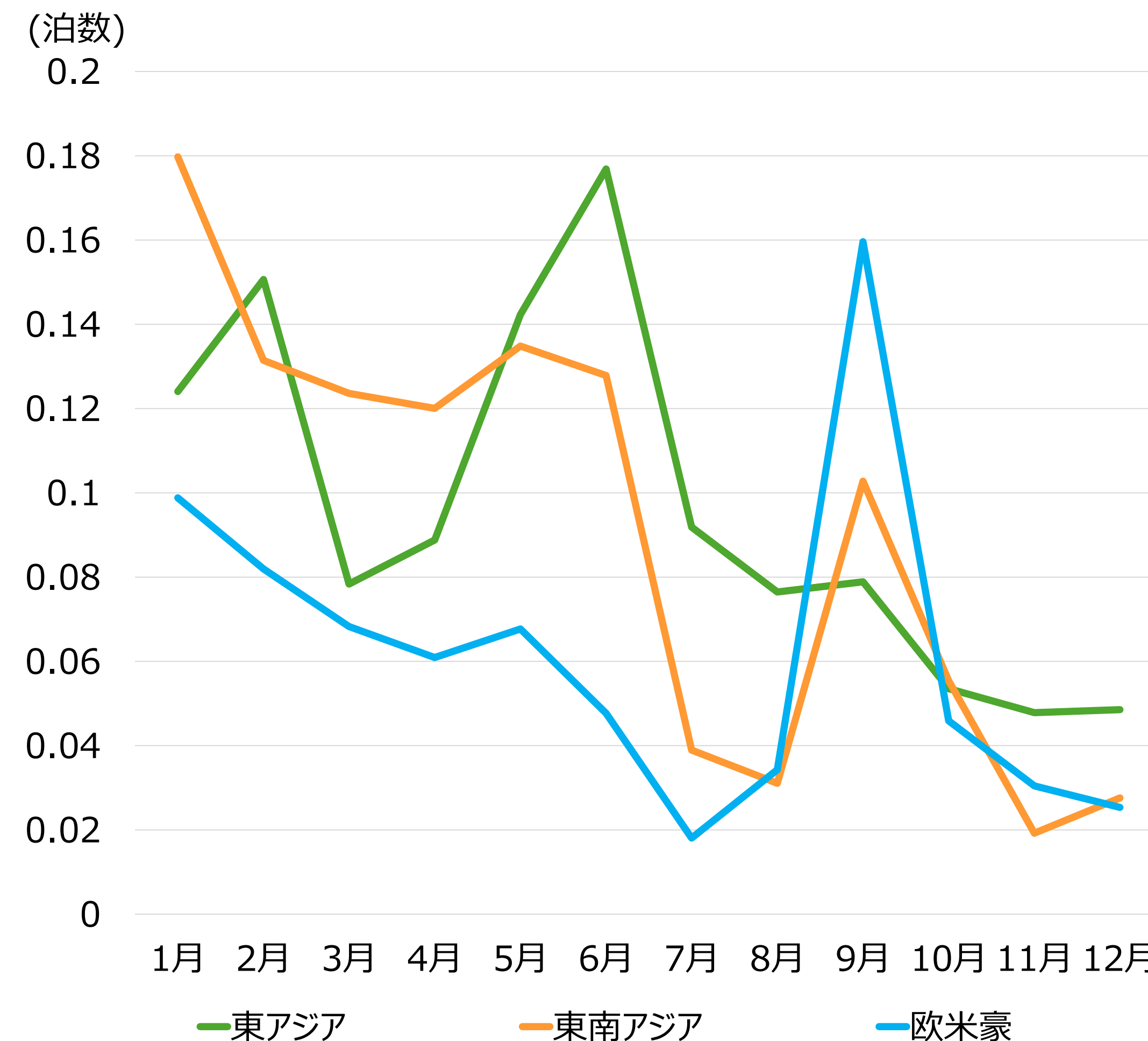
小樽市全域来訪者の平均滞在時間・平均市内宿泊数

- インバウンドの平均滞在時間について、東アジアは7月、東南アジアは6月、欧米豪は5月が最も長い。
- インバウンドの平均市内宿泊数について、東アジアは6月、東南アジアは1月、欧米豪は9月が最も長い。

● 平均滞在時間



● 平均市内宿泊数

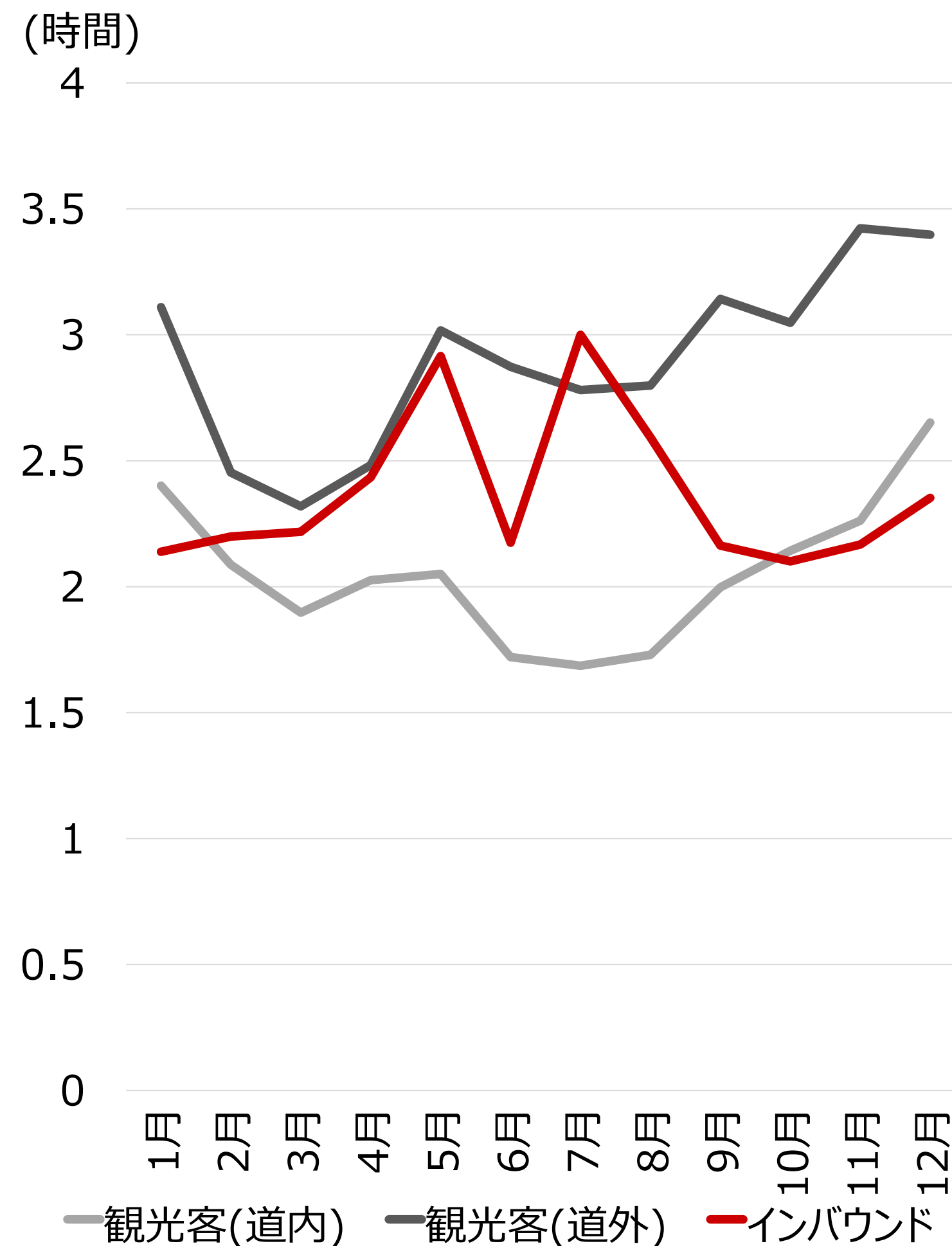


※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

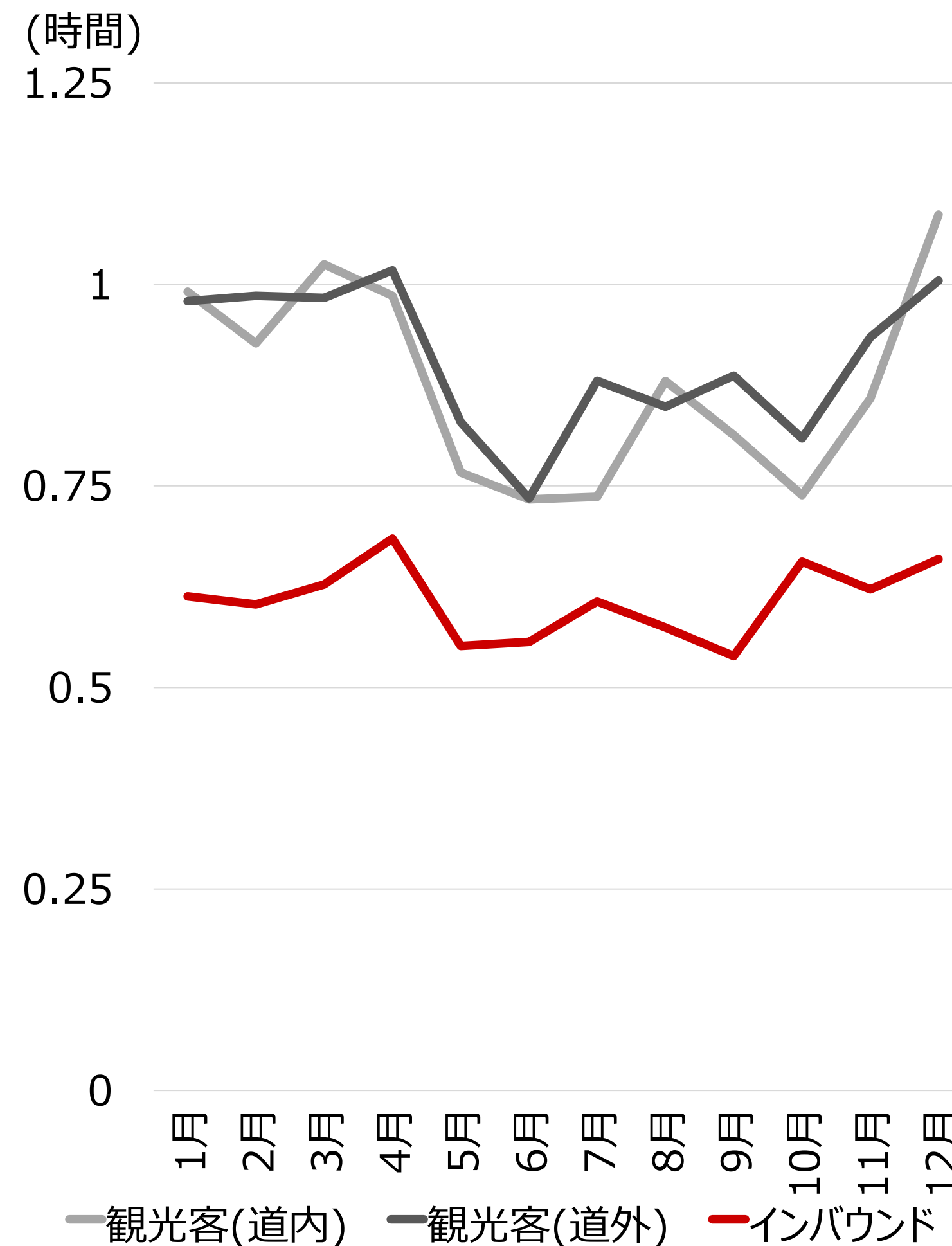
中心部・小樽運河・堺町通り商店街来訪者の平均滞在時間

- 平均滞在時間について、中心部エリアは道外客の11月、小樽運河エリアは道内客の12月、堺町通りエリアは道内客の2月が最も長い。
- 道外客とインバウンドの違いをみると、特に小樽運河エリアでインバウンドの短期滞在傾向が顕著である。

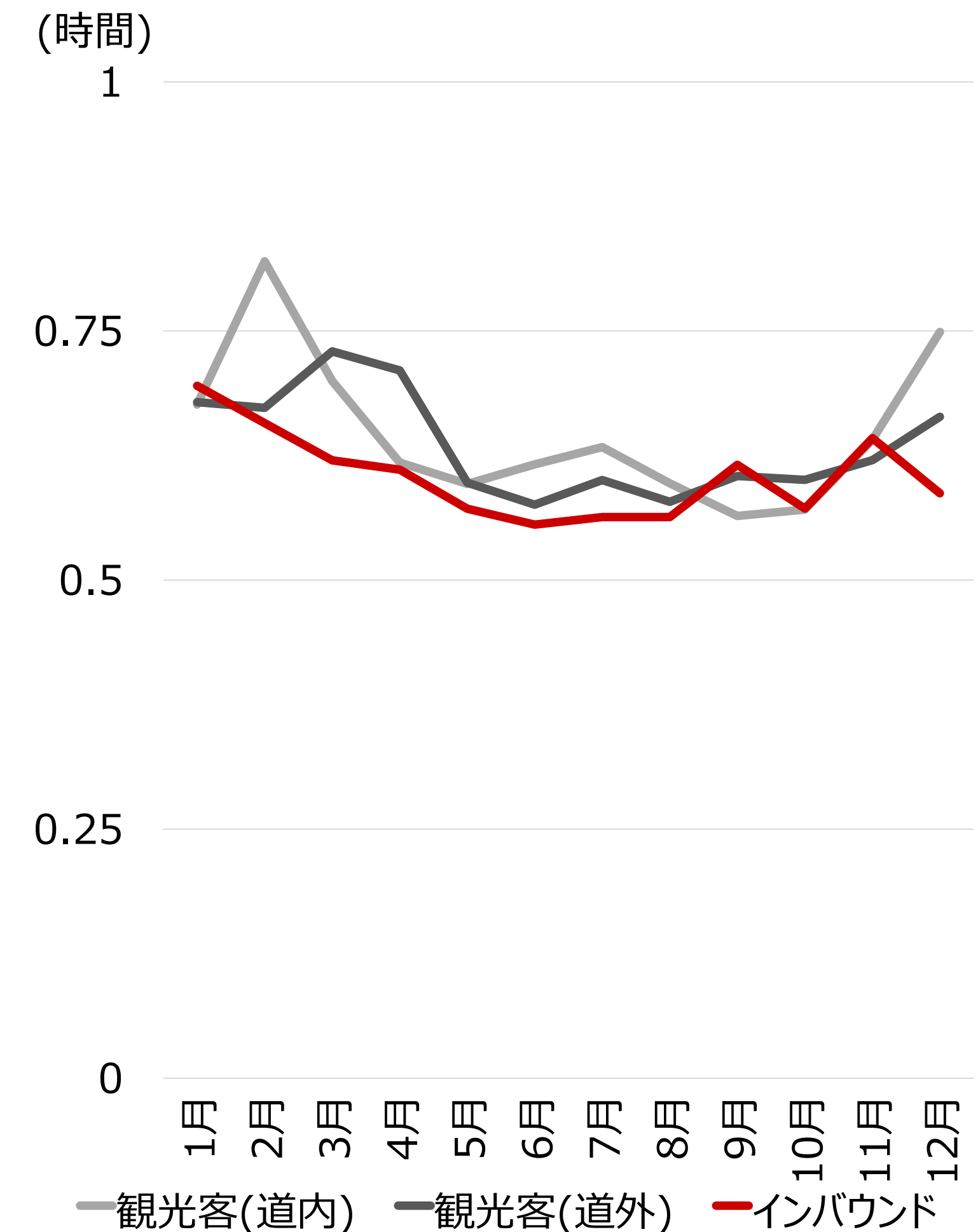
● 中心部エリアの平均滞在時間



● 小樽運河エリアの平均滞在時間

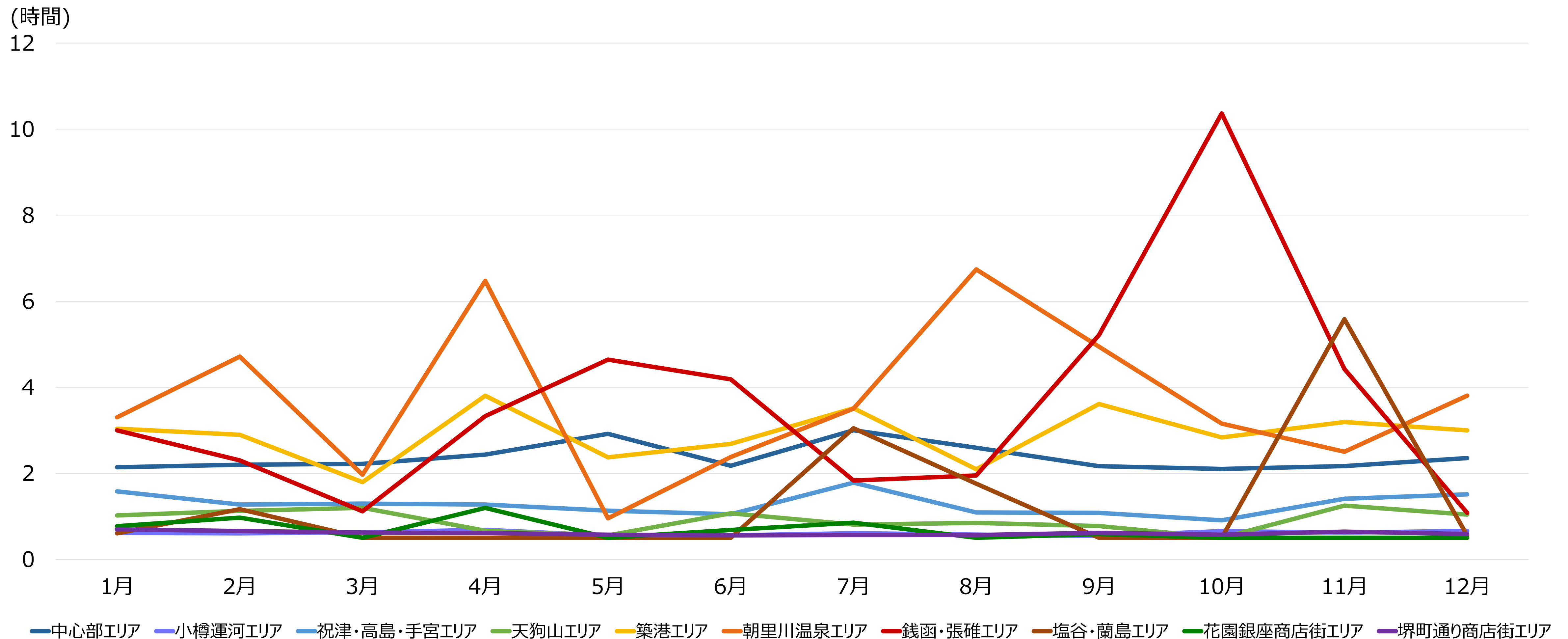


● 堺町通り商店街エリアの平均滞在時間



各エリアの平均滞在時間（インバウンド）

- 宿泊地である朝里川温泉エリアのほか、銭函・張碓エリアでも滞在時間が比較的長い月がみられ、特殊需要がうかがえる。
- 塩谷・蘭島エリアでは、7～8月・11月の滞在時間が顕著に増加している。



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

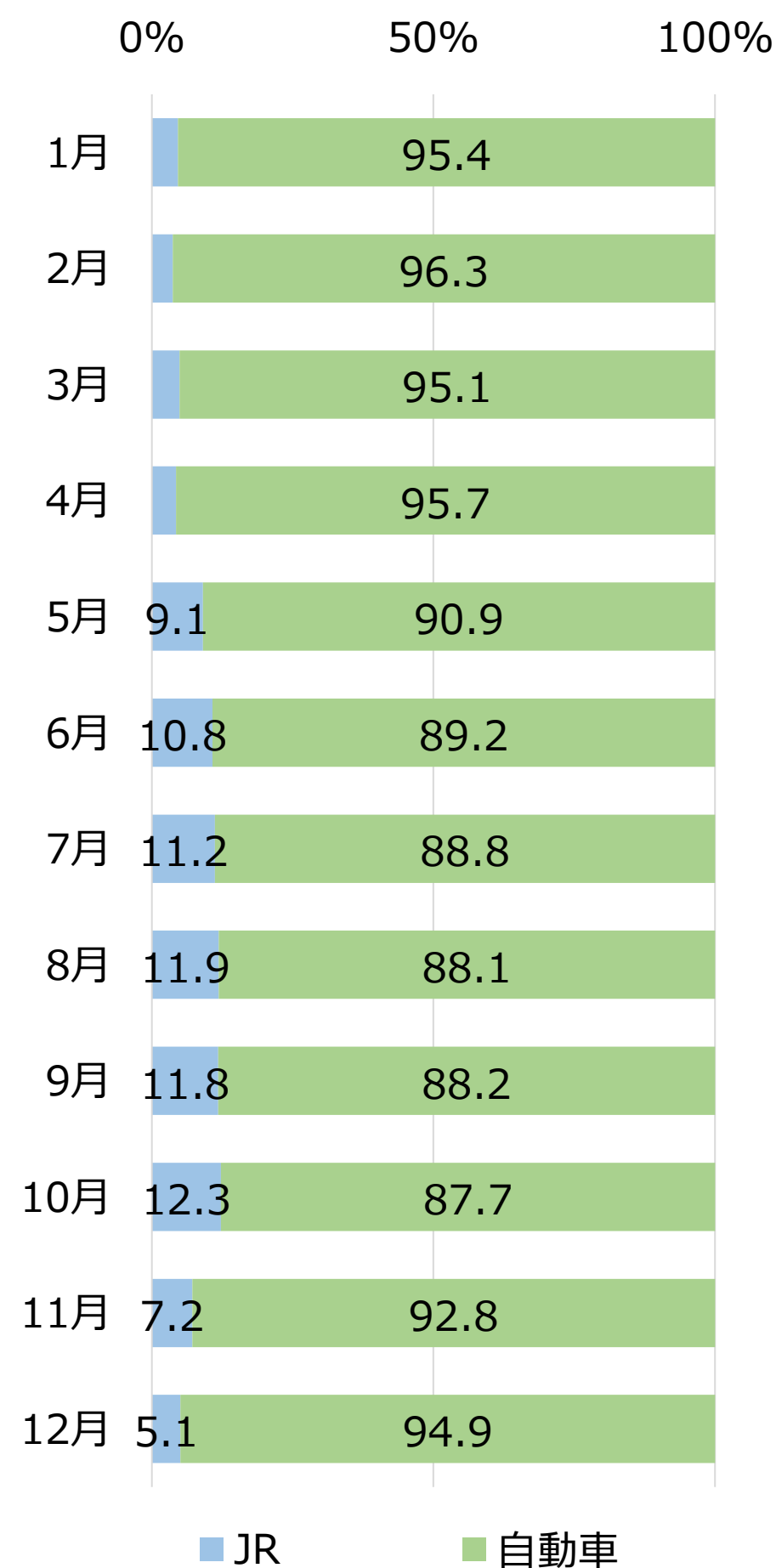
利用交通手段

小樽市全域来訪者の利用交通手段分布

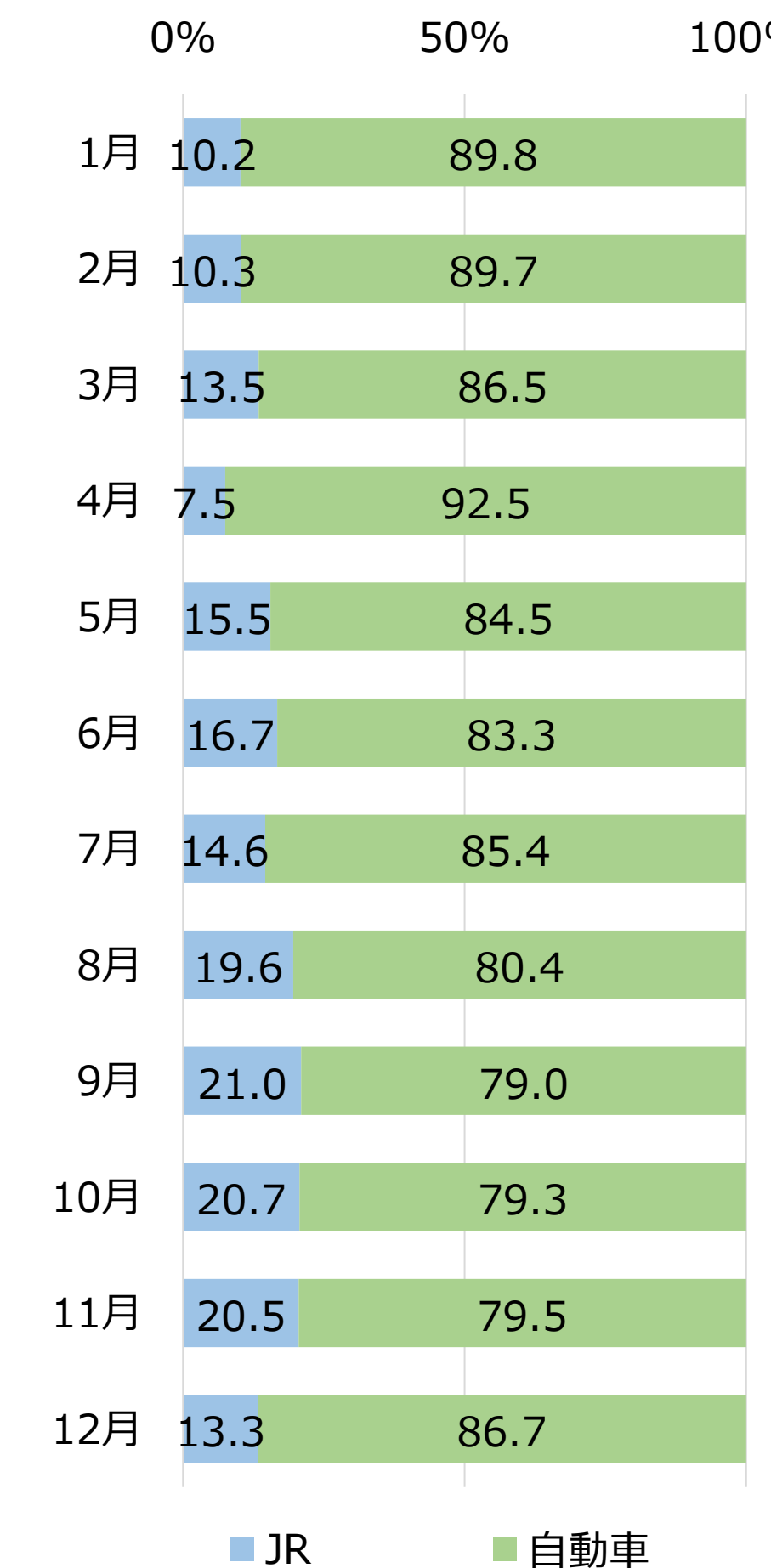
- 道内客・道外客・インバウンドの順に自動車利用率が低くなり、JR利用率が高くなる傾向にある。
- インバウンドのJR利用率は、東アジアで8月・東南アジアで4月・欧米豪で5月に最多となっている。

● 利用交通手段分布 〈JR・自動車〉 ※自動車にはマイカー・レンタカー・バスのいずれも含む

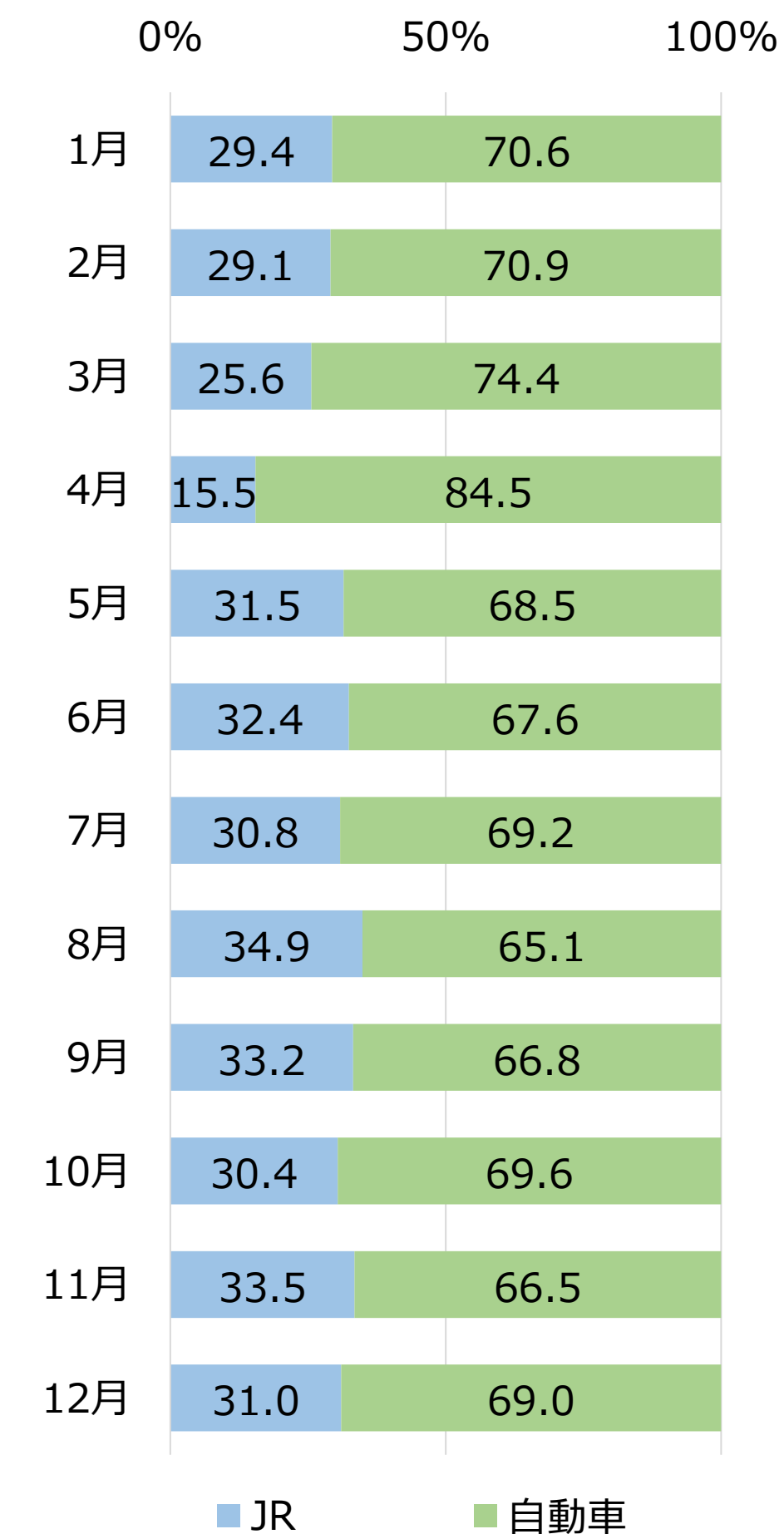
【日本人観光客(道内)】



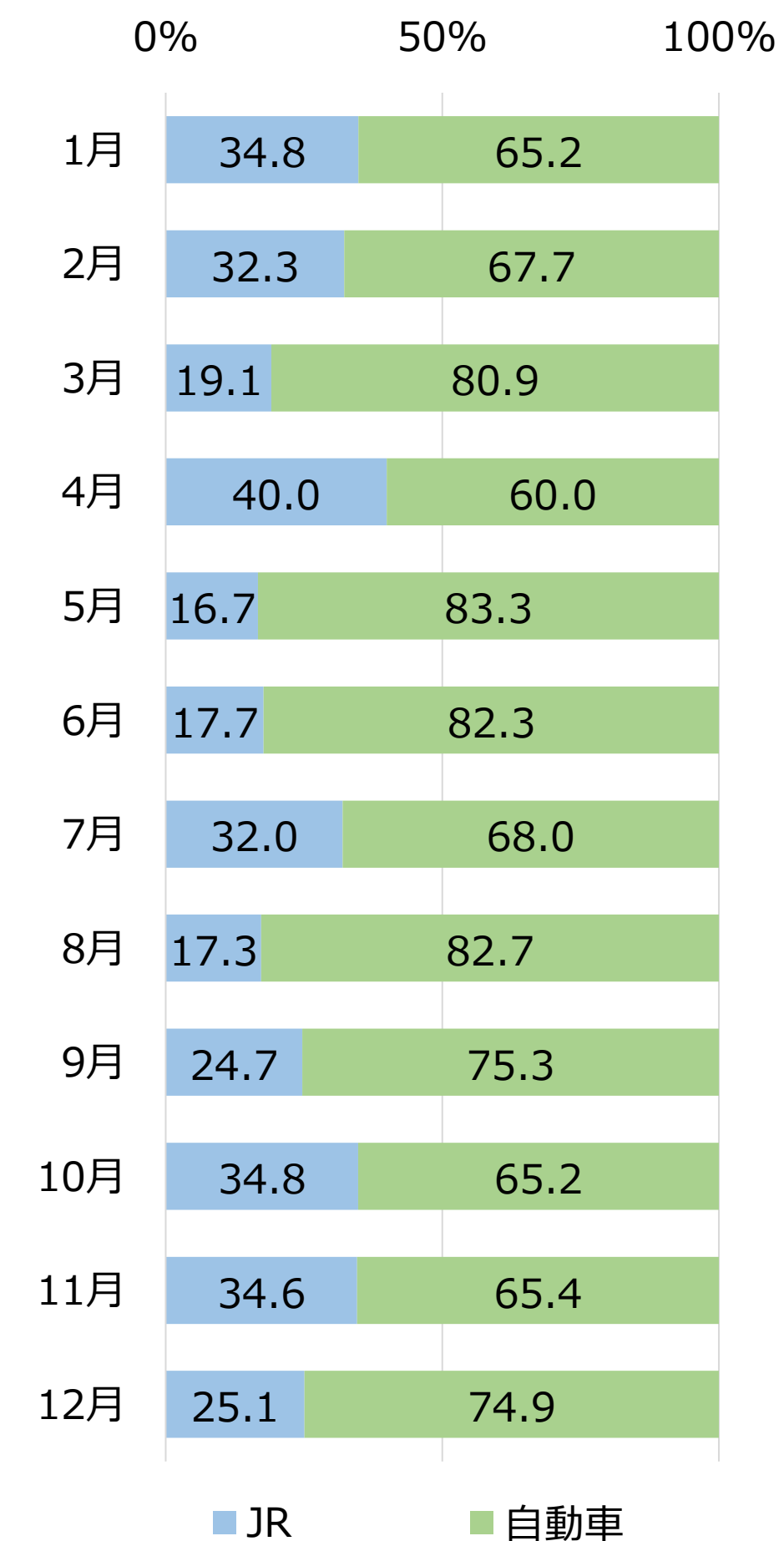
【日本人観光客(道外)】



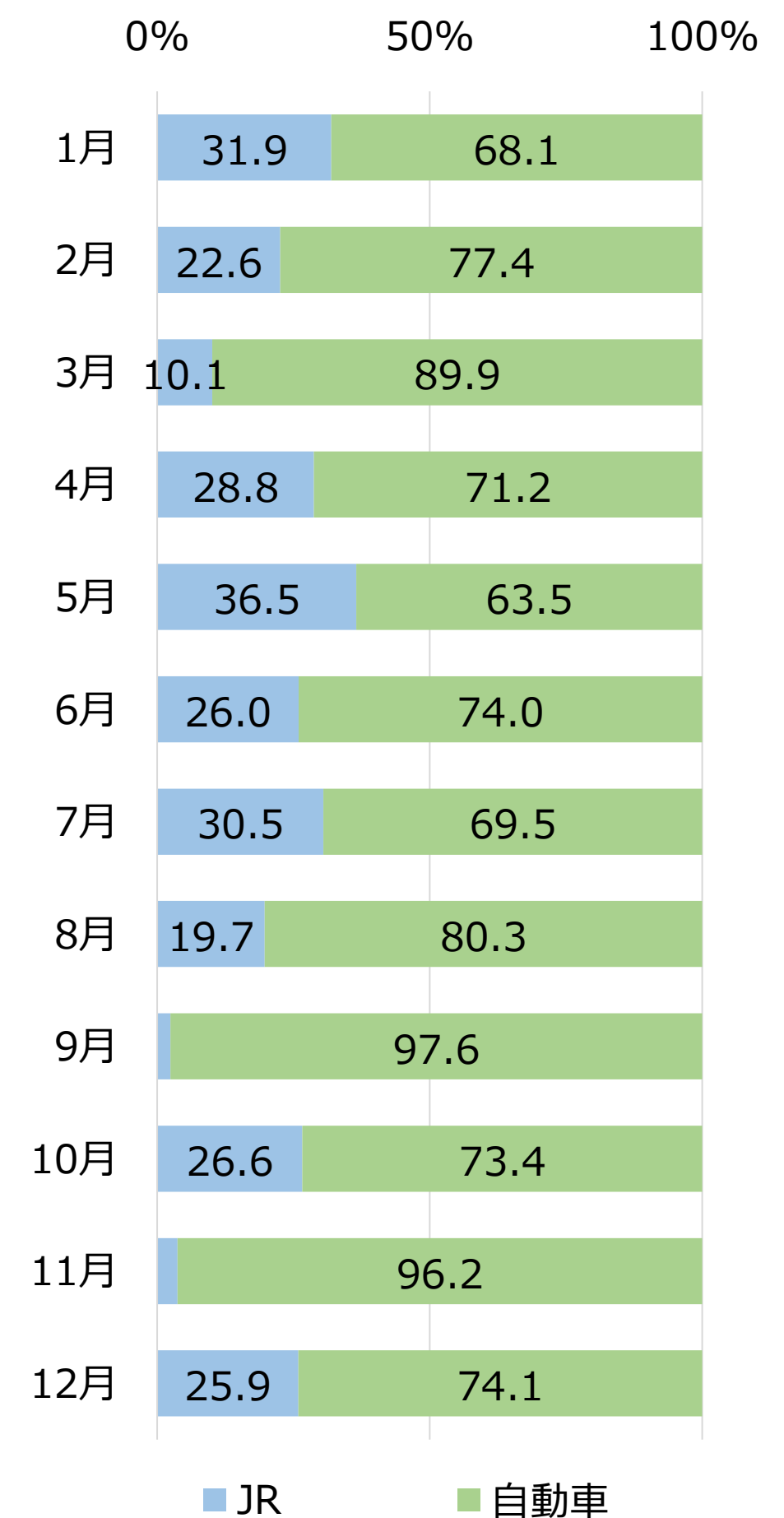
【東アジア】



【東南アジア】



【欧米豪】



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

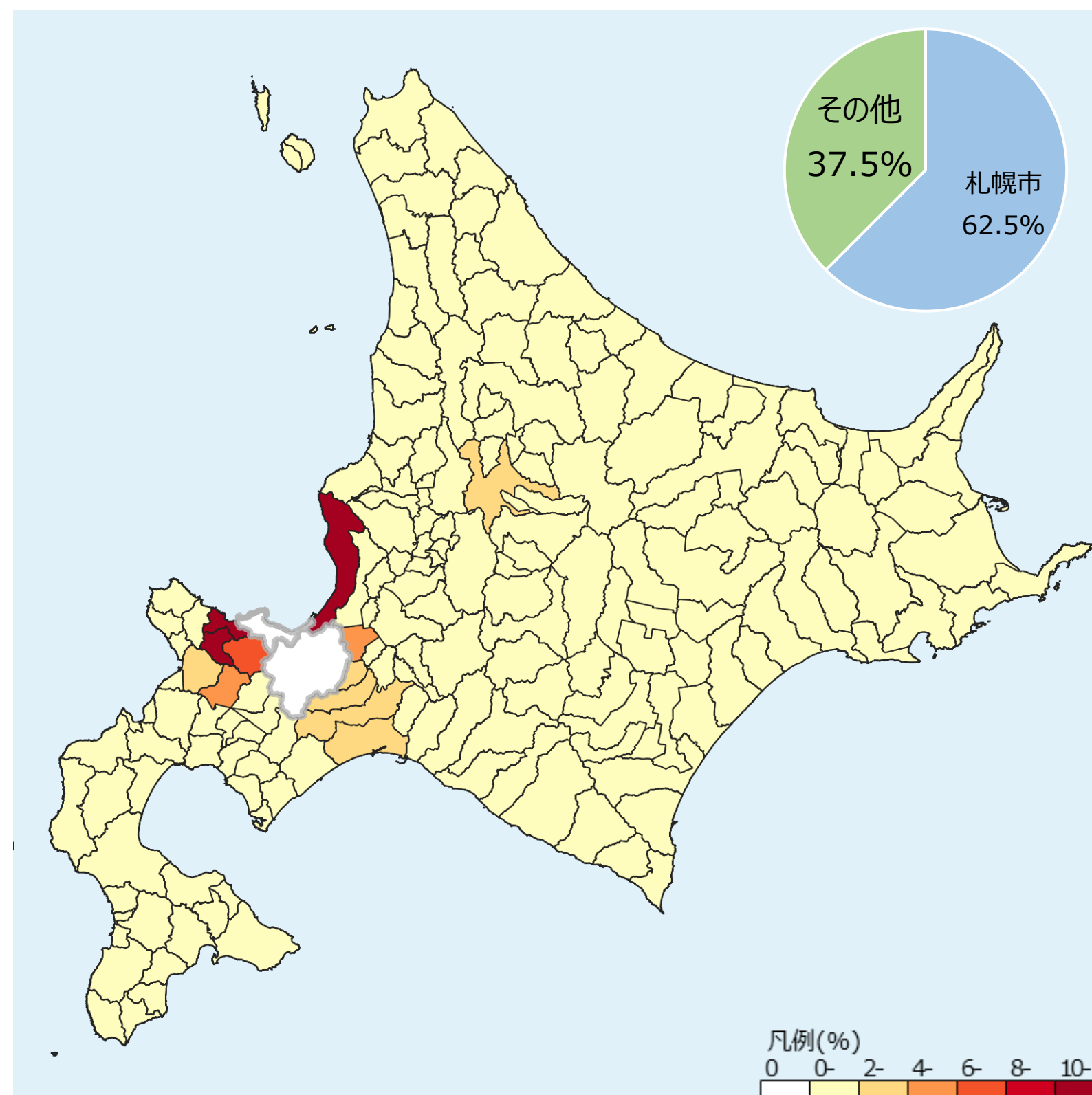
周遊先

小樽市全域来訪者の周遊先（2025年1-12月）

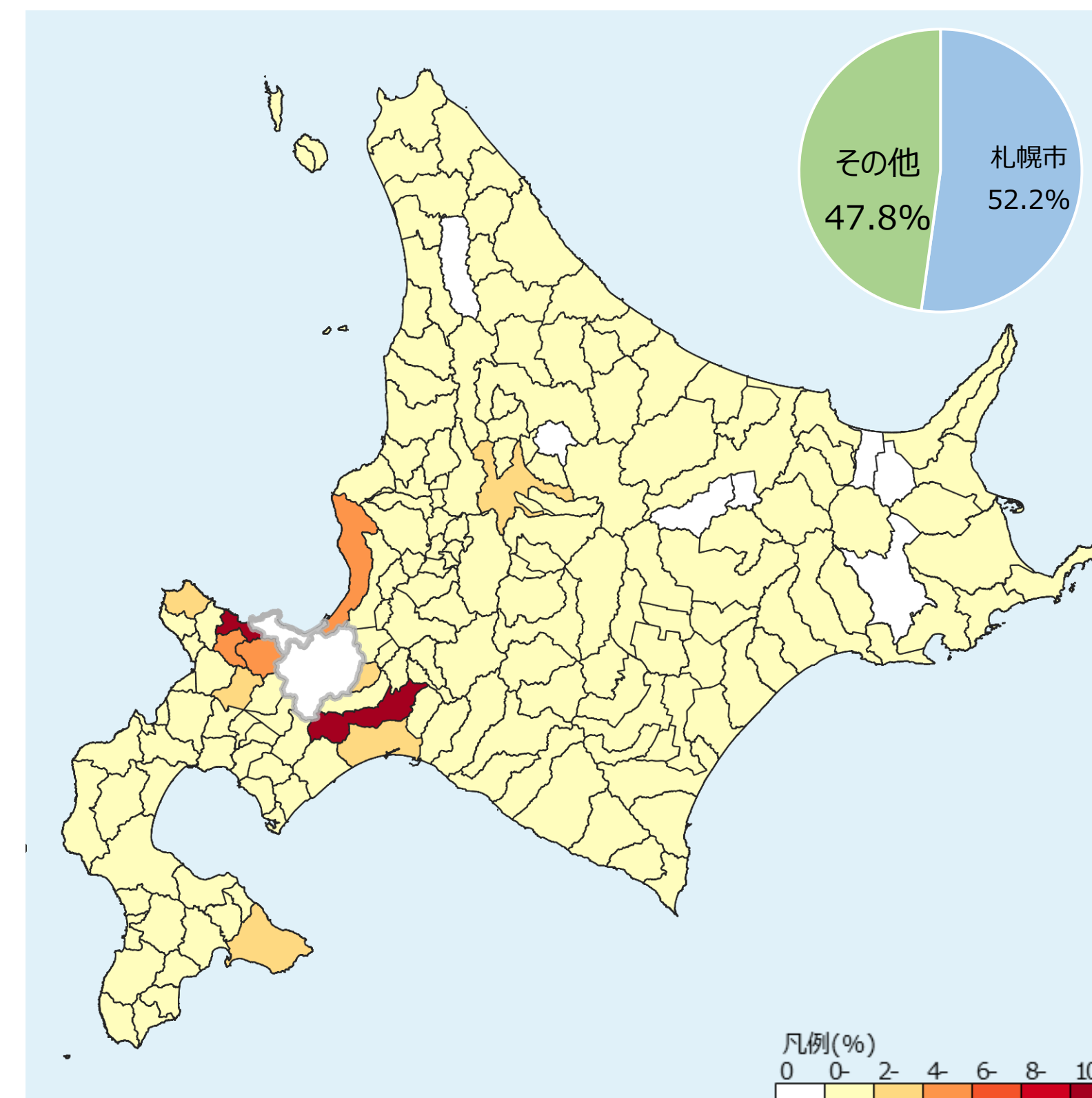
- 道内客では石狩・仁木・余市との周遊が特に多く、次いで赤井川が多い。
- 道外客では千歳・余市との周遊が特に多い。

● 周遊先分布 〈全道〉

【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】



※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

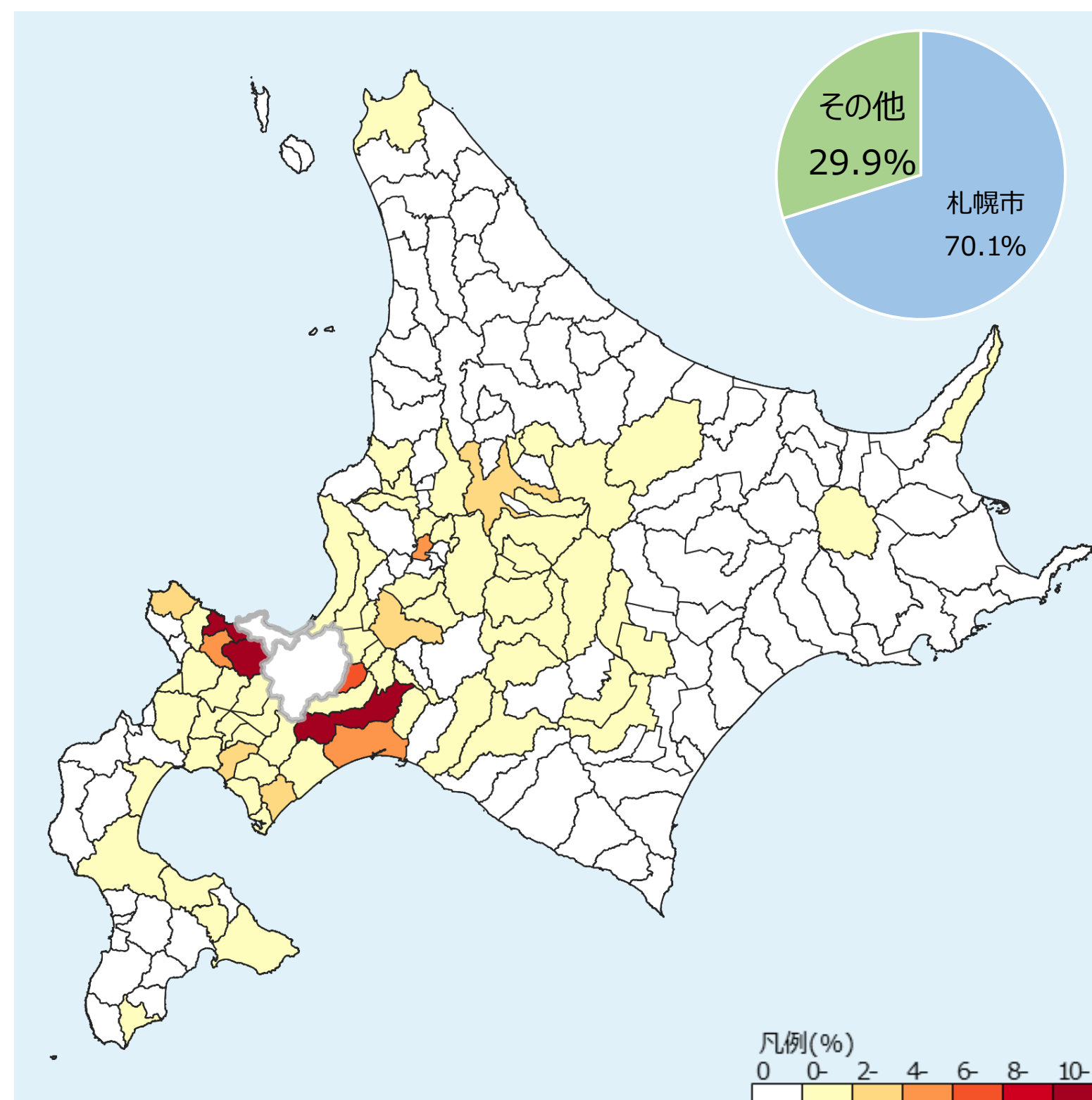
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

小樽市全域来訪者の周遊先（2025年1-12月）

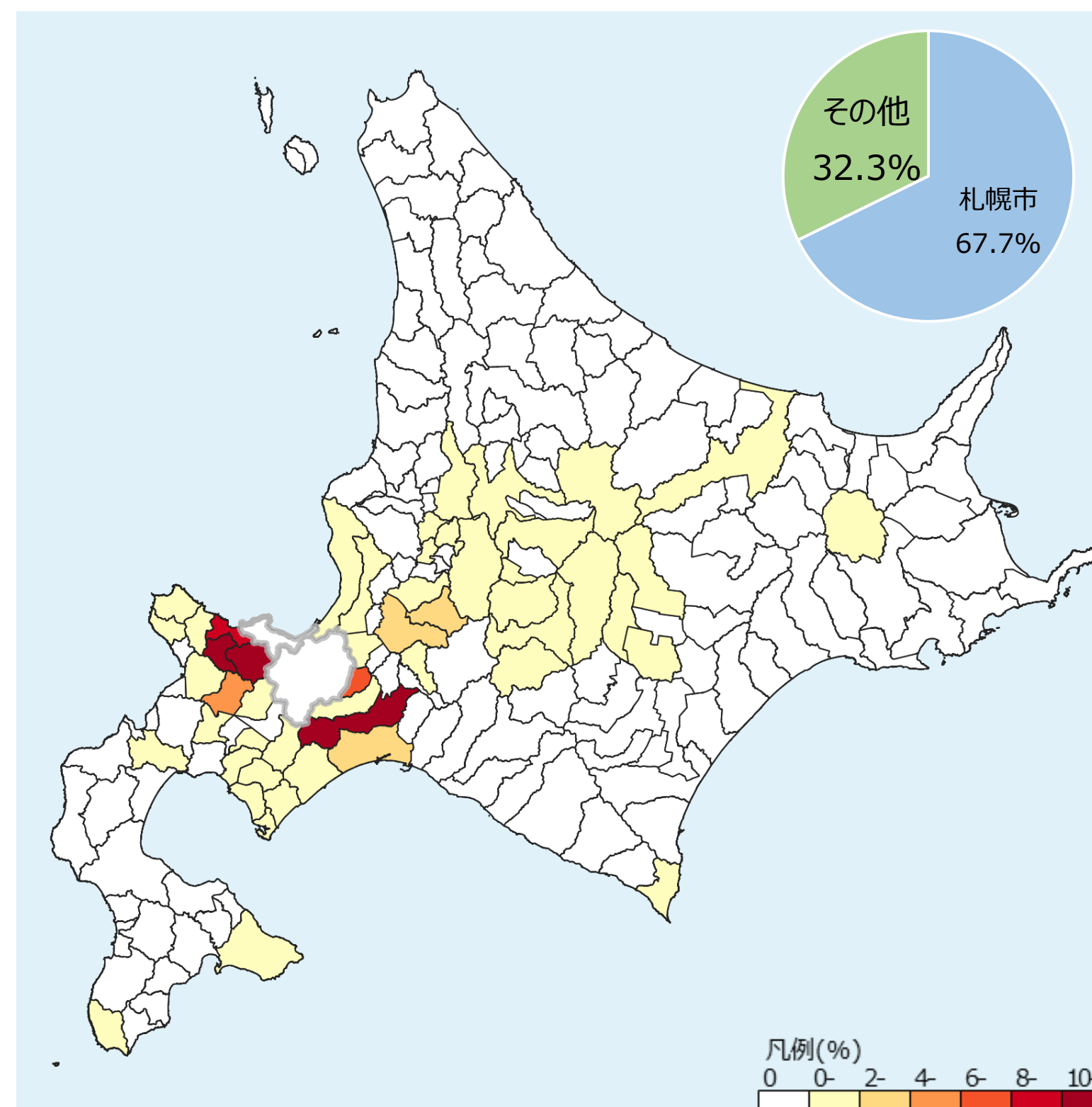
- 東アジア居住者では千歳・余市・赤井川との周遊が特に多く、次いで北広島が多い。
- 東南アジア居住者では千歳・仁木・赤井川との周遊が特に多く、次いで余市・北広島が多い。
- 欧米豪居住者では千歳・仁木・余市との周遊が特に多く、次いで江別・共和が多い。

● 周遊先分布 〈全道〉

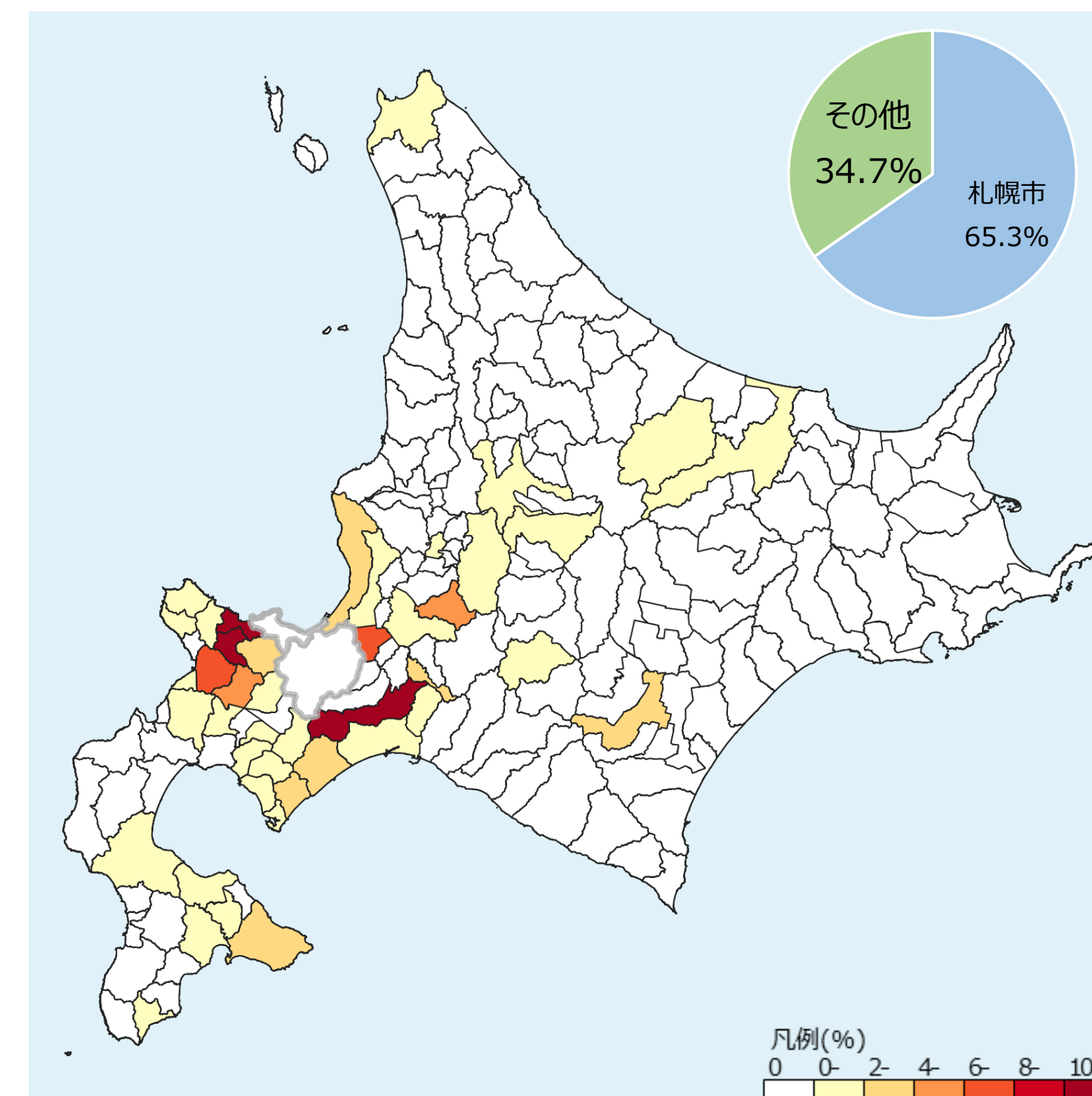
【東アジア】



【東南アジア】



【欧米豪】



※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

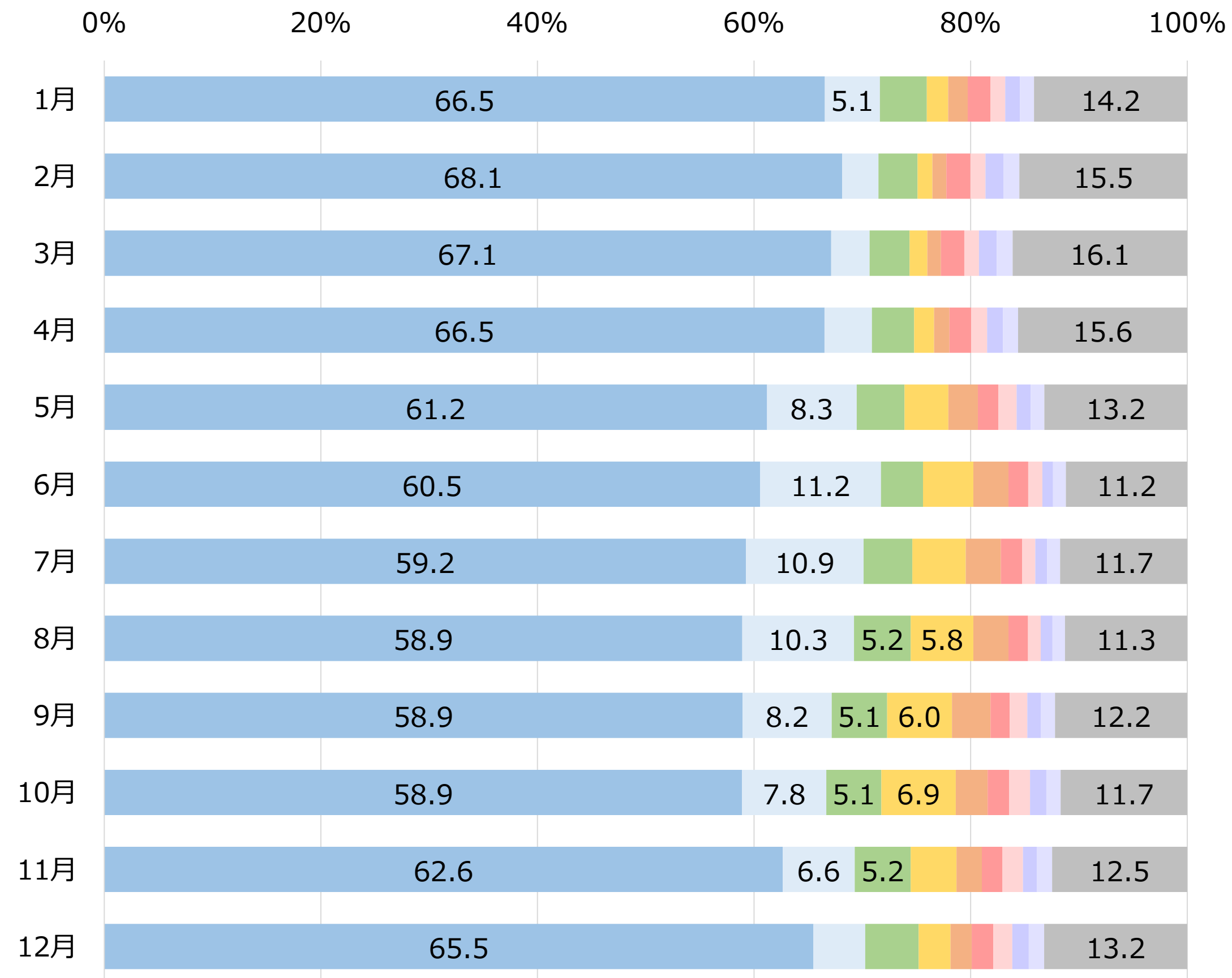
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

小樽市全域来訪者の周遊先分布

- 道内客は、札幌のほか余市・石狩との周遊が特に多く、次いで仁木・赤井川が多い。
- 道外客は、札幌のほか千歳・余市との周遊が特に多く、次いで赤井川・仁木が多い。

● 周遊先分布 〈全道〉

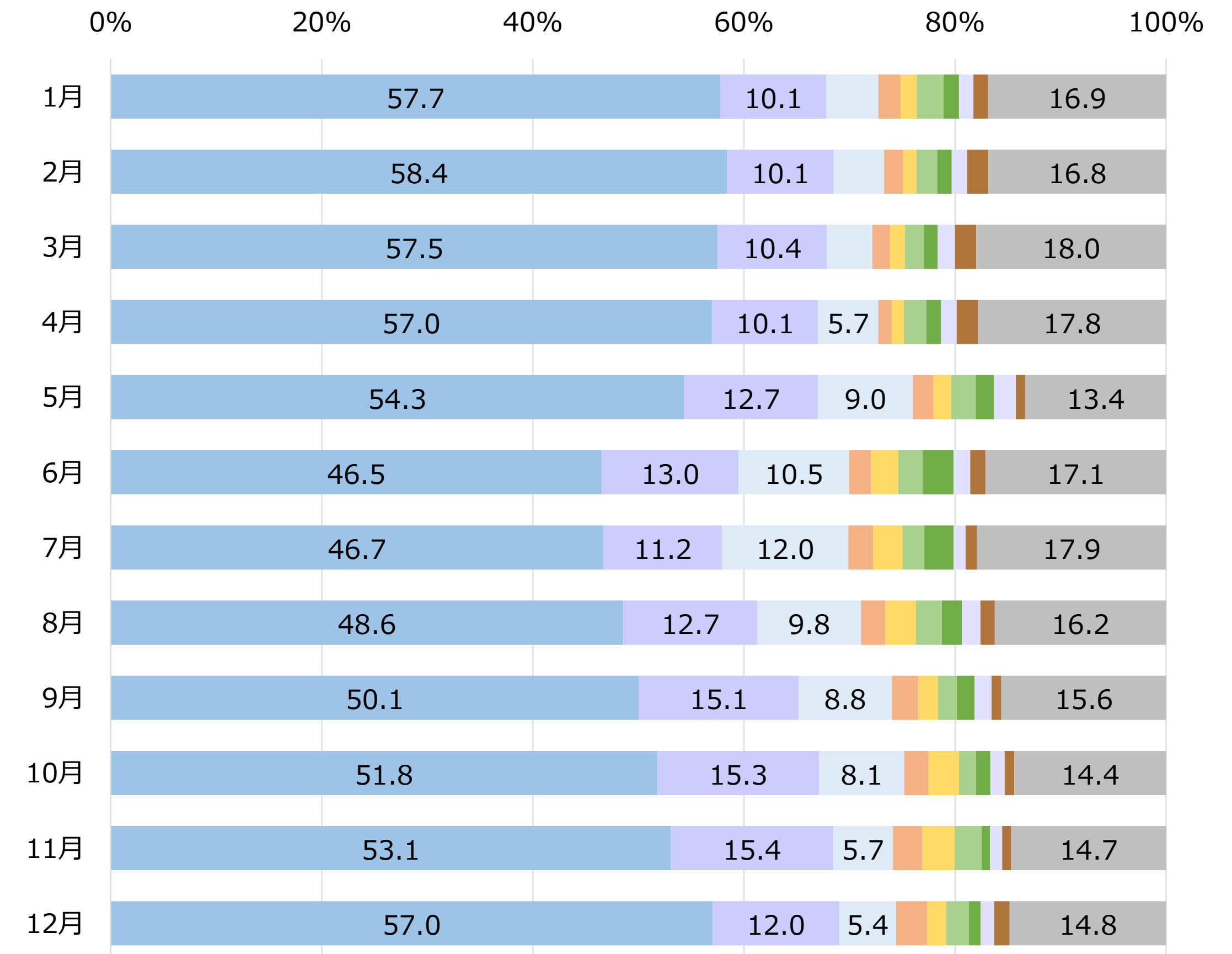
【日本人観光客(道内)】



■ 札幌市 ■ 余市町 ■ 石狩市 ■ 仁木町 ■ 赤井川村 ■ 江別市 ■ 倶知安町 ■ 千歳市 ■ 北広島市 ■ その他

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

【日本人観光客(道外)】



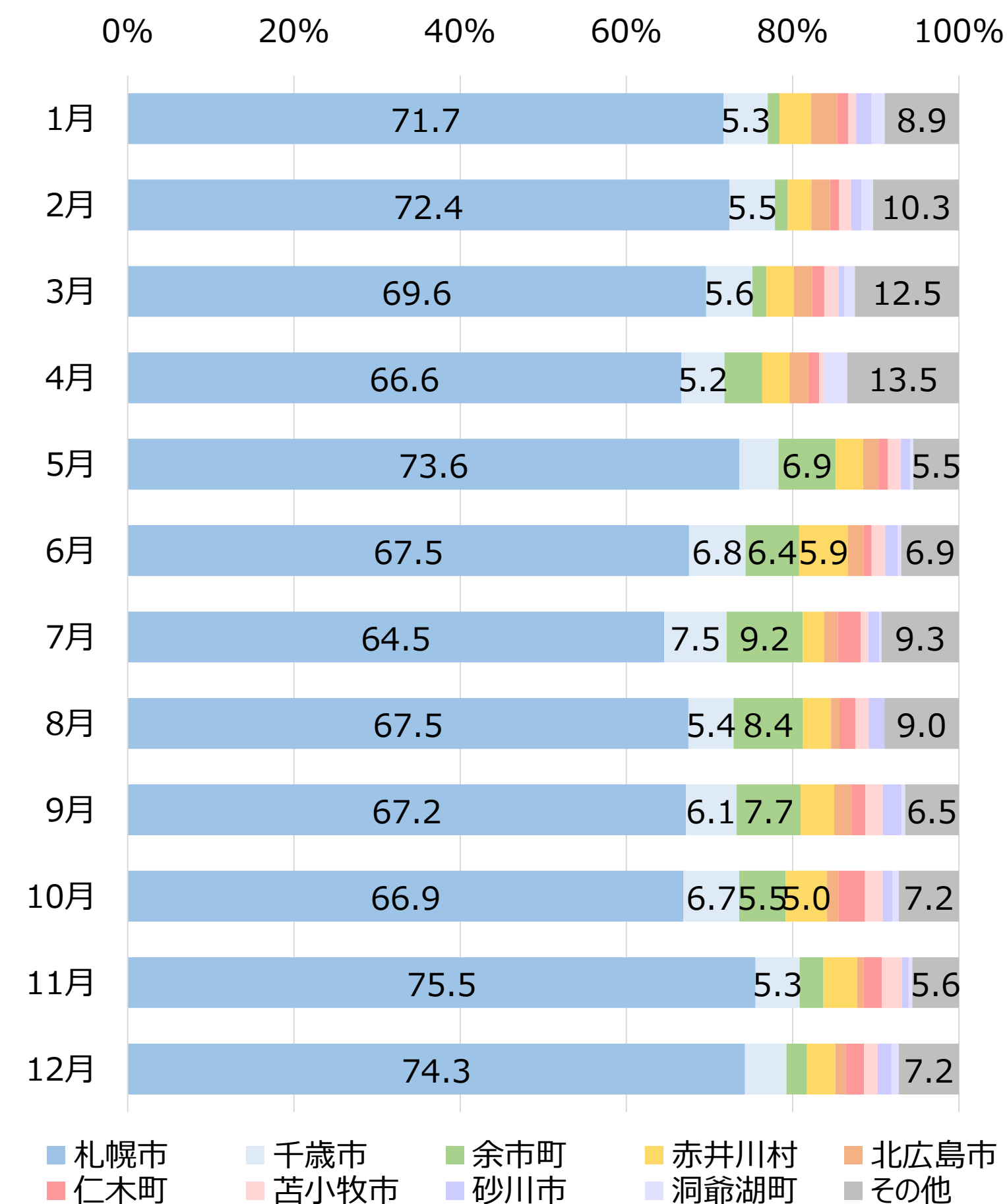
■ 札幌市 ■ 千歳市 ■ 余市町 ■ 赤井川村 ■ 仁木町 ■ 石狩市 ■ 積丹町 ■ 北広島市 ■ 函館市 ■ その他

小樽市全域来訪者の周遊先分布

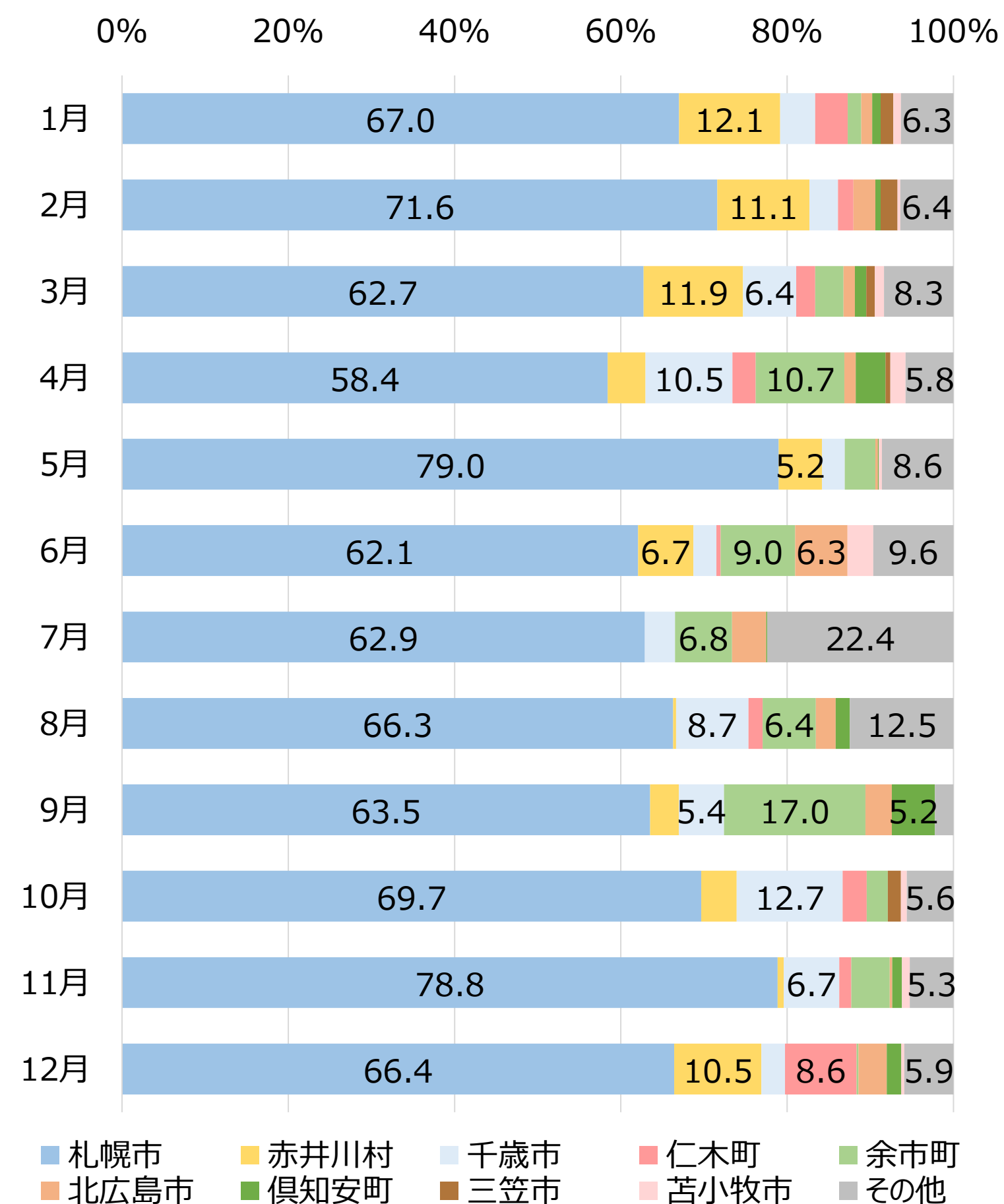
- 東アジア居住者は、札幌のほか千歳・余市との周遊が特に多く、次いで赤井川・北広島が多い。
- 東南アジア居住者は、札幌のほか赤井川・千歳との周遊が特に多く、次いで仁木・余市が多い。
- 欧米豪居住者は、札幌のほか余市・仁木との周遊が特に多く、次いで千歳・共和が多い。

● 周遊先分布 〈全道〉

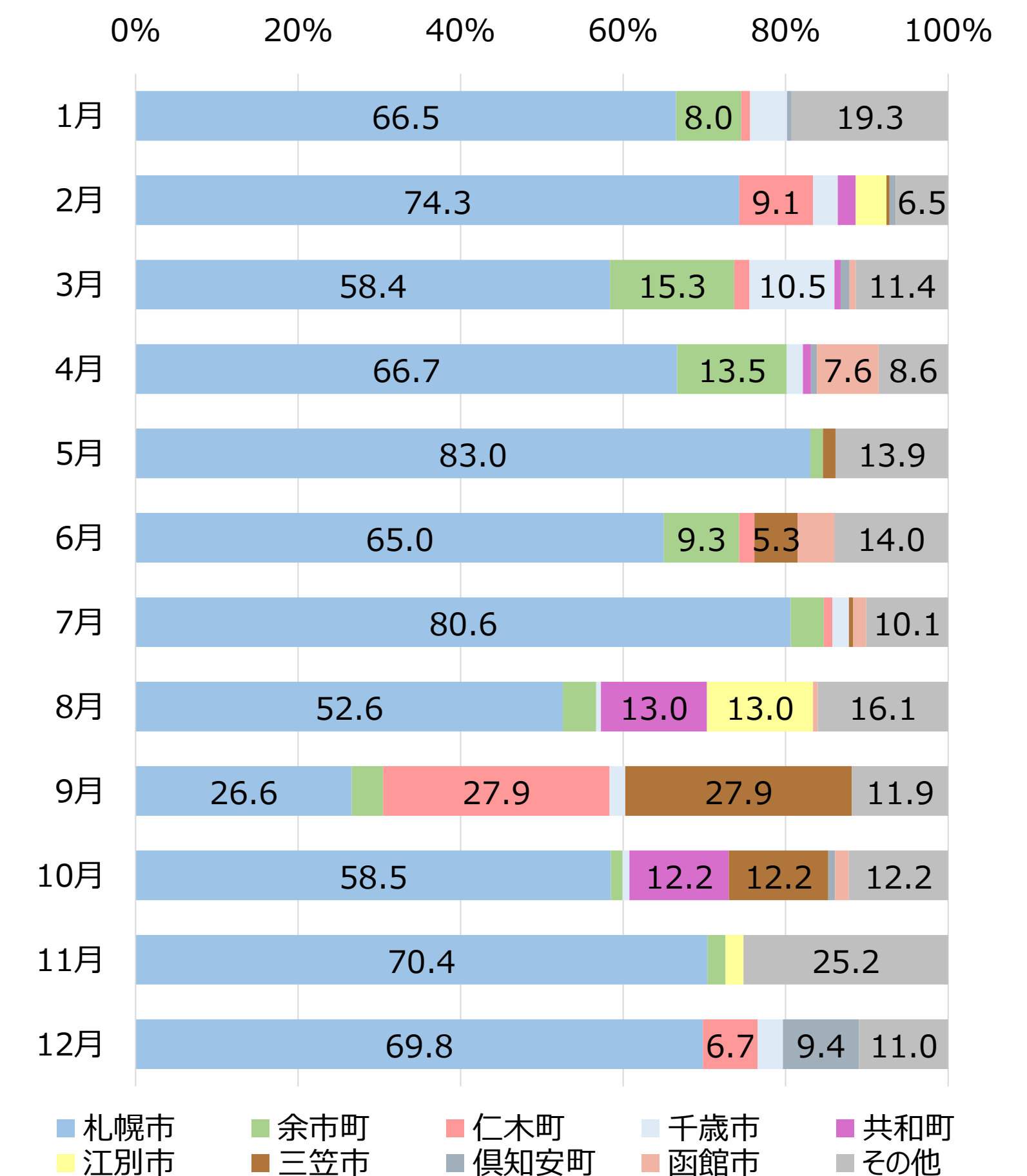
【東アジア】



【東南アジア】



【欧米豪】



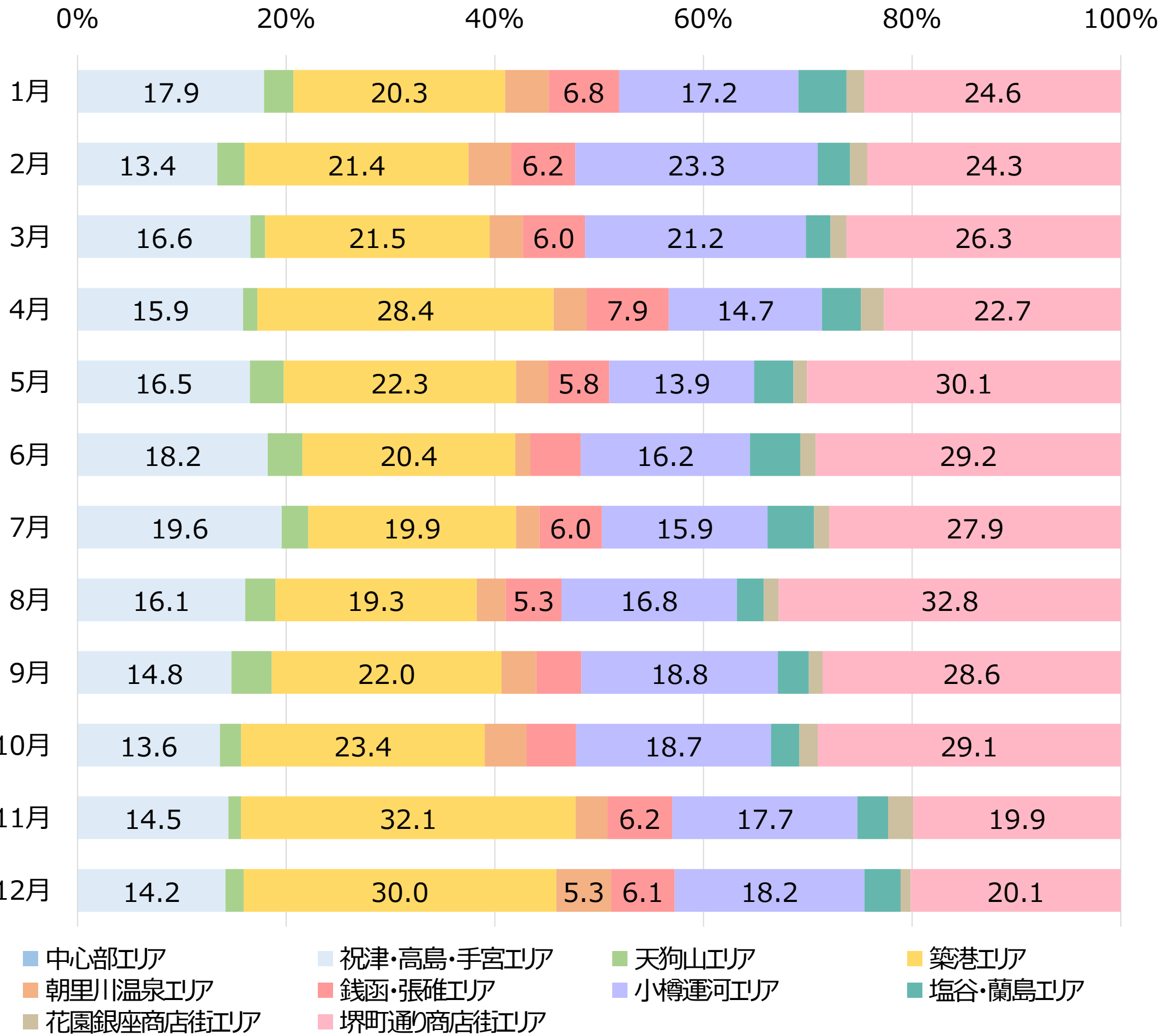
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

中心部エリア来訪者の周遊先分布

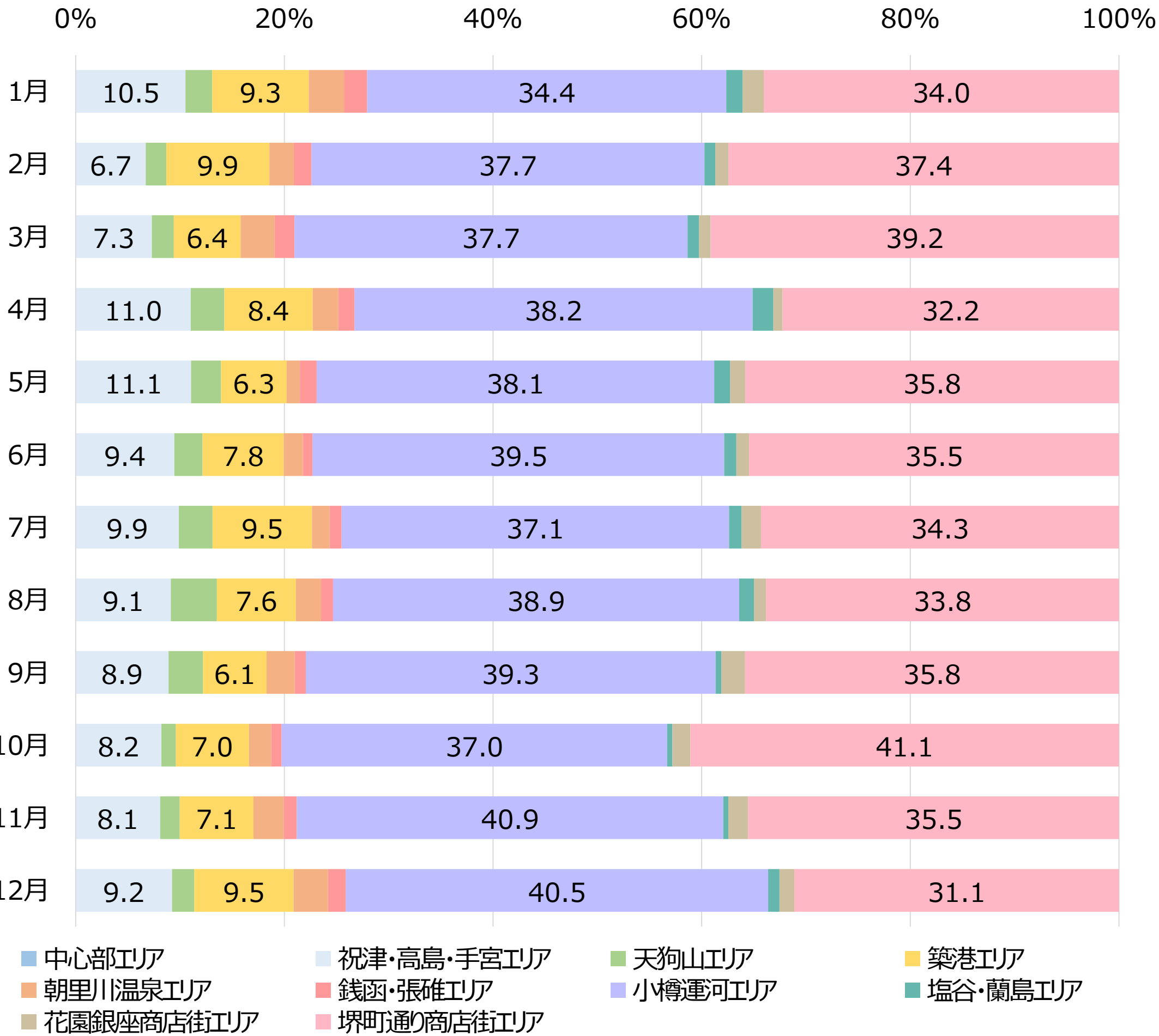
- 道内客は、堺町通りエリアとの周遊が最も多く、次いで築港エリア・小樽運河エリアの順に多い。
- 道外客は、小樽運河エリアとの周遊が最も多く、次いで堺町通りエリア・祝津エリアの順に多い。

● 周遊先分布 〈小樽市内〉

【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】

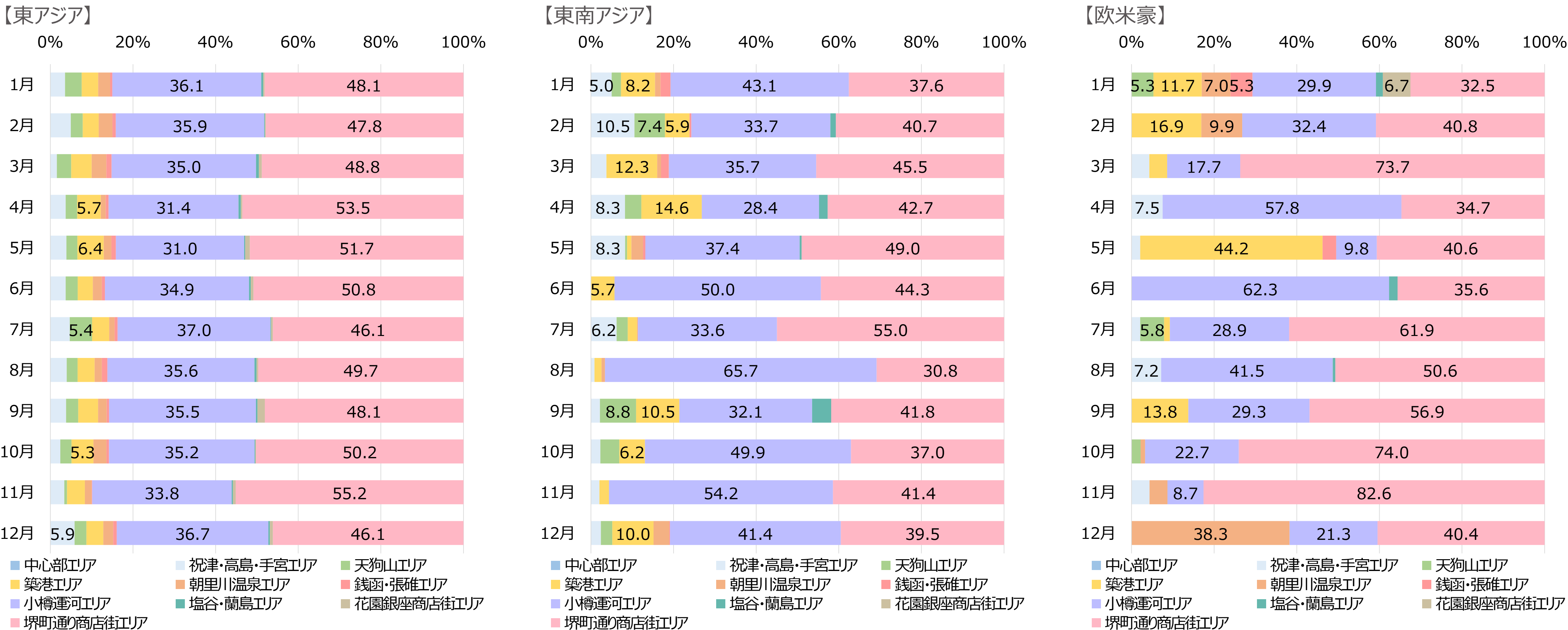


※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

中心部エリア来訪者の周遊先分布

➤ 各市場とも、堺町通りエリアとの周遊が最も多く、次いで小樽運河エリア・築港エリアの順に多い。

● 周遊先分布 〈小樽市内〉



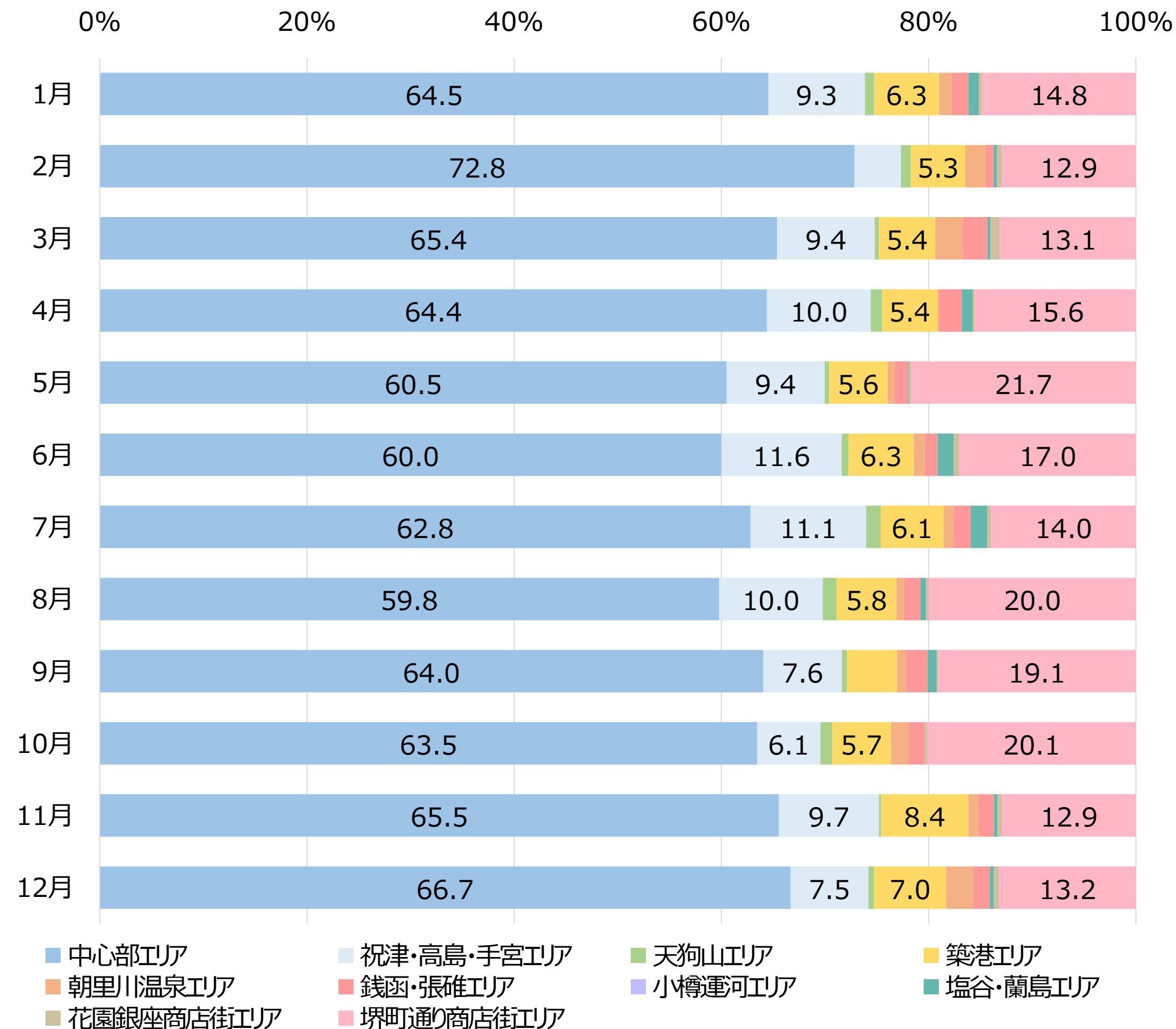
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

小樽運河エリア来訪者の周遊先分布

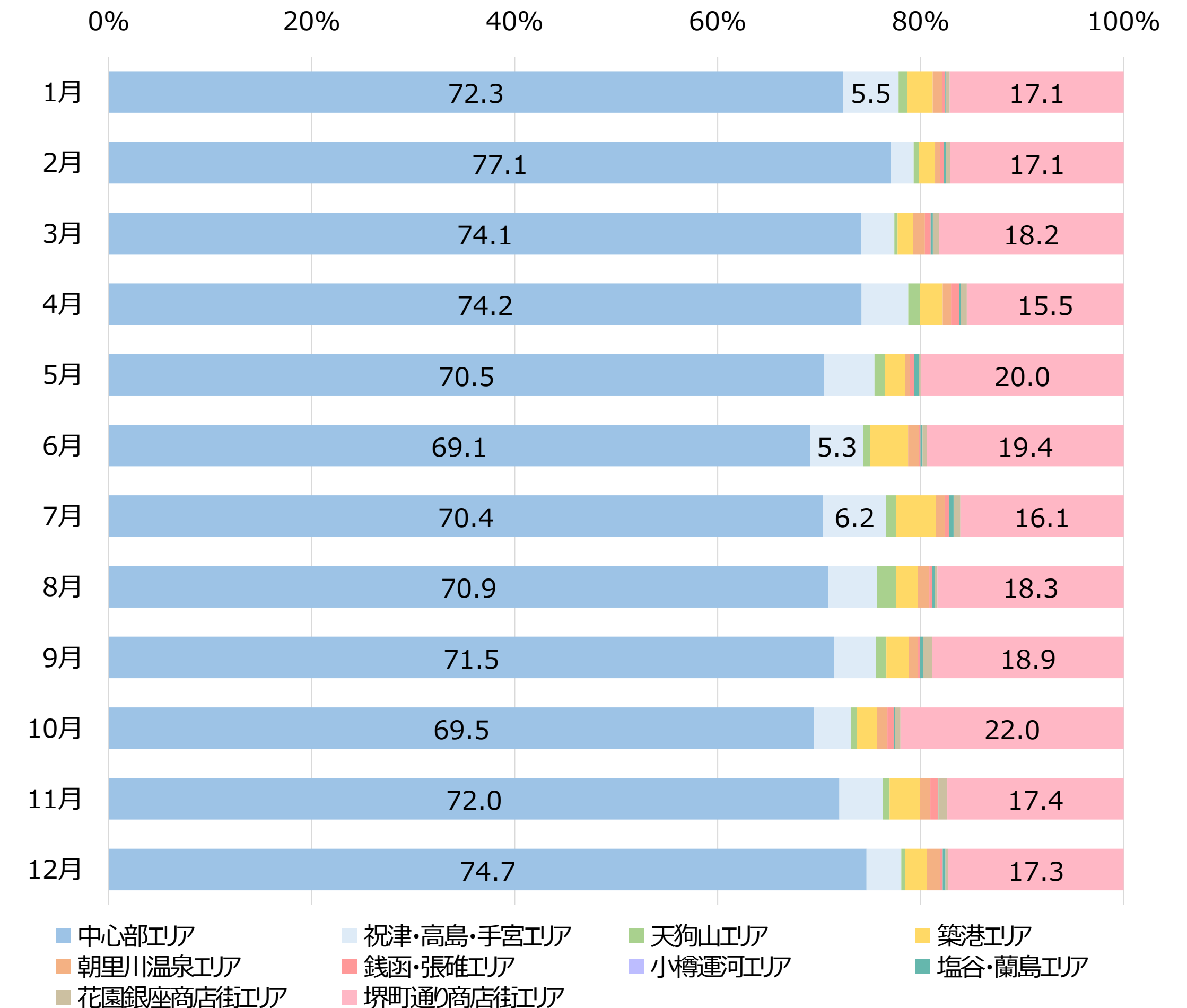
➤ 道内客・道外客とも、中心部エリアとの周遊が最も多く、次いで堺町通りエリア・祝津エリアの順に多い。

● 周遊先分布 〈小樽市内〉

【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】

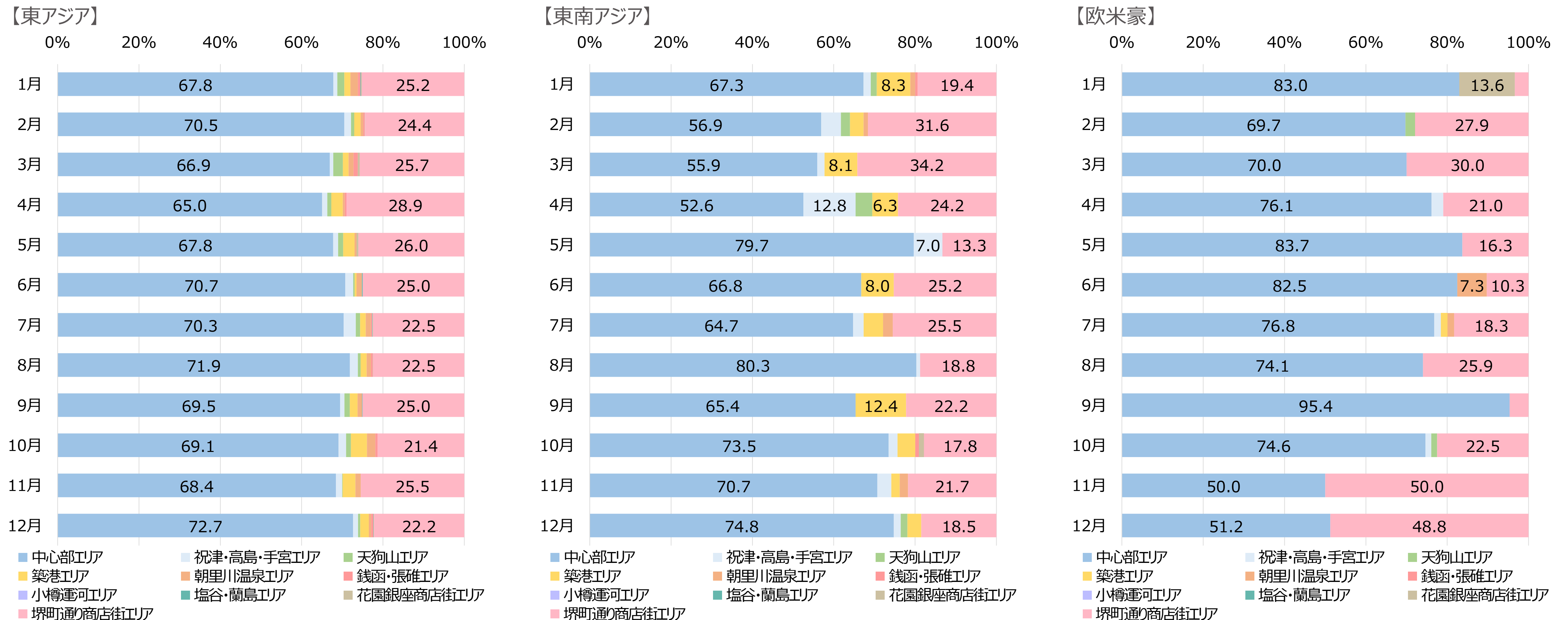


※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

小樽運河エリア来訪者の周遊先分布

- 東アジア・東南アジア居住者は、中心部エリアとの周遊が最も多く、次いで堺町通りエリア・築港エリアの順に多い。
- 欧米豪居住者は、中心部エリアとの周遊が最も多く、次いで堺町通りエリア・花園銀座エリアの順に多い。

● 周遊先分布 〈小樽市内〉



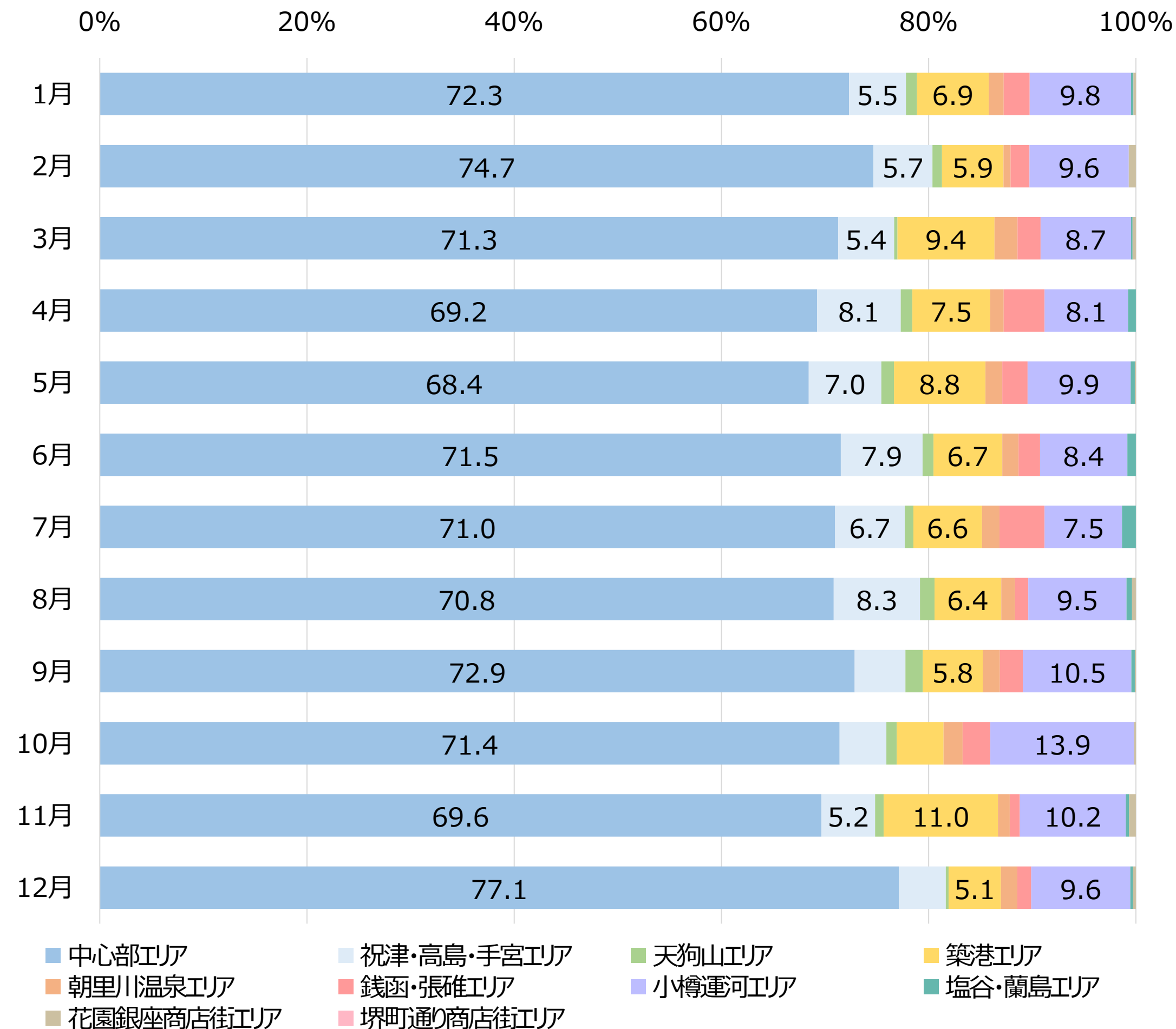
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

堺町通り商店街エリア来訪者の周遊先分布

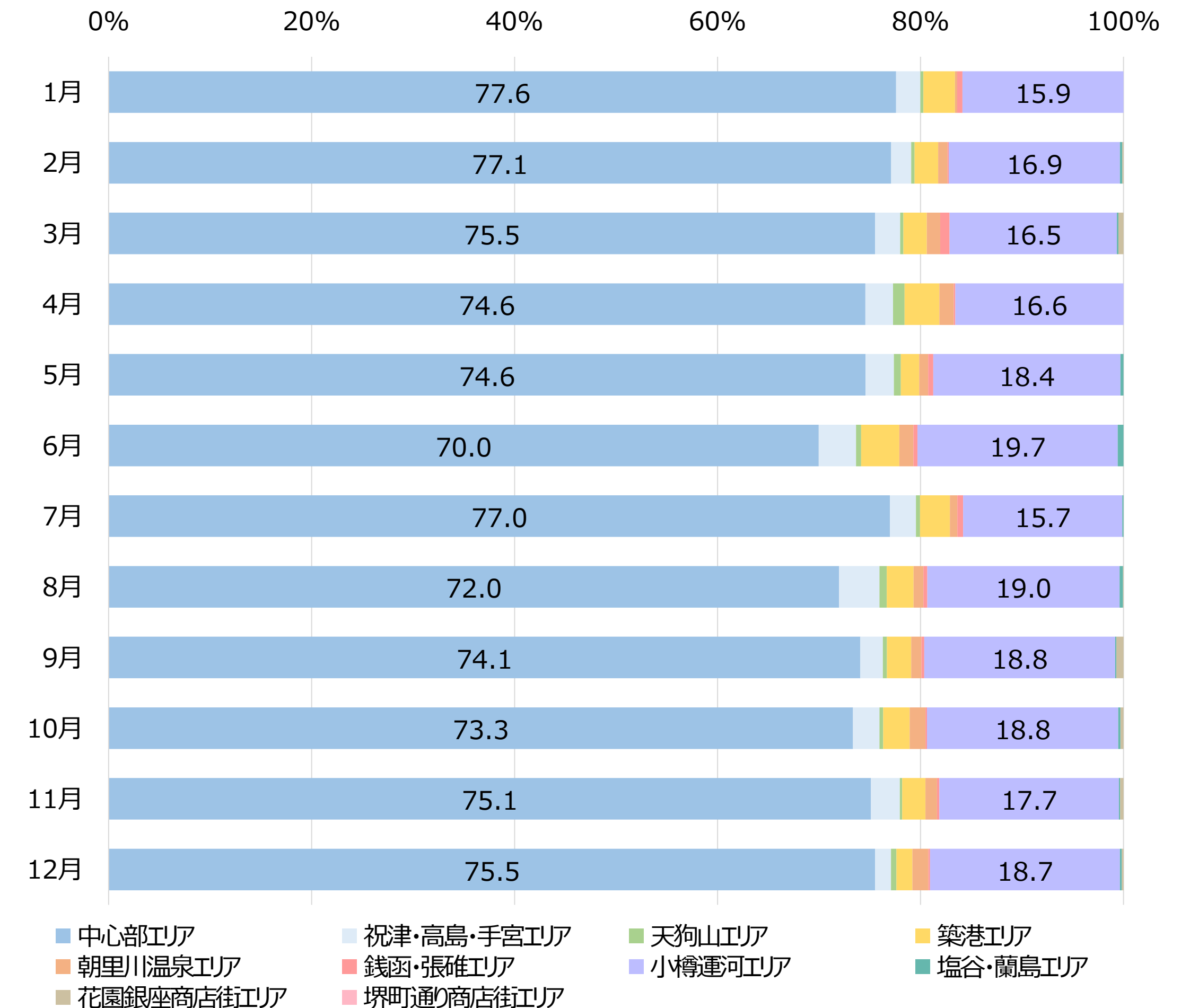
- 道内客は、中心部エリアとの周遊が最も多く、次いで小樽運河エリア・築港エリアの順に多い。
- 道外客は、中心部エリアとの周遊が最も多く、次いで小樽運河エリア・祝津エリアの順に多い。

● 周遊先分布 〈小樽市内〉

【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】

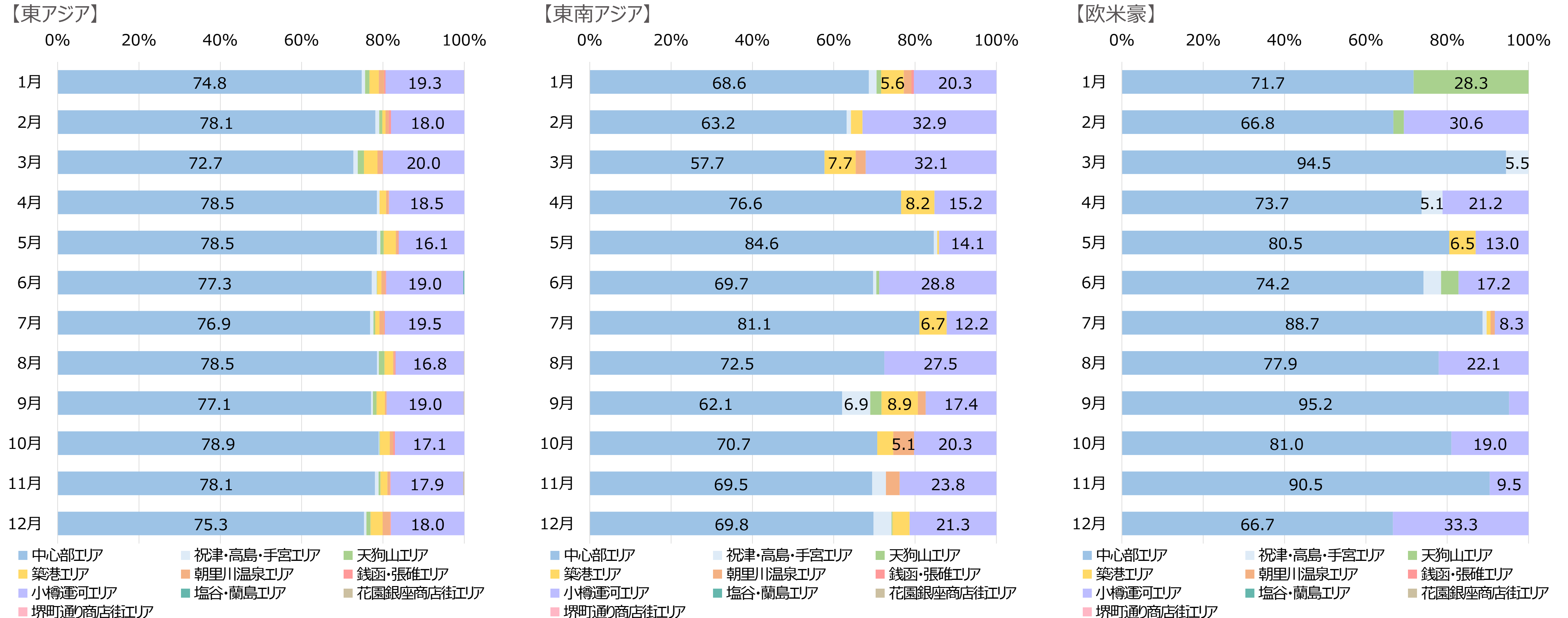


※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

堺町通り商店街エリア来訪者の周遊先分布

- 東アジア・東南アジア居住者は、中心部エリアとの周遊が最も多く、次いで小樽運河エリア・築港エリアの順に多い。
- 欧米豪居住者は、中心部エリアとの周遊が最も多く、次いで小樽運河エリア・天狗山エリアの順に多い。

● 周遊先分布 〈小樽市内〉



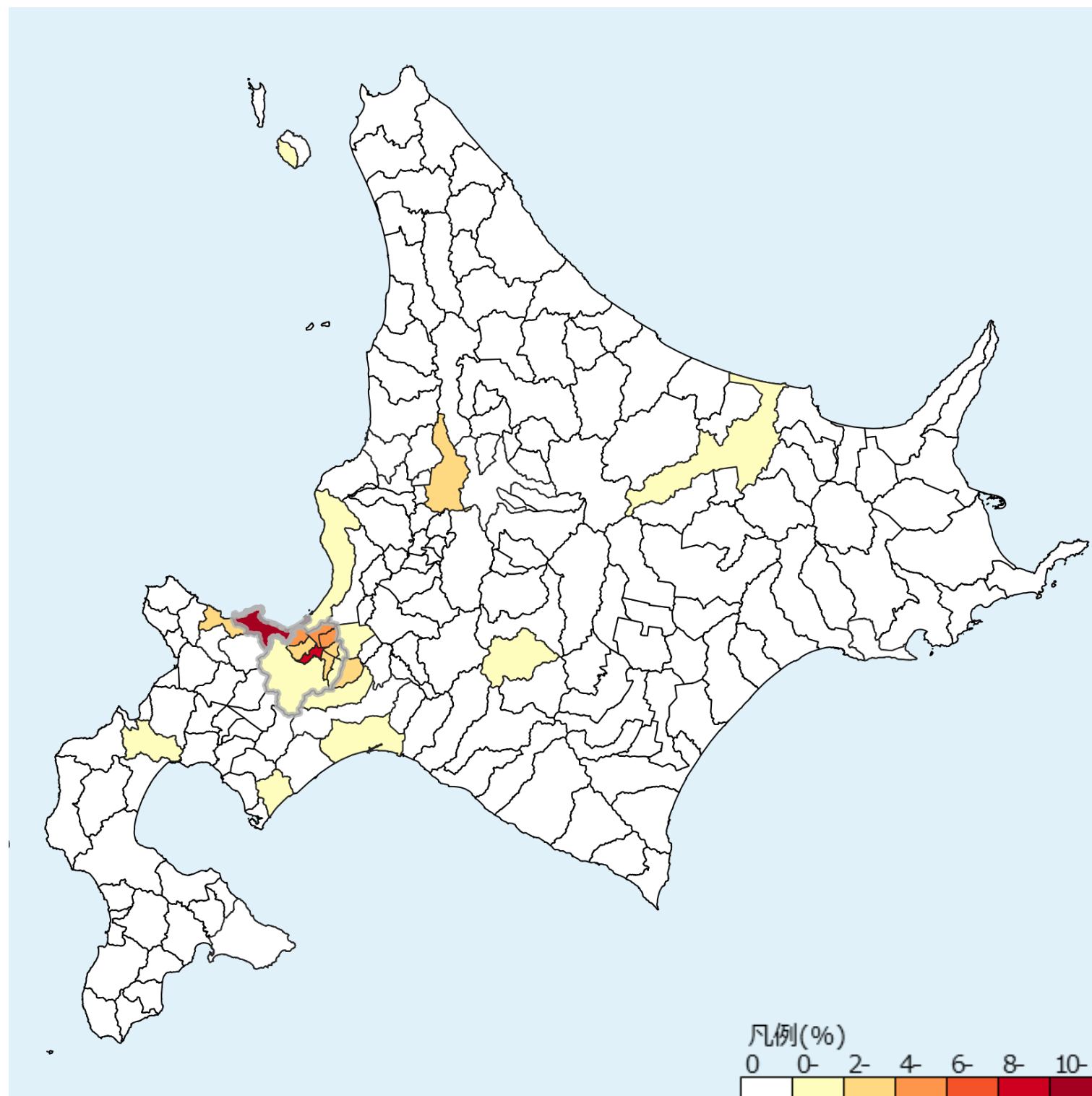
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

第3 ふ頭〈クルーズ〉来訪者の周遊先分布（2025年）

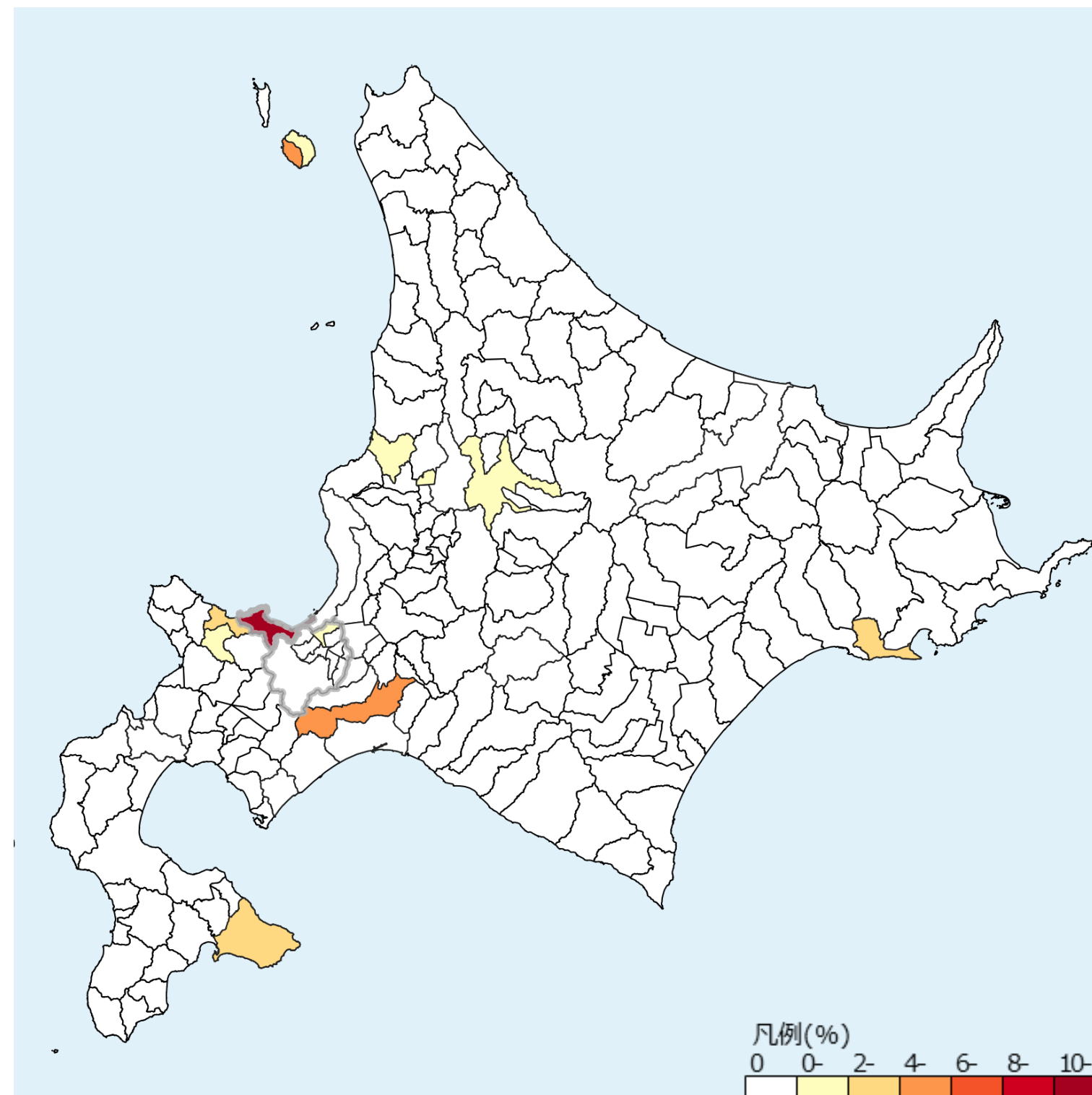
- 北海道全体における周遊先は、道内客は小樽市内のほか札幌市中央区が特に多く、道外客は小樽市内のほか千歳市・利尻町が多い。
- インバウンドは、小樽市内のほか函館市との周遊が特に多く、次いで札幌市北区・札幌市東区が多い。

● 周遊先分布 〈全道、2025年2～10月〉

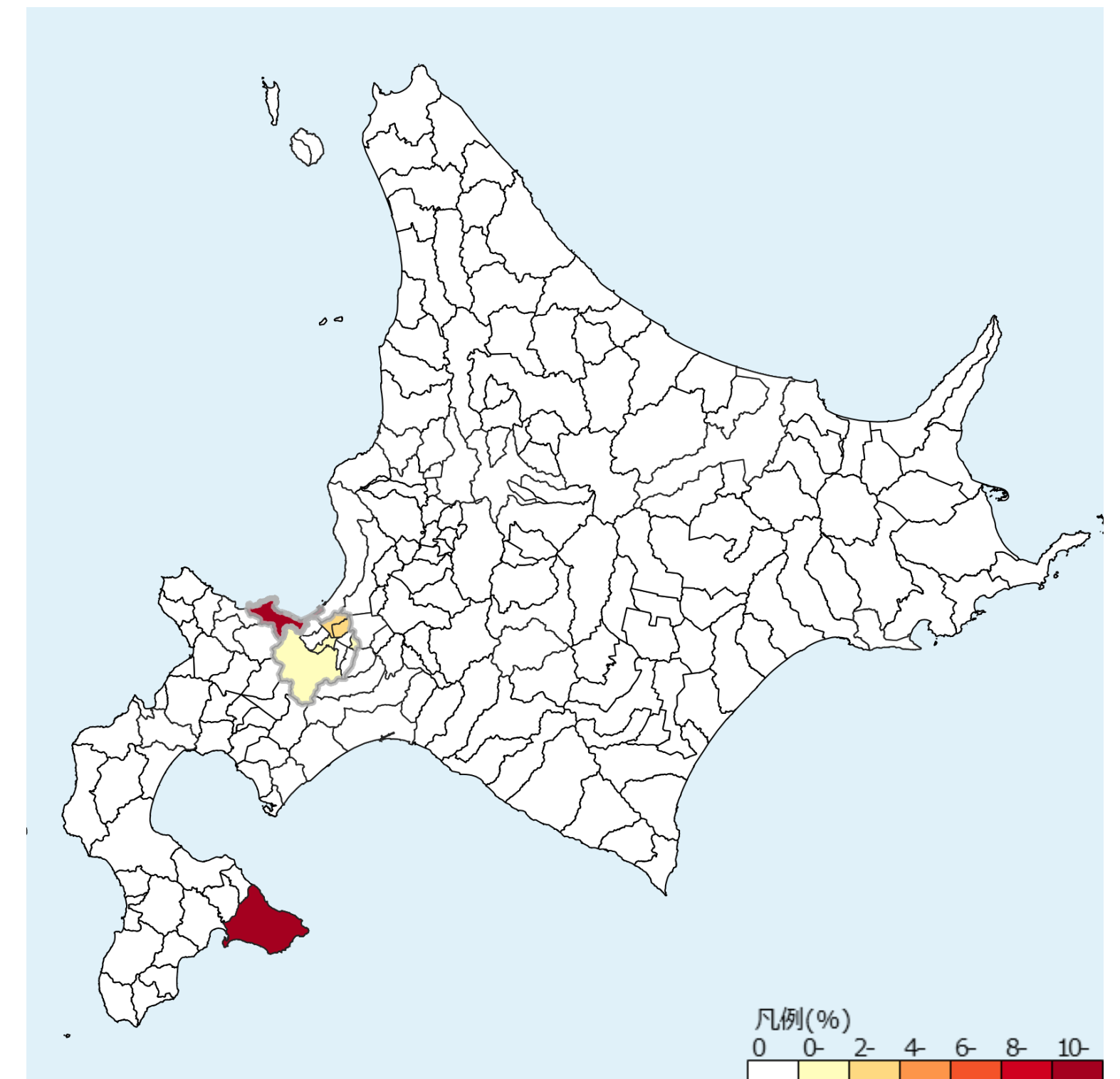
【道内客】



【道外客】



【インバウンド】

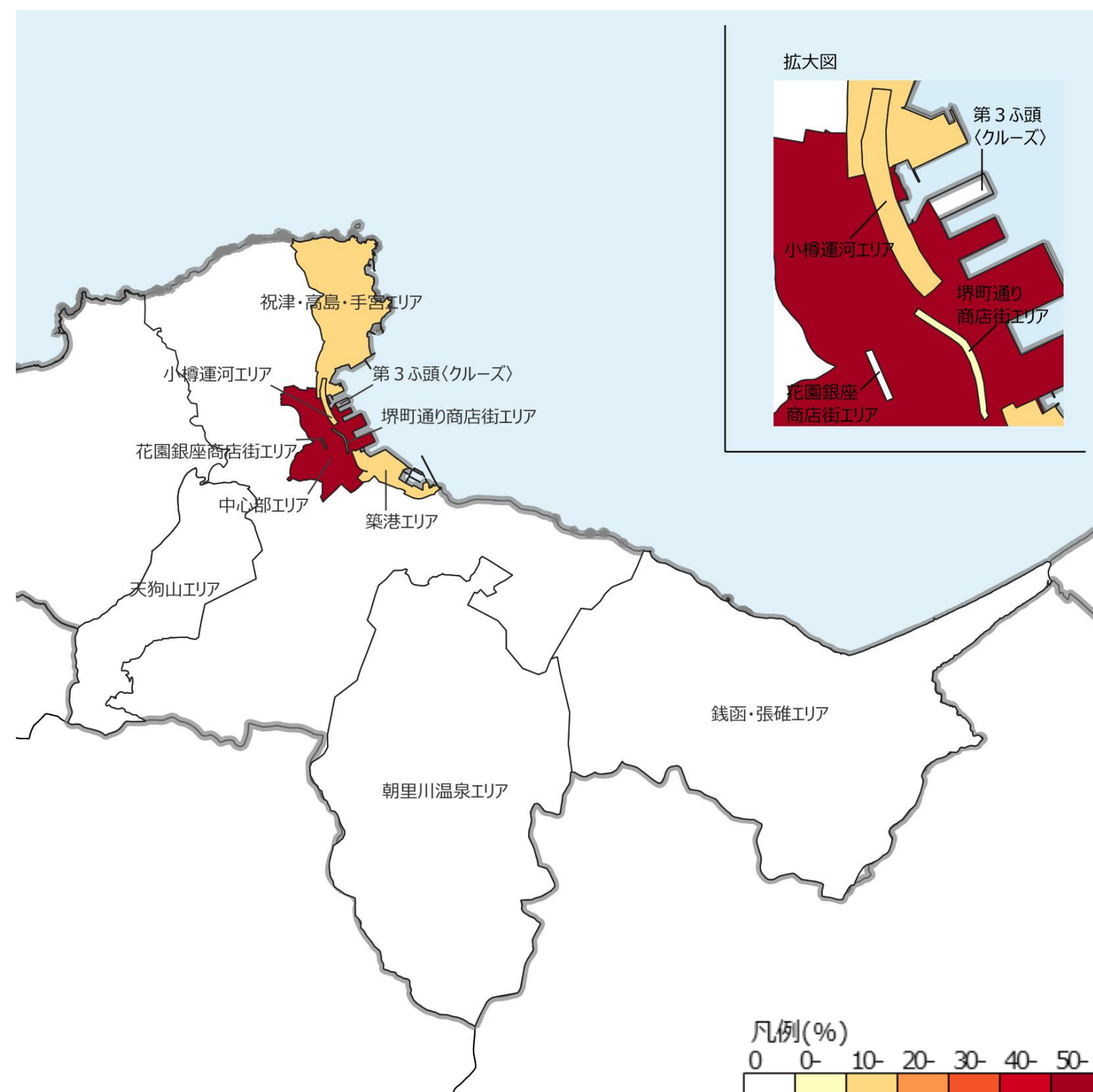


第3ふ頭〈クルーズ〉来訪者の周遊先分布（2025年）

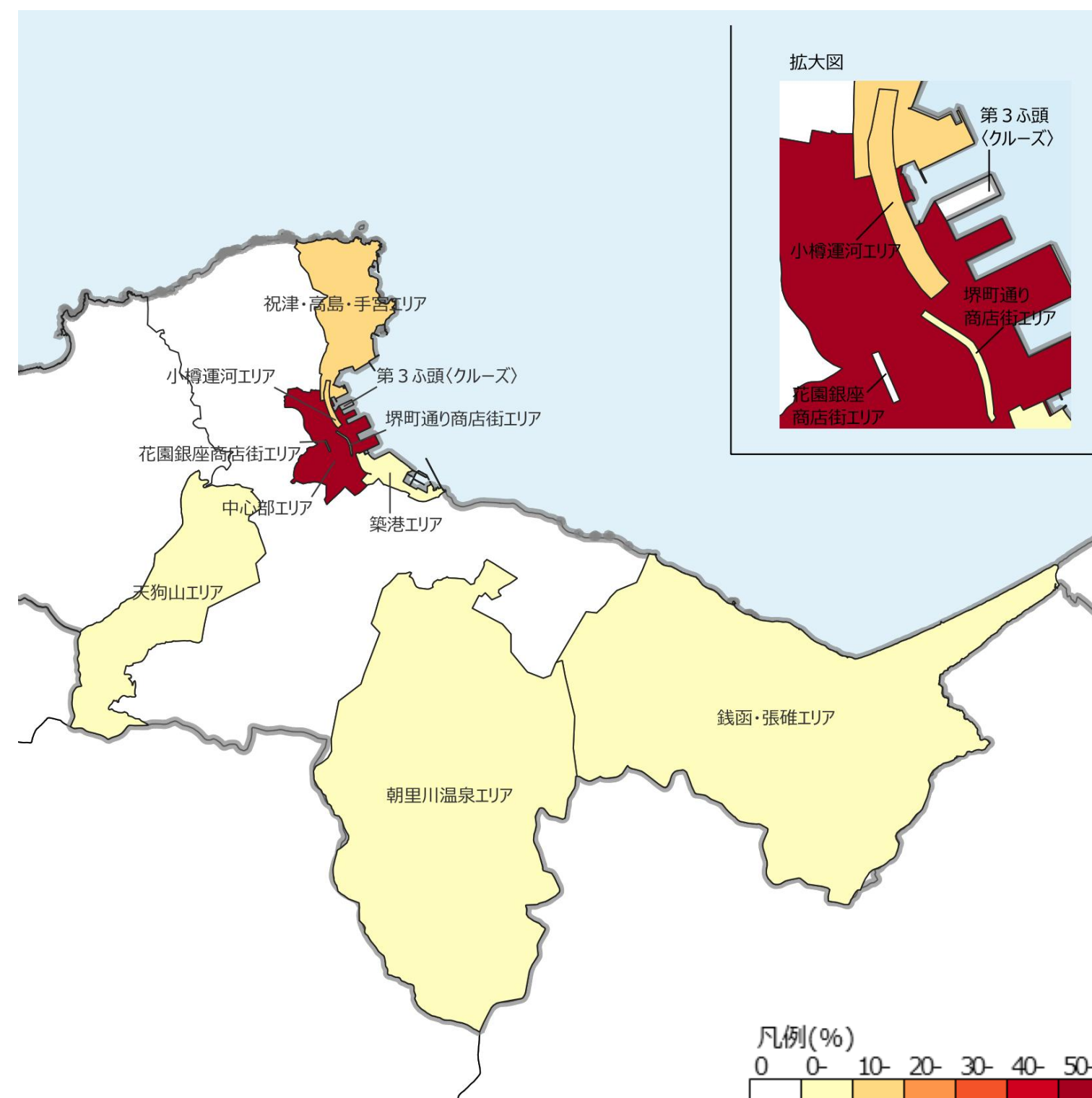
- 小樽市内における周遊先は、道内客・道外客は中心部エリアが特に多いが、小樽運河エリア・祝津エリアとの周遊もみられる。
- インバウンドは、中心部エリア・小樽運河エリアとの周遊が特に多いが、祝津エリア・堺町通りエリア・天狗山エリアとの周遊もみられる。

● 周遊先分布 〈小樽市内、2025年2～10月〉

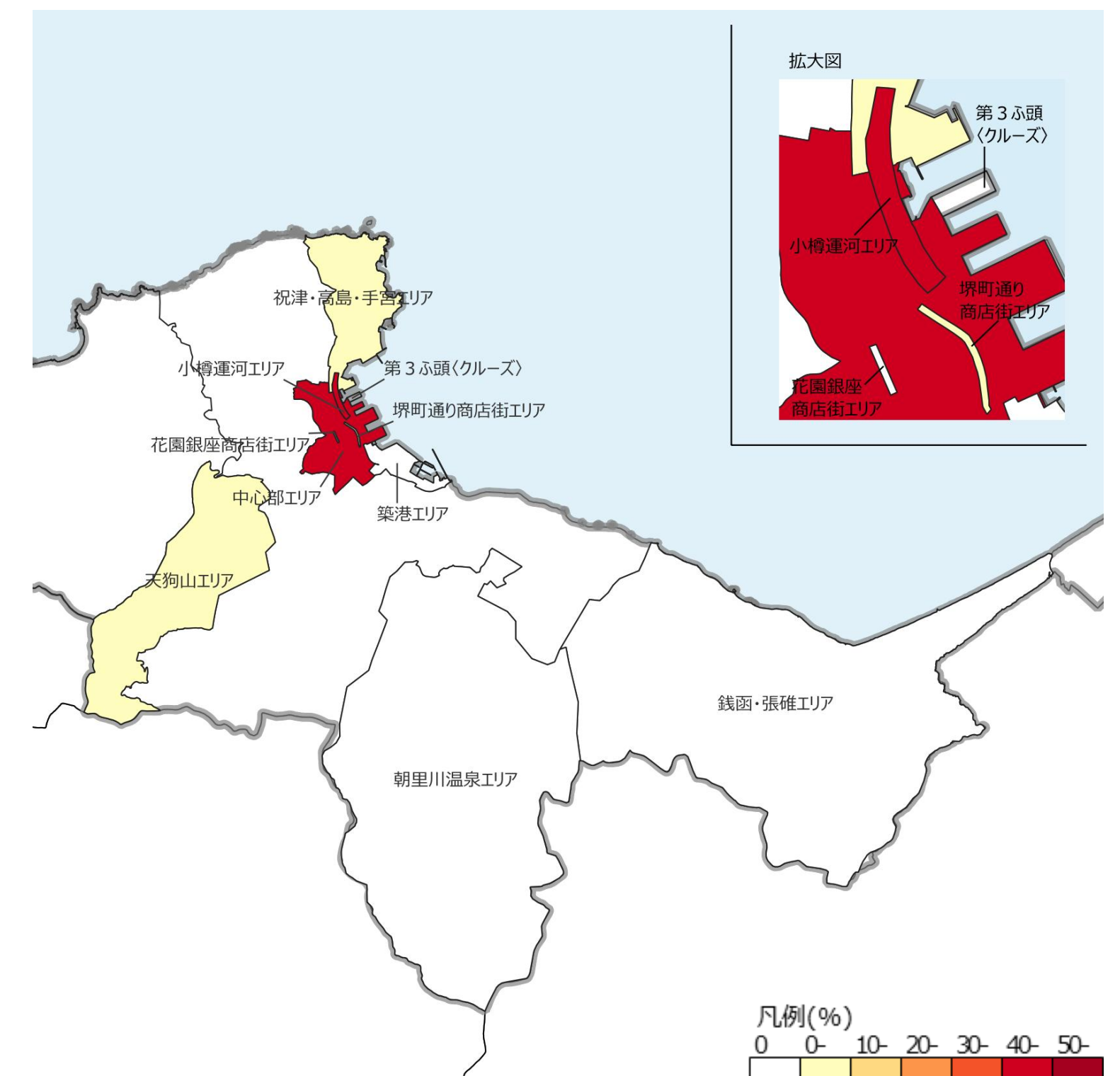
【道内客】



【道外客】



【インバウンド】



調査対象地	年	来訪ピーク日	来訪ピーク時間帯	平均滞在時間
船見坂	2024年（1～3月）	2月3日(土)	11時台（一日の13%）	0:18
	2025年（1～3月）	2月14日(金)	13時台（一日の15%）	0:21
三本木急坂	2024年（1～3月）	2月24日(土)	14時台（一日の14%）	0:09
	2025年（1～3月）	1月27日(月)	14時台（一日の14%）	0:09
JR朝里駅	2024年（1～3月）	1月31日(水)	17時台（一日の11%）	0:29
	2025年（1～3月）	1月28日(火)	15時台（一日の11%）	0:21
JR銭函駅	2024年（1～3月）	2月17日(土)	16時台（一日の11%）	0:10
	2025年（1～3月）	1月9日(木)	11時台（一日の12%）	0:23
祝津パノラマ展望台	2024年（1～3月）	2月6日(火)	10時台（一日の16%）	0:11
	2025年（1～3月）	2月16日(日)	10時台（一日の18%）	0:13
天狗山ロープウェイ 〈山麓周辺〉	2024年（1～3月）	2月3日(土)	16時台（一日の13%）	0:19
	2025年（1～3月）	1月23日(木)	16時台（一日の15%）	0:21

まとめ：小樽市インバウンド観光の概況（2025年）

観点	全域	エリア別
入込客数・居住国	➤ 総数では、2月・1月の来訪が多く、9月・6月は落ち込む ➤ 国別では、1月・2月は中国、3月・4月・11月は台湾、5～10月・12月は韓国が最多	➤ 中心部エリア・小樽運河・堺町通り商店街では、4月に台湾・6月に韓国が最多 ➤ 花園銀座商店街では、5月・11月・12月に香港が目立つ ➤ 祝津・高島・手宮エリアでは、9月に台湾・1月に中国が最多 ➤ 天狗山エリアでは、2月のオーストラリアが目立つ ➤ 築港エリアでは、3月のタイ、5月・12月の香港が目立つ ➤ 朝里川温泉エリアでは、4月のインドネシア、5月の韓国が目立つ ➤ 銭函・張碓エリアでは、10月の韓国が最多 ➤ 塩谷・蘭島エリアでは、9月のシンガポールが目立つ
来訪時間帯	➤ 日本人に比べて、9～14時台に来訪が集中 ➤ 東アジア居住者は、2月が12～14時台、それ以外の月は9～11時台がピーク	➤ 中心部エリアでは、7月を除き12～14時台がピーク ➤ 小樽運河・堺町通り商店街でも、一年を通じて12～14時台がピーク ➤ 築港エリアでは、来訪時間帯が比較的分散
滞在時間・宿泊数	➤ 総じて日本人よりも長いが、道外客を下回る月もみられる	➤ 宿泊地である朝里川温泉エリアのほか、銭函・張碓エリアでも平均滞在時間の長い月がみられ、特殊需要がうかがえる
交通手段	➤ 日本人よりもJR利用率が高い（自動車利用率が低い）	-
周遊先	➤ 東アジア・東南アジア居住者は、札幌のほか千歳・余市・赤井川との周遊が特に多い ➤ 欧米豪居住者は、札幌のほか千歳・余市・仁木との周遊が特に多い	➤ 東アジア・東南アジア居住者は、中心部エリア-小樽運河-堺町通り商店街-築港エリア間の周遊が多い
冬季オーバーツーリズム	-	➤ 船見坂・JR銭函駅・祝津パノラマ展望台・天狗山ロープウェイでは、ピーク時間帯への集中が前年よりも深刻化するとともに、平均滞在時間が増加

まとめ：本業務の成果、次年度に向けて

主な業務目的 (業務仕様書より抜粋)

- 昨今、小樽市においては外国人観光客の増加などによる**オーバーツーリズムが深刻化**しており、**データ分析に基づく「打ち手」を検討**する必要があることから、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準（令和5年改訂版）」の調査要領に準じて実施する観光入込調査結果を基礎として、GPS人流データを活用し多サンプルに基づく**来訪者（国内・外国人）の動態把握**を網羅的かつ解像度の高い形で行い、オーバーツーリズムの実態を把握する

本業務の成果

- GPS人流データの活用により、多サンプルに基づく**来訪者（国内・外国人）の把握を実現した**
- 観光動態に係る**多様な情報を、エリア別に可視化・提供**することにより、オーバーツーリズムの実態（繁閑・傾向）など、**観光関連事業者等による「打ち手」実行に資する情報を提供した**
- また、従来人手をかけて行っていた**観光入込調査のデジタルトランスフォーメーションや、データドリブンマーケティングの機運醸成にも繋がった**

次年度に向けての 課題・展望

- 人気のエリア・地点において**特定時間帯へのインバウンドの集中が深刻化**している実態が改めて明らかになり、警備員配置などの対症療法のみならず、**エリアや時間帯の分散**を図る施策の検討・実行が急務
- 次年度以降も同一データによる分析を継続し、観光動態やオーバーツーリズムの**実態について定点観測**することで、多面的な現状把握や施策の効果検証などの**PDCAサイクルに寄与**することが望ましい